SONY

パーソナルコンピューター

VGN-TZ_2 シリーズ
取扱説明書

マニュアルの活用法

本機には、取扱説明書（本書）をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

画面で見るマニュアル

バイオ電子マニュアル

バイオ使用上、必要な情報をすべて記載しています。検索機能を使って、取扱説明書（本書）よりもすばやく目的の操作を探せます。

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリックする。

VAIOナビ

目的の項目を一覧から選んでいくことで最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIOナビ］をクリックする。

重要なお知らせ

バイオを使ううえでご覧いただきたい情報です。

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［重要なお知らせ］をクリックする。

ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

見るには

各ソフトウェアの［ヘルプ］メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

パーソナルコンピューター

VGN-TZ_2 シリーズ

本機をセットアップする

テレビ／ミュージック／フォト／DVD

インターネット／メール

セキュリティ

メモリ／バックアップ／リカバリ

困ったときは／サービス・サポート

各部名称／注意事項

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

本機の主な仕様については、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご確認ください。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。
お客様が選択された商品や仕様によって、本体のデザインが異なる場合があります。

画面のデザインについて

Windows Vistaの画面デザインには、「Windows Aero」や「Windows Vista ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。
このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」ソフトウェアは、Windows Vista Home Premium搭載モデルにのみ、インストールされています。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「テレビチューナー搭載モデル」と書かれているときは、テレビチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認するには、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

目次

「バイオ電子マニュアル」には、取扱説明書（本書）よりさらに詳しい情報が掲載されています。

（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリック！

本機をセットアップする

「バイオ電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリック!

テレビ/ミュージック/フォト/ DVD

インターネット/メール

セキュリティ

メモリ／バックアップ／リカバリ

「バイオ電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリック！

困ったときは／サービス・サポート

各部名称／注意事項

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。
認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：
PCG-4N5N、PCG-4N6N、PCG-4N7N、PCG-4N8N

電波法に基づく認証について (ワイヤレスLAN機能／ Bluetooth機能搭載モデル)

本機内蔵のワイヤレスLANカード／ Bluetoothカードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／ Bluetoothカードを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／ Bluetoothカードに貼られている証明ラベルをはがすこと

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。
しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
ただし、バッテリ未搭載でACアダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

レーザー安全基準について （ディスクドライブ搭載モデル）

- 本製品は、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1に適合しています。
  本体底面に下記適合ラベルを表示しています。

- 本製品に内蔵している光ディスクドライブについて修理が必要な場合は、必ずVAIOカスタマーリンクに依頼してください。
  お客様ご自身で本体からドライブを取りはずしたり分解することは大変危険ですので絶対に行わないでください。
  本体後面のバッテリをはずした部分に、下記注意ラベルを表示しています。

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.	注意	ここを開くとクラス3B 可視放射および不可視レーザ光が出る。 ビームに人体をさらさないこと。
ATTENTION	RADIATIONS LASER VISIBLES ET INVISIBLES DE CLASSE 3B EN CAS D'OUVERTURE. EVITER TOUTE EXPOSITION DIRECTE AU FAISCEAU.	危险	拆开时会产生可视和不可视的 3B 类激光辐射。 请避免光束照射。
VORSICHT	KLASSE 3B SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG WENN GEÖFFNET. DIREKTEN KONTAKT MIT DEM STRAHL VERMEIDEN.		

本機の内蔵モデムについて

日本国内で使用する際は、他の国や地域のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4FH2

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

ワイヤレスLAN機能について（ワイヤレスLAN機能搭載モデル）

本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて（ワイヤレスLAN機能搭載モデル）

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
詳細については、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.html
をご覧下さい。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）について（FeliCa機能搭載モデル）

- 本機内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
- 使用周波数は、13.56 MHz帯です。
- 本機内蔵のFeliCaポートを分解、改造したり、型式指定表示を消すと、法律により罰せられることがあります。
  周囲で複数のリーダー／ライターをご使用の場合、1 m以上間隔をあけてお使いください。
  また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

インスタントモードに関するお知らせ（ディスクドライブ搭載モデル）

インスタントモードをご使用いただく前に、必ず本機に付属の「インスタントモードソフトウェア使用許諾契約・GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ」をお読みください。
お客様によるインスタントモードの使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただいたものとします。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品はエネルギースター規格に基づいて設計されており、次の省電力設定で出荷されています。

- 約15分操作をしないと自動的に液晶ディスプレイの電源を切る。
- 約30分操作をしないと自動的にスリープモードに移行する。

元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押してください。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
有限責任中間法人JBRC
ホームページ：
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル
受付センター
電話番号：（0570）000-369
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：
（03）3447-9100
受付時間：10:00 ～ 17:00（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[サービスとサポート]－[お問い合わせ／アフターサービス]－[使用済みコンピュータの回収について]をクリックする。）

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/pcrecycle/
より、事業者向けのページをご覧ください。

この商品はグリーン購入法における判断基準を満たしています。

この説明書は、本文に古紙70%以上の再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

この説明書の説明図や画面について

この説明書で使われている説明図や画面は実際のものとは異なる場合があります。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ等に記載されている機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがあります。
  あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

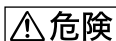
- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

1. 電源を切る
2. 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす
3. VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

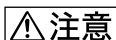
ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

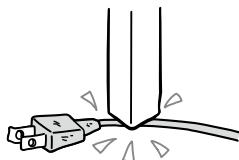
行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

内部をむやみに開けない

- 本機および付属の機器(ケーブルを含む)は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- メモリモジュールを交換するときは、「メモリモジュールを交換する」(117ページ)に従って注意深く作業してください。
  また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

- 落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、テレホンコード、ネットワーク(LAN)ケーブル、アンテナ接続ケーブルを抜いてください。
- 本機のアンテナは本体に収納してください。
- 雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

本機は日本国内専用です

- 交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
  海外などでモデムを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

内蔵モデムは一般電話回線以外に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機(PBX)へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

LANコネクタに指定以外のネットワーク(LAN)や電話回線を接続しない

本機のLANコネクタに次のネットワーク(LAN)や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱、火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tタイプ以外のネットワーク(LAN)
- 一般電話回線
- ISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

ウォールマウントプラグアダプタは、ACアダプタとコンセントにしっかり差し込む (ウォールマウントプラグアダプタ付属モデル)

ウォールマウントプラグアダプタがACアダプタとコンセントの両方にしっかり差し込まれていないと、発熱による火災や感電の原因となることがあります。

ウォールマウントプラグアダプタを他のACアダプタに使用しない (ウォールマウントプラグアダプタ付属モデル)

ウォールマウントプラグアダプタは本機専用です。
本機以外では使用しないでください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内で使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機の離着陸時には、機内でワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を5 GHzワイヤレス機能で使用する場合は、屋外では使用しない

5 GHz(IEEE 802.11a)ワイヤレス機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

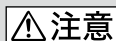
ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードやタッチパッドなどを使いすぎない

キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやタッチパッドを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

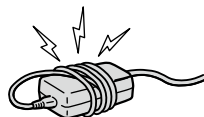
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

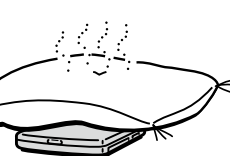
接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

断線の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

排気口からの排気に長時間あたらない

禁止

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない

禁止

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機の上に乗らない、重いものを載せない

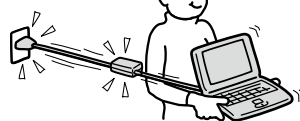
禁止

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

本機のアンテナを伸ばしたまま本機を持ち歩かない（ワンセグチューナー搭載モデル）

本機をお使いの方や周りの人などに当たり、けがや故障および破損の原因となることがあります。

本機のアンテナを伸ばしたままディスプレイパネルを開閉しない（ワンセグチューナー搭載モデル）

本機をお使いの方や周りの人などに当たり、けがや故障および破損の原因となることがあります。

本機のアンテナに過度の力を加えない（ワンセグチューナー搭載モデル）

アンテナを折り曲げたり、アンテナ部分を持ってディスプレイパネルの開閉や本機を持ち上げる行為を行ったり、本機のアンテナに過度の力を加えないでください。
アンテナの変形や破損、本機の故障の原因となることがあります。
また、本機を落としたりしてけがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 本書に記載する又はソニーが別途指定する充電方法以外でバッテリを充電しないでください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。
  電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本機に付属またはソニーが指定する別売りの純正バッテリをご使用ください。
- 以下のバッテリを使用した場合、本機、バッテリまたはACアダプターの発熱や発火等の事故が発生しましてもソニーは責任を一切負いかねます。
  - 本機に付属するまたはソニーが指定する別売りの純正バッテリ以外のバッテリを使用した。
  - 分解、改造を行ったバッテリを使用した。

⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の表面やACアダプタ、バッテリが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本機やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

VAIOを使うための8つ

VAIOを使い始める前に、まず8つの準備をしましょう。
このページから続く説明に従って、作業を進めてください。

まずハードウェアの設定です。

準備1 付属品を確かめる

▶ 付属品の確認

24ページ

準備2 設置する

▶ 適切な設置場所とは？

26ページ

準備3 接続する

▶ ネットワークケーブル、電源コードなどの接続

27ページ

準備4 電源を入れる

▶ 電源の入れかた、切りかた

32ページ

の準備

ここからはソフトウェアの設定です。

準備5
Windowsを準備する
▶ ユーザー名やパスワードなどの設定
35ページ

ここからの設定にはインターネットへの接続が必要です。

準備6
基本設定を行う
▶ バイオをはじめる前の準備など
41ページ

準備7
カスタマー登録する
▶ カスタマー登録について
55ページ

準備8
最新情報を自動的に入手する
59ページ

付属品を確かめる

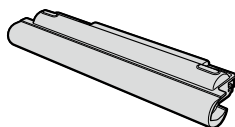
付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
お使いの機種により、付属品が異なる場合があります。
本機の主な仕様については、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

VAIO オーナーメードモデルをご購入のお客様へ
お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

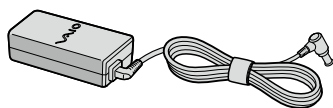
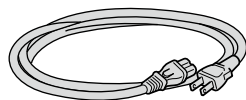
❑ **パソコン本体**

❑ **ACアダプタ**

❑ **電源コード**

❑ **バッテリ**

❑ **アンテナ変換ケーブル**

（ワンセグチューナー搭載モデルに付属）

❑ **クリーニングクロス**

！ご注意
付属の電源コードは、AC100V用です。

説明書・その他

- ❑ **取扱説明書(本書)**
- ❑ **主な仕様と付属ソフトウェア**
- ❑ **保証書**
- ❑ **VAIOカルテ**
- ❑ **インスタントモードソフトウェア使用許諾契約・GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ**
  (ディスクドライブ搭載モデルに付属)
- ❑ **その他のパンフレット類**
  大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

- ❑ Microsoft® Office Personal 2007[*1]**プレインストールパッケージ**
  (「Office Personal 2007」または「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)
- ❑ Microsoft® Office PowerPoint® 2007[*2]**プレインストールパッケージ**
  (「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)
- ❑ Microsoft® Office Professional 2007[*3]**プレインストールパッケージ**
  (「Office Professional 2007」プリインストールモデルに付属)

  お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算」(203ページ)をご覧ください。

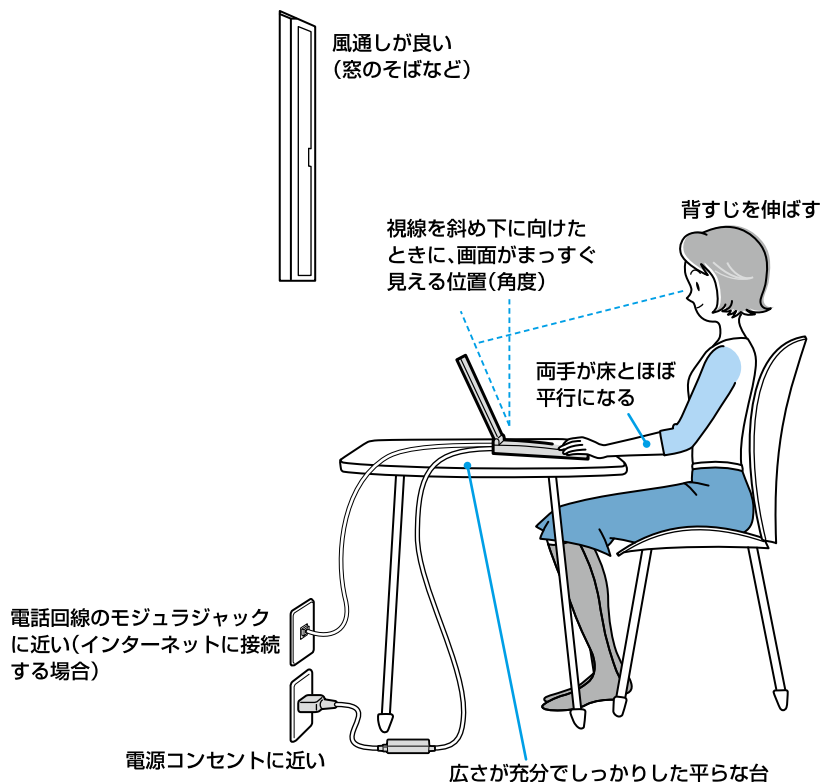
*1 この説明書では以降、Office Personal 2007と略します。
*2 この説明書では以降、Office PowerPoint 2007と略します。
*3 この説明書では以降、Office Professional 2007と略します。

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(199ページ)をご覧ください。
- 本機はハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。
  詳しくは「リカバリする」(135ページ)をご覧ください。

設置する

設置場所

下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。

!ご注意

- ほこりの多い場所では、床に置かないでください。吸気口からほこりを吸い込んで故障の原因となることがあります。
- 吸気口や排気口には物を置いたり、ふさいだりしないでください。

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

- 直射日光が当たる場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 暖房器具の近くなど、温度が高い場所
- 風通しが悪い場所
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く

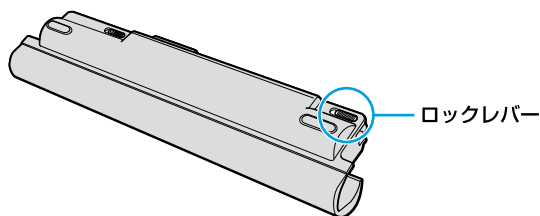
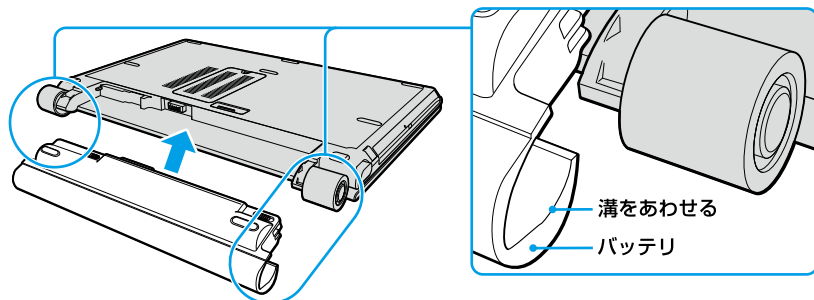
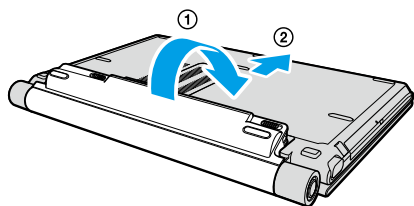
接続する

バッテリを取り付ける

停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。
あらかじめ「バッテリについてのご注意」(225ページ)をご覧ください。

バッテリは、以下の手順で本体後面のバッテリ取り付け部に取り付けます。

1 液晶ディスプレイを閉じる。

2 バッテリのロックレバーを内側にずらす。

3 本体後面とバッテリの両端の溝をあわせる。

バッテリを矢印の方向に倒し（①）、「カチッ」と音がするまで差し込む（②）。

ヒント
バッテリをうまく差し込めない場合は、②とは逆方向にほんの少し引いてから差し込んでください。

5 バッテリのロックレバーを外側（LOCK側）にずらして、バッテリを固定する。

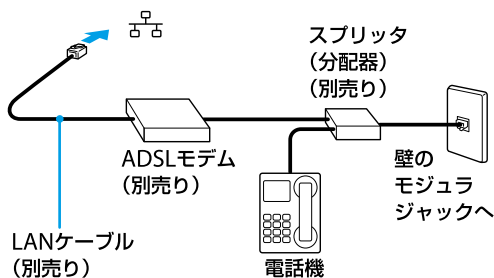
インターネット接続用機器につなぐ

インターネットに接続するには、ADSL、FTTH(光)、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスを利用する方法や、一般の電話回線に接続する方法、ISDN回線を利用する方法があります。

!ご注意

インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは、本体左側面のコネクタカバーを開けてLANコネクタ(216ページ)に接続します。

* ADSLの接続例

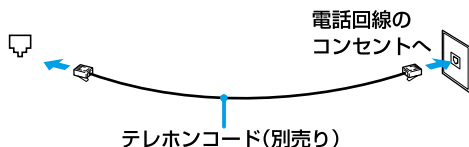
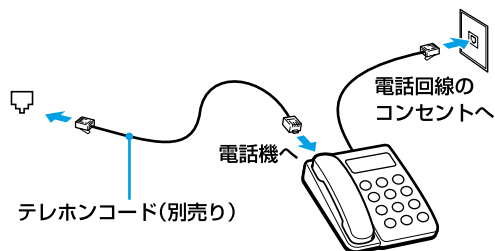
ヒント

本機に取り付けた別売りのドッキングステーションのLANコネクタに接続することもできます。
設定について詳しくは「VAIO Smart Network」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

!ご注意

- LANコネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット(Ethernet)用などと表記されているものをご使用ください。
- 「電源オプション」画面の「VAIO 省電力設定」タブで「ネットワーク(LAN)」の設定を「電源オフ」にしている場合は、本体のネットワーク(LAN)をご使用になれません。
  ネットワーク(LAN)をご使用になるときは設定を変更してください。

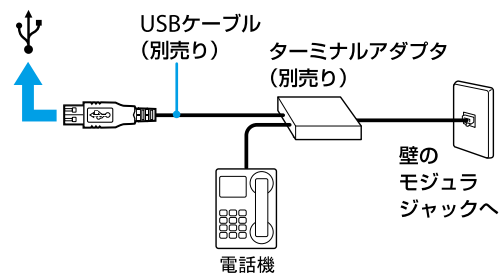
一般の電話回線につなぐときは

別売りのテレホンコードを使って、本機を一般の電話回線につなぎます。
本体左側面のコネクタカバーを開けて(モジュラジャック)(216ページ)にモジュラプラグのツメが「カチッ」とロックするまでまっすぐに差し込みます。

モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。

！ご注意

- 「電源オプション」画面の「VAIO 省電力設定」タブで、「内蔵モデム」の設定を「電源オフ」にしている場合は、内蔵モデムをご使用になれません。
  内蔵モデムをご使用になるときは設定を変更してください。
- 本機の内蔵モデムで使用可能な回線は、一般電話回線です。その他の回線に接続した場合には、故障・発火の原因となることがあります。
- 接続後、お使いになる通信用ソフトウェアで、電話機やファックス、通信方法などの設定をする必要があります。詳しくは、それぞれのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。
- 本体左側面のLANコネクタにテレホンコードを接続しないようご注意ください。
- 本機の（モジュラジャック）にはテレホンコード以外をつながないようご注意ください。

ISDN回線を利用するときは

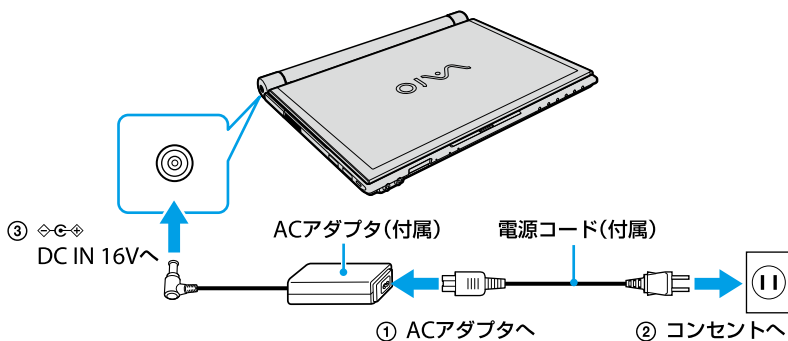
ISDN回線を利用するときは、本機の（USB）コネクタ（216ページ）に接続します。

ヒント

本機に取り付けた別売りのドッキングステーションのUSBコネクタに接続することもできます。

！ご注意

接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

電源コードを接続する

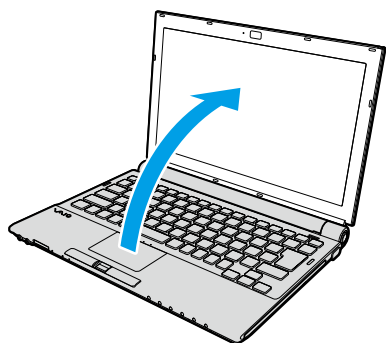
本機と壁のACコンセントを接続します。

1　電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。

2　電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

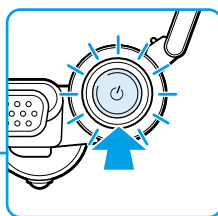
3　ACアダプタのプラグを、本体左側面の DC IN 16Vコネクタに差し込む。

電源を入れる

本機の電源を入れます。

1 ディスプレイパネルを開く。

！ご注意
- ディスプレイパネルを開くときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）部分は持たないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイパネルは、アンテナを本体に戻した状態で開いてください。（ワンセグチューナー搭載モデル）

2 ⏻（パワー）ボタンを押し、⏻（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら離す。

本機の電源が入り、しばらくしてWindowsが起動します。

！ご注意
- ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにすると、電源が入りません。
  ⏻（パワー）ランプが点灯したら指を離してください。
- ディスプレイパネルを閉じた状態で⏻（パワー）ボタンを押しても電源は入りません。

!ご注意

- 本機の液晶ディスプレイ上面にフロッピーディスクなどを近づけないでください。
- 本機の左ボタン付近に磁気製品などを近づけると、ディスプレイパネルを閉じたときと同じ状態となり、スリープモード(お買い上げ時の設定)に移行します。
  本機の近くには磁気製品を近づけないよう、ご注意ください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」(35ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

ヒント

本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スリープ[*1])。キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻(パワー)ボタン[*2]を一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリで使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります(休止状態[*1])。元の状態に復帰させるには、⏻(パワー)ボタンを一瞬押してください。

*1 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[電源の管理/起動]－[スリープモード/休止状態にする]をクリックする。)

*2 ⏻(パワー)ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

バッテリを上手に使うには

本機をバッテリで使用しているときに、次のようなことに気をつけるとバッテリを長持ちさせることができます。

- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする
  液晶ディスプレイは、明るくするより暗くした状態で使用するほうがバッテリを長持ちさせることができます。
- 省電力の機能を使う
  こまめにスリープや休止状態にすることで、バッテリを長持ちさせることができます。
  また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも早く復帰できます。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[電源の管理/起動]－[スリープモード/休止状態にする]をクリックする。)

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、本機の故障の原因となったり、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

1 （スタート）ボタンをクリックする。

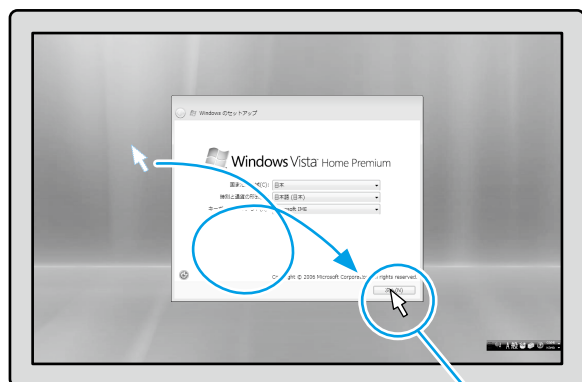
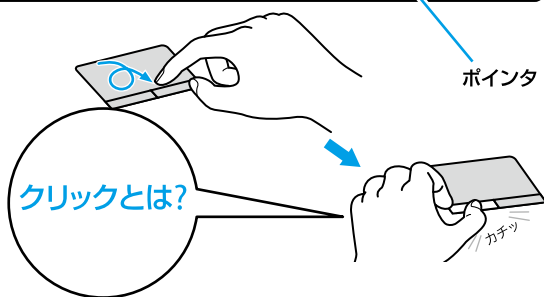
スタートメニューが表示されます。

2 －［シャットダウン］をクリックする。

しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、⏻（パワー）ランプ（グリーン）が消灯します。
液晶ディスプレイを閉じるときは、⏻（パワー）ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

ヒント
- キーボードの上にクリーニングクロスをしわにならないように敷いてから、液晶ディスプレイを閉じてください。
- お買い上げ時の設定では、⏻（パワー）ボタンを押すとスリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリに保持したまま（お買い上げ時の設定）、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約できます。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［電源の管理／起動］－［スリープモード／休止状態にする］をクリックする。）

Windowsを準備する

**電源を初めて入れたら、
まずWindowsの準備をしましょう。
Windowsの準備が完了すると、
付属のソフトウェアや
いろいろな機能が使えるように
なります。**

ヒント
Windowsの準備ではインター
ネットへの接続は必要ありません。

タッチパッドの上で指を動かして、目的の場所の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

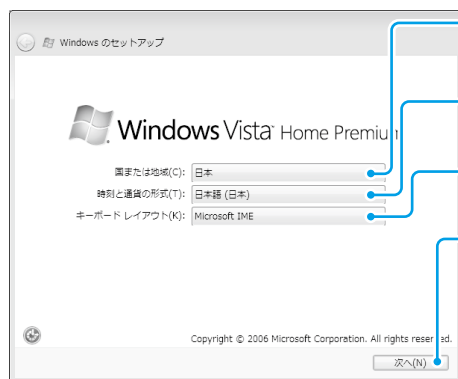
ヒント
取扱説明書内の画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。

1 電源を入れる。

⏻(パワー)ボタンを押し(32ページ)、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。

！ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでに5 ～ 15分程度かかります。「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

2 設定を開始する。

ヒント

ご使用いただいている機種によっては、OSの名称が異なることがあります。

！ご注意

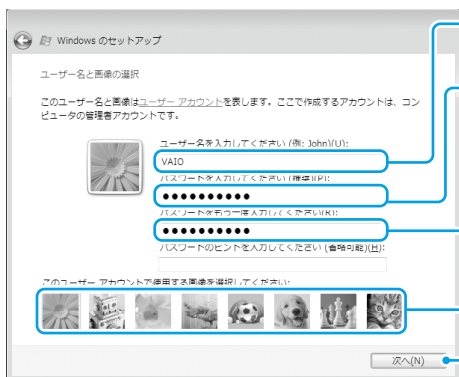
英語キーボードを選択されている場合も、[Microsoft IME]を選択してください。Windowsが起動してから、キーボードの変更を行います。

3 「ライセンス条項」の内容を確認する。

！ご注意

どちらか一方でもチェックをしないと、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

ヒント

画面左上の ボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

4 ユーザーアカウントの設定をする。

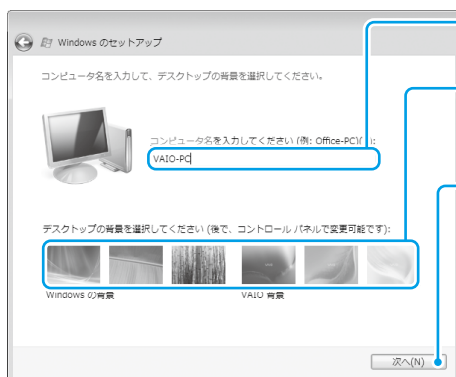
！ご注意

入力したパスワードは、メモを取るなどして忘れないようにしてください。

メモ

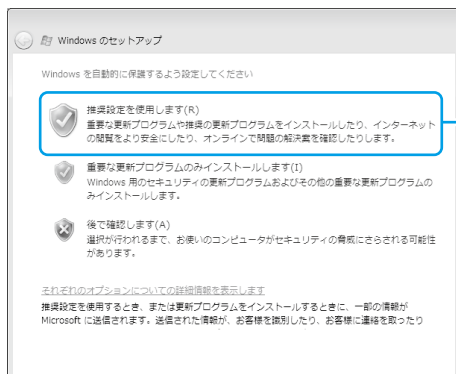
ヒント

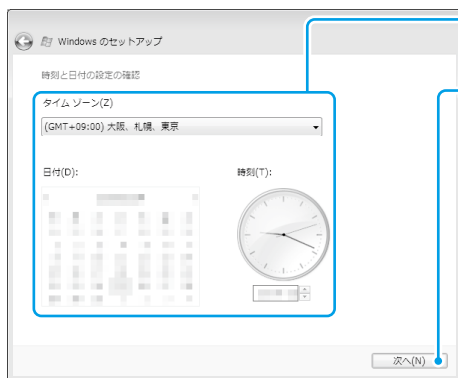
- ユーザー名やパスワードはWindowsのセットアップ完了後に変更することもできます。
  パスワードの変更について詳しくは、「Windowsパスワードを設定する」(102ページ)をご覧ください。
- ユーザー名には、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベットなどの文字が使用できます
  (キーボードの半角/全角|漢字キーで入力を切り換えられます)。
  ユーザー名の例:VAIO太郎

5 コンピュータの名前を確認する。

① 自動的に表示されますが、わかりやすい名前に変更することもできます。
② デスクトップの背景にしたい画像をクリックする。
クリックすると背景が変更されます。
③ [次へ]をクリックする。

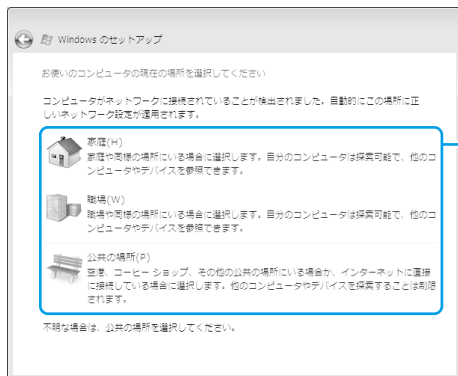
ヒント

コンピュータの名前やデスクトップの背景は、Windowsのセットアップ完了後に変更することができます。

6 コンピュータの保護の設定をする。

[推奨設定を使用します]をクリックする。

7 日付と時刻の設定を確認する。

① タイムゾーンおよび日付と時刻を確認する。

② [次へ]をクリックする。

8 コンピュータを使用する場所を選択する。

コンピュータを使用する環境に近いものをクリックする。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

ヒント

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピュータを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

設定を完了する。

[いいえ、後で設定します]を選択して、[開始]をクリックする。

ヒント

Windowsのセットアップ完了後に設定することができます。

セットアップが完了すると、「ウェルカム センター」画面が表示されます。

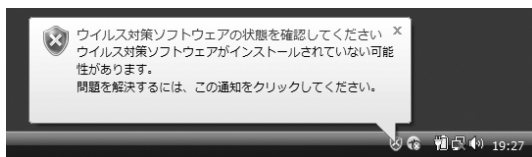
ヒント

「ウェルカム センター」画面の内容はご使用いただいている機種によって異なることがあります。

これでWindowsが使えるようになりました。

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」（34ページ）をご覧ください。

！ご注意

- 本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理（有償）が必要になることがありますので、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理（有償）を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理（有償）でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。
- 「ウイルス対策ソフトウェアの状態を確認してください」という警告が表示されることがあります。コンピュータを危険から守るために、Windowsのセットアップが完了したらすぐに「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行ってください。

英語配列キーボードをご使用のお客様へ

本機で英語配列キーボードをお使いの場合、お客様ご自身によるドライバの設定変更が必要です。設定変更の手順については「よくあるトラブルと解決方法」の「文字入力／キーボード」にある「Q キーボードの設定を英語配列用に変更したい。」（165ページ）をご覧ください。

ヒント

英語配列キーボードかどうかは半角／全角｜漢字キーの有無で確認できます。
英語配列キーボードには、半角／全角｜漢字キーがありません。

基本設定を行う

バイオを快適にお使いいただくための基本設定を行います。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについて

コンピュータウイルスやネットワークを通じた不正な接続などによる被害からコンピュータを守るためには、あらかじめきちんと対策しておく必要があります。
「Norton Internet Security」ソフトウェアをインストールしてください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアをインストールする

インターネットに接続しない状態で、デスクトップ画面上の (Symantec Norton Internet Security 2008 インストーラ)アイコンをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。(「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。)

インストールが完了すると、
「Norton Internet Security」設定画面が表示されます。

ここから先の設定(セットアップ)は、インターネットに接続する必要があります。
インターネットの接続については「インターネット/メール」の章(90ページ)をご覧ください。

本機をセットアップする
テレビ/ミュージック/フォト/DVD
インターネット/メール
セキュリティ
メモリ/バックアップ/リカバリ
困ったときは/サービス・サポート
各部名称/注意事項

「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定

1 「Norton Internet Security」の設定をする。

ヒント
「Norton Internet Security」設定画面は、(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[Norton Internet Security]ー[Norton Internet Security]をクリックし、「Norton Internet Security」画面上部に表示される[設定]をクリックして表示できます。

① 「Norton Internet Security」設定画面で[次へ]をクリックする。
オプションの選択画面が表示されます。

② [90 日の更新サービスを続ける]を選択して、[次へ]をクリックする。

ヒント
インターネットに接続していない場合は、表示された[完了]をクリックして設定は終わりです。インターネットに接続後、「Norton Internet Security」ソフトウェアを起動し、画面上部に表示される[Norton アカウント]をクリックして、手順2と3を行ってください。

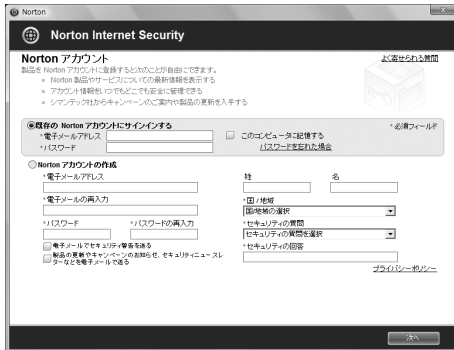
本機ご購入の際に15 ヶ月または24 ヶ月版を選択された場合

① 「Norton Internet Security」設定画面で[次へ]をクリックする。
自動的にアクティブ化が行われます。

！ご注意
アクティブ化完了後、プロダクトキーが表示された場合はメモを取るなどして必ずお手元に保管してください。
リカバリ実行後にプロダクトキーが必要になります。

ヒント
インターネットに接続していない場合はアクティブ化画面が表示されるので、[後でアクティブにする]をクリックしてください。表示された画面で[完了]をクリックして設定は終わりです。
ただし、15日以内にアクティブ化を行う必要があります。インターネットに接続後、「Norton Internet Security」ソフトウェアを起動し、画面上部に表示される[今すぐにアクティブにする]をクリックしてアクティブ化を行い、引き続き手順2と3を行ってください。

2 アカウントを作成する。

① [Norton アカウントの作成]を選択して必要な情報を入力後、[次へ]をクリックする。

ヒント

- 電子メールアドレスをお持ちでない場合や後で登録したい場合は、何も入力せずに[次へ]を数回クリックしてください。表示された[スキップ]をクリックして次の画面に進みます。
- すでにアカウントをお持ちの場合は、[既存の Norton アカウントにサインインする]を選択し、電子メールアドレスとパスワードを入力してください。

② 表示された内容を確認して、[完了]をクリックする。
更新サービスの残り期限が日数表示されます。

ヒント

本機ご購入の際に、15 ヶ月または24 ヶ月版を選択された場合は、「1年とxx日」のように表示されます。

3 「LiveUpdate」で最新版に更新する。

「Norton Internet Security」ソフトウェア画面左側の[LiveUpdate を実行]をクリックする。

インターネットに接続して「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新します。

ヒント

「Norton Internet Security」ソフトウェア画面が表示されていない場合は、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Norton Internet Security]－[Norton Internet Security]をクリックします。

！ご注意

インターネットに接続していない場合は、エラーが表示されます。「LiveUpdate」を行うには、インターネットに接続する必要があります。
インターネットに接続してから「LiveUpdate」を行ってください。
「LiveUpdate」を行わないと、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されないため、新種のコンピュータウイルスなどに対応することができません。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定後に表示される警告について

「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定後、いくつか警告が表示されます。警告の意味と対処方法は以下のとおりです。

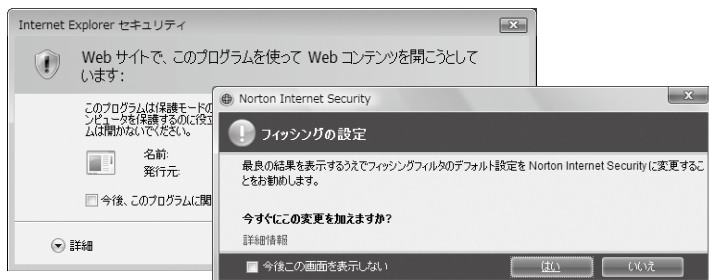
❏ 「注意」画面、「リスクあり」画面

「Norton Internet Security」ソフトウェアの更新やコンピュータウイルスの詳細な検査が長期間行われていないときや、設定がセキュリティ上不適切なものになっていると表示されます。初期設定時以外で表示されたときは[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。

ヒント

画面左に表示されるセキュリティの状態が「要注意」または「リスクあり」になっている場合は、[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。

❏ 「Internet Explorer セキュリティ」画面、「フィッシングフィルタ」画面

「Norton Internet Security」設定後、インターネットエクスプローラを起動するとメッセージが表示されます。メッセージに許可をし、フィッシング詐欺サイト対策機能を有効にします。

本機ご購入の際に15 ヶ月または24 ヶ月版を選択された場合のご注意

アクティブ化完了後、プロダクトキーが表示された場合はメモを取るなどして必ずお手元に保管してください。リカバリ実行後にプロダクトキーが必要になります。

- Norton アカウントの登録を行った場合は、本機にプロダクトキー情報が保存されません。プロダクトキーを確認するには、Norton アカウントにログインしてください。
- Norton アカウントの登録を行っていない場合は、テキストファイル（（スタート）ボタン－［ドキュメント］－［Symantec］）を開いてプロダクトキーを確認できます。

また、本機の修理を行った場合などにもプロダクトキーが必要となることがあります。

更新サービスの期限が切れてしまった場合は、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されません。そのため、新種のウイルスや脅威から本機を保護することができなくなります。「Norton Internet Security」ソフトウェアのプロダクトキーを別途購入されることをおすすめします。

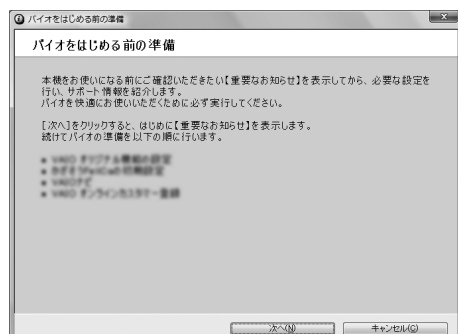
「Norton Internet Security」ソフトウェアについてのお問い合わせは以下となります。

シマンテック
SONYユーザ様用サービスページ（ユーザー登録・サポート登録・更新方法・技術的なご質問）
ホームページ：http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/sony/

バイオをはじめる前の準備を行う

「バイオをはじめる前の準備」では、バイオを快適にお使いいただくために必要な設定を行います。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

1 デスクトップ画面上の[バイオをはじめる前の準備]をダブルクリックする。

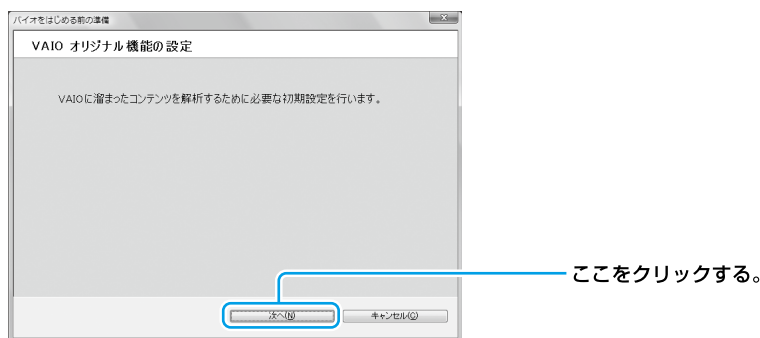
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオをはじめる前の準備」画面が表示されます。

ヒント
「バイオをはじめる前の準備」は、1度実行すると次からは表示されません。

2 画面の指示に従って操作する。

「VAIO オリジナル機能の設定」が表示される場合は、次の「VAIO オリジナル機能の設定を行う」の項目をご覧ください。
最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

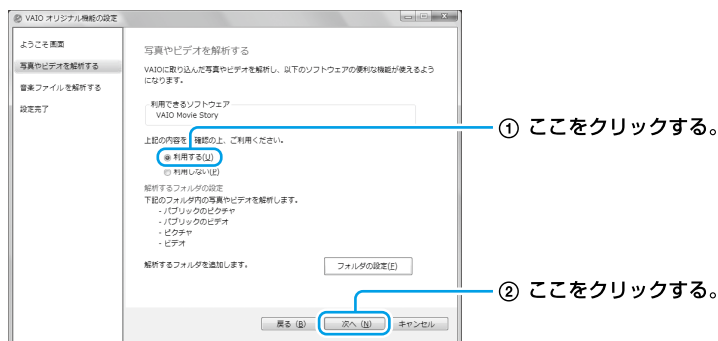
VAIO オリジナル機能の設定を行う

バイオに取り込んだ音楽、写真やビデオを解析するためにVAIO オリジナル機能の設定を行ってください。
VAIO オリジナル機能の設定は「バイオをはじめる前の準備」から設定します。
「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示されたら、以下の手順に従って設定を行ってください。

1 [次へ]をクリックする。

「VAIO オリジナル機能の設定へようこそ」画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
設定画面が表示されます。

3 表示される各画面で内容を確認し、[利用する]を選択して[次へ]をクリックする。

ヒント

設定する項目は、お使いのモデルによって異なります。

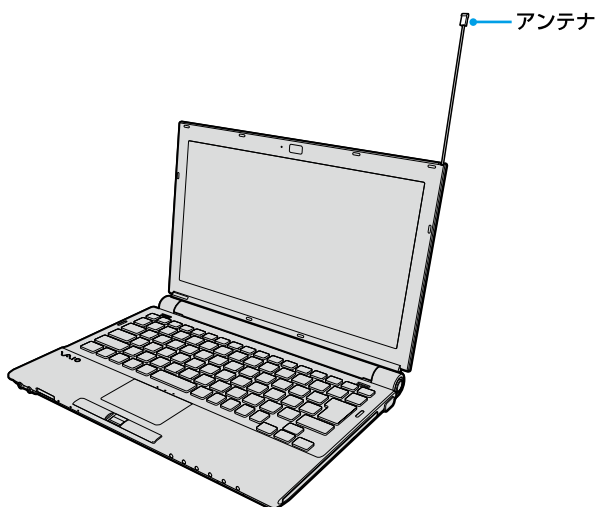
4 [終了]をクリックする。

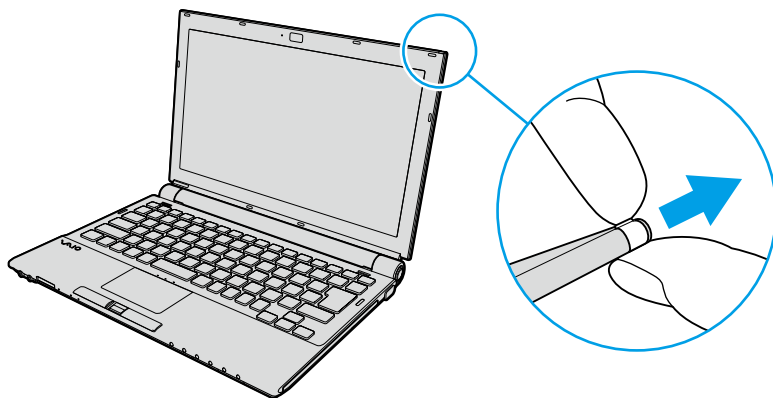
VAIO オリジナル機能の設定が完了します。

VAIO モバイルTVの設定を行う（ワンセグチューナー搭載モデル）

本機でワンセグを視聴するためには、その地域で放送されている放送局（チャンネル）を含んだチャンネルリストを作成する必要があります。
そのため、VAIO モバイル TVを使用する前には、必ずチャンネルリストを作成してセットアップを完了させてください。

アンテナを準備するには

本機にはワンセグを受信するためのアンテナが搭載されています。

ヒント

- アンテナは、突起部分をつまんで引き出してください。

- 付属のアンテナ変換ケーブルを使ってアンテナコネクタと接続することで、受信状況の悪い屋内などでもワンセグの番組を録画したり、見たい番組を録画予約したりして、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに保存した番組をどこででも再生して楽しむことができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[デジタル放送（ワンセグ）]－[アンテナを準備する]をクリックする。）

！ご注意

- アンテナは強く引っぱり過ぎないようにご注意ください。
  引っぱり過ぎると破損の原因となります。
- ワンセグを視聴・録画しない場合は、必ずアンテナを本体に戻してください。
- アンテナは、VAIOのロゴマークが手前になるようにして本体に戻します。
  また、本体に戻すときに無理な力を加えると破損の原因となります。
- ワンセグのサービスエリア以外では、ワンセグを楽しむことはできません。また、放送エリア内であっても、地形や構造物などの周囲環境、本体を置く場所や向き、電波の伝播状況などによっては受信できません。
- ワンセグおよびサービスエリアの詳細については、Dpa（社団法人デジタル放送推進協会）のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）をご覧ください。

チャンネルリストの作成

あらかじめ用意されているチャンネルリストから選択するか、受信できるチャンネルを自動検出してチャンネルリストを作成するかを選んでください。

あらかじめ用意されているチャンネルリストから選択するには

いくつかの地域のチャンネルリストがあらかじめ用意されています。
ご使用になる場所や地域に該当するチャンネルリストを選んでください。該当する場所や地域のチャンネルリストがない場合は、あらたにチャンネルリストを作成してください。

1 **（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO モバイル TV]をクリックして表示された画面で、[OK]をクリックする。**

「チャンネルリストの作成」画面が表示されます。

2 **[チャンネルリストの選択]をクリックする。**

「あらかじめ用意されているチャンネルリストから選択」画面が表示されます。

3 **「チャンネルリスト」ドロップダウンリストから該当する場所や地域を選択する。**

選択された地域のチャンネル一覧が表示されます。

4 **[選択]をクリックする。**

「チャンネルリストの保存」画面が表示されます。

5 「チャンネルリスト名」入力欄に、チャンネルリストの名前を入力する。

ヒント

チャンネルリスト名は、次のような地域や種類が識別できる名前にすると便利です。

（例）

- 東京（会社）
- 大阪の実家

！ご注意

アルファベットの大文字と小文字は区別されません。

6 [保存]をクリックする。

チャンネルリストが作成され、セットアップが完了します。

！ご注意

あらかじめ用意されているチャンネルリストから選択しても、場所や地域によっては受信できるはずのチャンネルが表示されない場合があります。また、近隣地域でも受信できるはずのチャンネルが表示されない場合があります。その場合は、ご使用になる場所や地域でチャンネルリストをあらたに作成するか、再検出を行って、お好みのチャンネルリストを作成してください。

あらたにチャンネルリストを作成するには

ご使用になる場所や地域で受信できるチャンネルリストを自動検出します。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO モバイルTV]をクリックして表示された画面で、[OK]をクリックする。

「チャンネルリストの作成」画面が表示されます。

2 [自動検出]をクリックする。

「チャンネルの自動検出」画面が表示されます。

3 [開始]をクリックする。

受信可能なチャンネルの自動検出を開始します。
検出が完了または検出を中断すると、検出結果の画面が表示されます。

ヒント

- 自動検出が完了するまでには、数分かかる場合があります。
- 期待するチャンネルが検出できなかった場合は、窓際や屋上などの電波が届きやすい場所で再検出を行ってください。
  検出されなかったチャンネルのみ自動検出し、チャンネルを追加します。
- チャンネルの並び順を変更したり、チャンネルを有効／無効にしたりすることで、お好みのチャンネルリストを作成することができます。

「チャンネルリスト名」入力欄に、チャンネルリストの名前を入力する。

ヒント

チャンネルリスト名は、次のような地域や種類が識別できる名前にすると便利です。
（例）

- 東京（会社）
- 大阪の実家

！ご注意

アルファベットの大文字と小文字は区別されません。

5 [作成]をクリックする。

チャンネルリストが作成され、セットアップが完了します。

ヒント

チャンネルが1つも検出されなかった場合は、窓際や屋上などの電波が届きやすい場所で再度チャンネルの自動検出を行ってください。

パスワードについて

本機では、Windowsパスワード、パワーオン・パスワード（起動時のパスワード）とハードディスク・パスワードを設定することができます。

Windowsパスワードについて

Windowsのパスワードを設定することで、パスワードを知っているユーザーだけがWindowsにアクセスできるようにすることができます。
本機を複数のユーザーで使用するときなどに便利です。
Windowsパスワードの設定について詳しくは、102ページをご覧ください。

！ご注意

Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

ヒント

- パスワードを忘れてしまったときのために、ヒントを設定したり、パスワードリセットディスクを作成することができます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。
- Windowsパスワードは、Windowsログオン画面で入力します。
- Windowsパスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（指紋センサー搭載モデル）

パワーオン・パスワードについて

パワーオン・パスワードを設定することで、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使用するようにできます。
大切なデータを守りたいときなどに便利です。
パワーオン・パスワードには、以下の2種類があります。

- **マシンパスワード（管理者用）**
  「コンピュータの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。
  マシンパスワードを入力することで本機の起動やBIOSセットアップ画面でのすべての設定が可能になります。
- **ユーザーパスワード（管理者以外のユーザー用）**
  本機の管理者以外のユーザー用パスワードです。
  ユーザーパスワードを入力することで本機の起動やBIOSセットアップ画面での一部の設定が可能になります。
  マシンパスワードが設定されていないと、ユーザーパスワードを設定することはできません。

パワーオン・パスワードの設定手順については、96ページをご覧ください。

！ご注意

- パワーオン・パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- パワーオン・パスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。
  - ユーザーパスワードを忘れた場合
    マシンパスワードを入力することでBIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
  - マシンパスワードを忘れた場合
    パスワード設定を解除することはできません。
    修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント

- パワーオン・パスワードは、本機の電源を入れてVAIOのロゴマークが表示されたあとに入力します。
- パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（指紋センサー搭載モデル）

ハードディスク・パスワードについて

ハードディスク・パスワードを設定することで、本機以外のパソコンでハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを不正使用することを防止できます。

ヒント

- ハードディスク・パスワードは、内蔵フラッシュメモリー搭載モデルでも使用することができます。
- 内蔵フラッシュメモリー搭載モデルをお使いで、かつハードディスクドライブが搭載されている場合、内蔵フラッシュメモリー／ハードディスクの両方にハードディスク・パスワードを設定することができます。

ハードディスク・パスワードには、以下の2種類があり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを保護するためには、必ず両方のパスワードを設定する必要があります。

- **マスターパスワード（管理者用）**
  「コンピュータの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。
  ユーザーパスワードを忘れたときなどに、マスターパスワードでユーザーパスワードの設定を解除することができます。
  このパスワードでは本機を起動することはできません。
- **ユーザーパスワード**
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーにロックをかけるためのパスワードです。
  設定を行うと、起動時にユーザーパスワードの入力が必要になります。

ハードディスク・パスワードの設定手順については、99ページをご覧ください。

！ご注意

- この機能は、企業内など特別にセキュリティが求められる環境での使用を想定しています。
  設定をする場合は、「コンピュータの管理者」などの指示に基づいて行うなど、特にご注意ください。
- ハードディスク・パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- ハードディスク・パスワードを忘れると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータが二度と使用できなくなります。
  - ユーザーパスワードを忘れた場合
    マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
    ユーザーパスワードを再設定しない限りハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータを使用できなくなり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータをリカバリすることもできません。
    また、本機を起動することもできなくなり、CD ／ DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
  - マスターパスワードを忘れた場合
    パスワード設定を解除することができなくなります。
    ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの交換修理（有償）が必要となり、その場合ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータはすべて失われます。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
  - ハードディスク・パスワードを忘れたことによる不都合については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ハードディスク・パスワードは本機内蔵のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのみに有効です。
  外付けのハードディスクに対しては機能しません。
- ハードディスク・パスワードを設定すると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを本機以外のパソコンに取り付けた際に、データの読み書きができないよう保護機能が働きますが、完璧に保護できるという保証ではありません。

ヒント

- ハードディスク・パスワード（ユーザーパスワード）は、本機の電源を入れてVAIOのロゴマークが表示されたあとに入力します。パワーオン・パスワードを設定している場合は、両方を入力することで本機を使用することができます。
- ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（指紋センサー搭載モデル）

カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーでは、「バイオ」をご所有のお客様に「VAIOカスタマー登録」をお願いしています。
ご登録いただくと、より充実したサービスサポートを受けることができます。
「My Sony ID」が発行(「My Sony ID」を既にお持ちの場合は製品の登録情報を追加)され、「My Sony ID」を使用したご登録者限定メニューがご利用いただけます。

ヒント

- VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」(185ページ)までご連絡ください。
- My Sony IDはソニー共通体系のお客様IDです。ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードで利用できます。
  また、すでに他のIDをご所有の場合も、それらのIDと「IDリンク(ひも付け)」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
  My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)をご覧ください。

！ご注意

- VAIOカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをした後などに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)で行うことができます。

VAIOカスタマー登録の特典

① セキュリティーや品質などに関する重要な情報を提供

② VAIOカスタマー登録されたお客様専用のサービス・サポートメニューを提供

③ 特典情報やキャンペーンなど、バイオに関するさまざまな情報を提供

❑ ご利用いただけるサポート

- **フリーダイヤルによる電話でのお問い合わせ**
  使いかたに関するお問い合わせ窓口（VAIOカスタマーリンク）がフリーダイヤルでご利用いただけます。
- **VAIOコールバック予約サービス**
  本サービスで事前予約していただくと、24時間お電話でのお問い合わせが可能です。
- **VAIOリモートサービス**
  オペレーターが、インターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながらご案内します。
- **テクニカルWebサポート**
  バイオに関する使いかたなどの質問をホームページで受付し、電子メールで返信します。
- **VAIO Hot Street（情報交換サイト）**
  お客様同士でバイオに関するさまざまな情報を投稿、質問、回答できます。

❑ ご利用いただける有料サービス

- VAIO延長保証サービス
- VAIO Overseas Service（海外現地修理サービス）
- VAIOソフトウェアセレクション（ソフトウェア・ダウンロード販売サイト）

※2007年10月現在
ご利用いただけるサポートや有料サービスについて詳しくは、179ページ以降をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

！ご注意

- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）で行うことができます。

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIOオンラインカスタマー登録]をクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

！ご注意

機種によって「VAIOオンラインカスタマー登録」が搭載されていない場合があります。この場合は「MyVAIO」（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO）の「MyVAIO メニュー」から「カスタマー登録」をクリックして手順3に進んでください。

2 内容をよく読み、[ご登録ページへ]をクリックする。

登録画面が表示されます。

ヒント

カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

！ご注意

- 表示された番号は、メモをとるなどして忘れないようにしてください。
- VAIOカスタマーリンクへのお問い合わせの際に、「My Sony ID」が必要になる場合があります。

ヒント

「My Sony ID」は登録メールアドレスに送信されます。

最新情報を自動的に入手する

「VAIO Update」とは

「VAIO Update」とは、ソニーが提供するお客様への「重要なお知らせ」や、ご使用のバイオを最新の状態にする「アップデートプログラム」などの情報を、自動的にお知らせするソフトウェアです。情報が更新されると、タスクバーの通知領域からバルーンでお知らせします。

ヒント
- VAIO Updateは、無料でご利用いただけます。(インターネットの通信費はお客様負担となります。)
- VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。

VAIO Updateでの個人情報の取り扱いについて

ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。
- VAIO Updateでは、お客様がお使いのバイオのシリアル番号やOSおよびインストールソフトウェアなどの情報、ならびにお客様の個人情報をサーバーに送信しませんので安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のバイオのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためで、ここから個人情報への結びつけは行いません。

「VAIO Update」を設定する

VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。

1 **(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO Update 3]－[VAIO Updateの設定]をクリックする。**

「VAIO Updateの設定」画面が表示されます。

ヒント
「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示された際にバルーンをクリックしても表示されます。

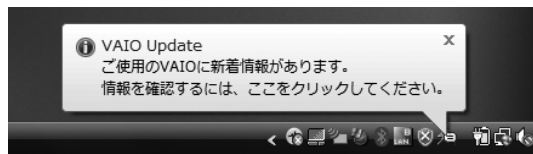
2 「VAIO Updateへようこそ」の内容をスクロールして最後まで読む。

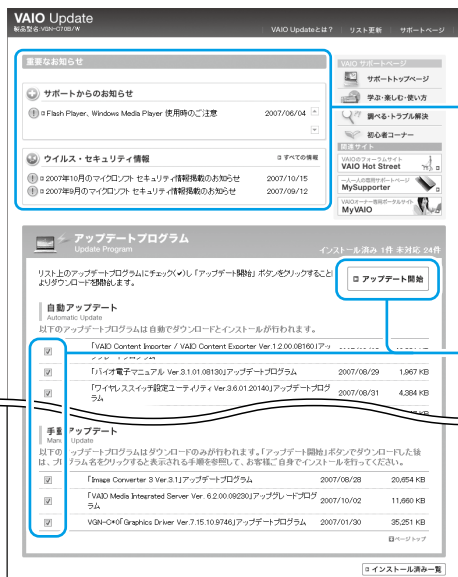
ヒント
スクロールして最後まで読むと左記の画面に変わります。

3 「定期的にサーバーと通信を行い、新着情報を確認する」および「タスクバーにアイコンを表示する」のチェックボックスにチェックがあることを確認し、[OK]をクリックする。

「VAIO Update」を利用する

1 VAIO Updateのバルーン画面をクリックする。

情報が更新されると、タスクバーの通知領域からバルーンでお知らせします。

ヒント
実際の画面とは異なる場合があります。

2 「重要なお知らせ」の確認とアップデートを行う。

アップデートプログラムには、自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。

- 自動アップデート：
  ダウンロードとインストールを自動で行います。
- 手動アップデート：
  ダウンロードまで自動で行います。ダウンロード後はプログラムの件名をクリックし表示される内容に従ってインストールしてください。

ヒント

- アップデートを行うには、管理者権限を持つユーザとしてログオンする必要があります。
- あとでアップデートしたいプログラムはチェックボックスのチェックをはずしてください。
- セキュリティ対策など重要度の高いアップデートプログラムの場合、プログラム名の横に(!)のアイコンが表示されます。これらのプログラムについては、アップデートすることを強くおすすめします。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

❑ リカバリディスクの作成方法を知りたい。

- 「リカバリディスクを作成する」(122ページ)をご覧ください

❑ 電子メールをやりとりしたい。

- 「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。(63ページ)
  ([インターネット]－[ホームページ／電子メール]－[電子メールをやりとりする]をクリックする。)

❑ Windowsの基本操作を知りたい。

- 「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。(63ページ)
  ([できるWindows for VAIO]をクリックする。)
- VAIOカスタマーリンクのホームページ(179ページ)をご覧ください。

Windows Updateについて

より安定した状態でバイオをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックする。

画面で見るマニュアルの使いかた

本書の次ページ以降で、本機の使いかたや困ったときの解決方法を紹介しています。
また、「バイオ電子マニュアル」や「VAIOナビ」では、さらに詳しい情報を紹介しています。本機にインストールされているため、インターネットに接続していなくても使えます。

バイオ電子マニュアルの使いかた

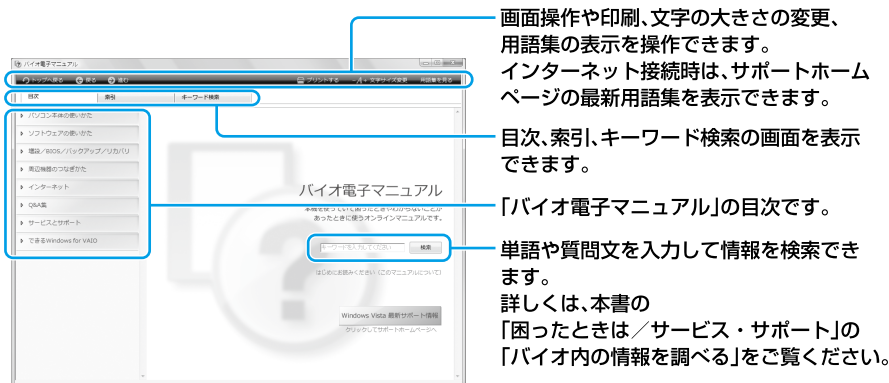
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

画面操作や印刷、文字の大きさの変更、用語集の表示を操作できます。
インターネット接続時は、サポートホームページの最新用語集を表示できます。

目次、索引、キーワード検索の画面を表示できます。

「バイオ電子マニュアル」の目次です。

単語や質問文を入力して情報を検索できます。
詳しくは、本書の「困ったときは／サービス・サポート」の「バイオ内の情報を調べる」をご覧ください。

VAIOナビの使いかた

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIOナビ]をクリックする。

「VAIOナビ」が表示されます。

テレビ・ビデオ
（ワンセグチューナー搭載モデル）

テレビ番組を見る

携帯端末向け地上デジタル放送のワンセグを視聴します。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO モバイル TV］をクリックする。

「VAIO モバイル TV」ソフトウェアが起動します。

ヒント

- 「VAIO モバイル TV」ソフトウェアをはじめて起動した場合は、セットアップの画面が表示されます。（50ページ）
- デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックし、表示されるメニューから［VAIO モバイル TVの起動］を選択しても起動することができます。

2 サイドバーで［テレビ一覧］ボタンまたは［テレビ一覧］タブをクリックし、表示されたチャンネルの一覧からチャンネルをクリックする。

録画予約をする

放送から取得した番組詳細情報から録画予約を行います。

1 チャンネルの一覧から、録画したいチャンネルの [i] をクリックする。

番組詳細情報が表示されます。

2 予約したい番組を選択し、画面下部の［録画予約］をクリックする。

確認画面が表示されます。

3 内容を確認し、［OK］をクリックする。

ヒント

- 予約内容を修正する場合は、［編集］をクリックして再度設定し直してください。
- 録画予約方法や便利な機能について詳しくは、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

録画したテレビ番組を見る

録画した番組（ビデオ）を再生します。

サイドバーで［ビデオ一覧］ボタンまたは［ビデオ一覧］タブをクリックし、表示されたビデオの一覧から見たい番組をダブルクリックしてください。

音楽を取り込む

お気に入りの音楽CDをバイオに録音できます。自分だけの音楽ライブラリができあがります。

!ご注意

操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブなどが必要となります。

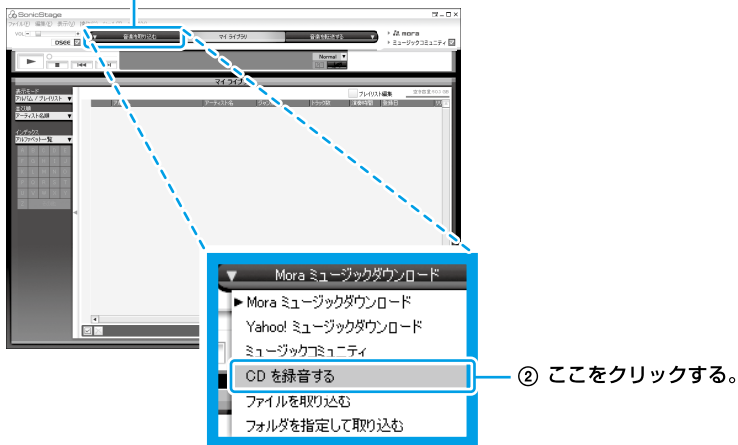
1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[SonicStage]－[SonicStage]をクリックする。

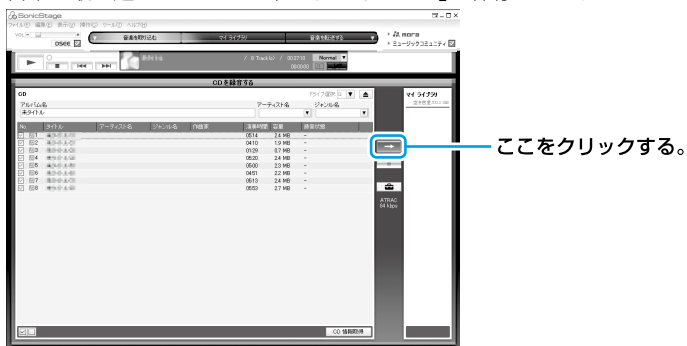
「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 取り込みたい音楽CDをドライブに入れる。

ヒント

「SonicStage」ソフトウェアではじめて音楽CDを利用するときは、ドライブのチェックや、音楽CDを入れたときに自動的に録音するかどうかを設定します。表示される画面の指示に従って操作してください。

3 [音楽を取り込む]にポインタをあわせ、メニューから[CDを録音する]をクリックする。

4 をクリックする。

音楽の取り込みがはじまり、「マイ ライブラリ」に保存されます。

ヒント

- 画面右下の［CD 情報取得］をクリックすると、インターネット上のCD情報サービスを利用して、音楽CDのアルバム名や曲名などの情報を自動的に取り込むことができます。また、アルバム名、アーティスト名およびタイトルは、画面上で直接入力することもできます。ただし、録音中はこれらの操作はできません。
  詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 取り込みたくない曲がある場合は、
  をクリックする前に、CDトラック番号の をクリックして にします。

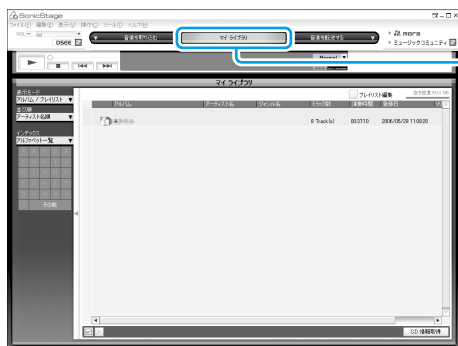
音楽を聞く

取り込んだ音楽コンテンツをジュークボックス感覚で楽しむことができます。音楽CDを交換する手間はありません。

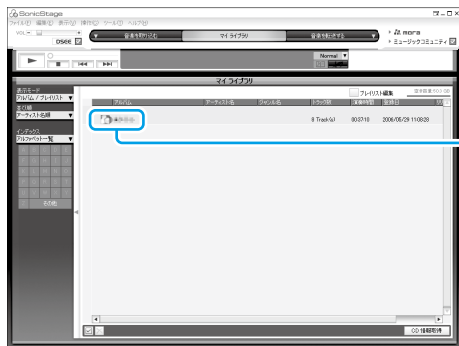
！ご注意

操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

1 （スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［SonicStage］ー［SonicStage］をクリックする。

「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 ［マイ ライブラリ］をクリックする。

「マイ ライブラリ」画面が表示されます。

3 再生したい曲を含むアルバムをダブルクリックする。

アルバムに収められている曲の一覧が表示されます。

ヒント

- 「マイ ライブラリ」を「すべての曲一覧」モードで表示している場合は、この操作は不要です。
- アルバムを選択して画面右下の[CD 情報取得]をクリックすると、インターネット上のCD情報サービスを利用して、音楽CDのアルバム名や曲名などの情報を自動的に取り込むことができます。ただし、複数のアルバムを指定して情報を検索することはできません。
  詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

聞きたい曲をクリックして選択し、 をクリックする。

音楽が再生されます。

ヒント

曲をダブルクリックして再生することもできます。

音楽CDを作る

曲やアルバムを選んでお好みの音楽CDを作れます。

！ご注意

- 音楽CDを作成する場合は、あらかじめ「使用できるディスクとご注意」（229ページ）をご覧ください。
- 操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

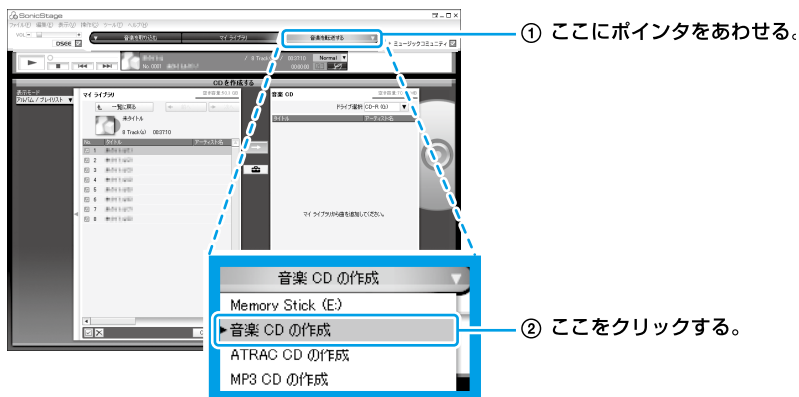
ヒント

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブなどが必要となります。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［SonicStage］－［SonicStage］をクリックする。

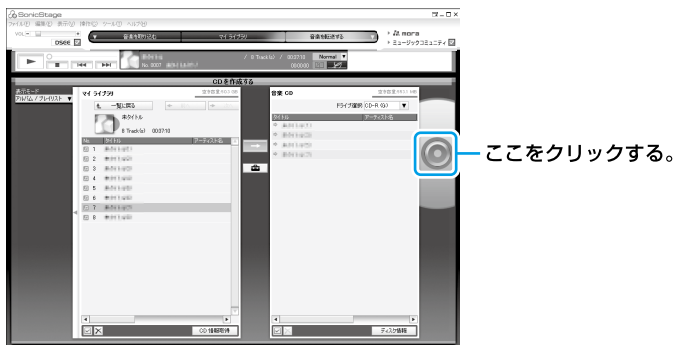
「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

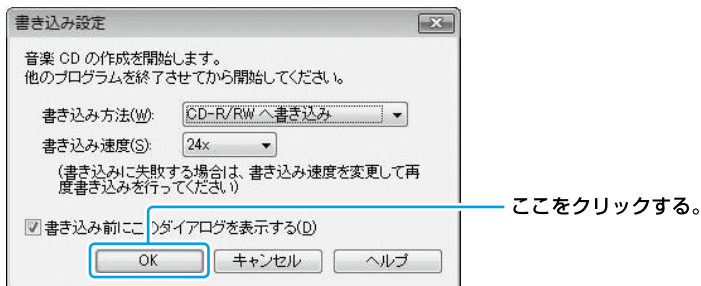
2 ブランクメディア（データの書き込まれていないCD-R、CD-RW）をドライブに入れる。

3 ［音楽を転送する］にポインタをあわせ、［音楽CDの作成］をクリックする。

4 CDにしたい曲やアルバムを選択し、をクリックする。

ヒント

- 曲の一覧は、アルバムをダブルクリックすると表示されます。
- マイ ライブラリの曲をCD-R ／ CD-RWに書き込む場合は、書き込みたい曲をあらかじめ「プレイリスト」などにまとめておくと便利です。

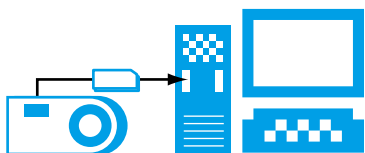
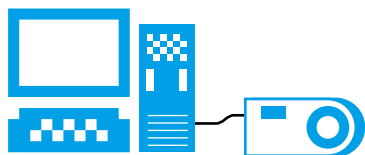
5 CDにしたい曲やアルバムをすべて選択したら、をクリックする。

「書き込み設定」画面が表示されます。

6 [OK]をクリックする。

書き込みが始まります。

フォト

写真を取り込む

デジタルスチルカメラの写真を取り込んでバイオで管理できます。

1 USBコネクタにデジタルスチルカメラを接続するか、“メモリースティック”などのメモリーカードをスロットに入れる。

Windowsが実行する動作を指定する画面が表示されます。

ヒント

- デジタルスチルカメラやメモリカードなどのメディアをコンピュータに接続する方法については、お使いの機器やメディアの取扱説明書をご覧ください。
- コンピュータの設定によっては、Windowsが実行する動作を指定する画面が表示されないことがあります。この場合は
  (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows フォト ギャラリー]をクリックして「Windows フォト ギャラリー」ソフトウェアを起動し、[ファイル]メニュー－[ギャラリーへのフォルダの追加]をクリックします。
  「ギャラリーへのフォルダの追加」画面で取り込みたいメディアやカメラを選択して[OK]をクリックすると、画像とビデオの読み込みが開始されます。

2 [画像の取り込み - Windows使用]をクリックする。

3 「画像とビデオを読み込んでいます」画面が表示されたら、「これらの画像をマーク」を設定する。

マーク欄にマークを直接入力するか、ドロップダウンリストからマークを選択します。

ヒント

- マークは設定しなくても構いません。
- マークを設定すると、画像にタグを付加して、タグを元に検索や整理ができます。
  タグについては、[オプション]をクリックして表示された画面で設定できます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

4 [読み込み]をクリックする。

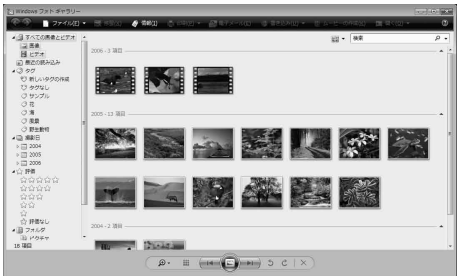
画像の読み込みが開始されます。

これで画像の取り込みは完了です。

写真を見る

取り込んだ写真をWindows フォト ギャラリーで表示します。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[Windows フォト ギャラリー]をクリックする。

「Windows フォト ギャラリー」画面が表示されます。

画面左側の一覧から見たい項目をクリックすると、その項目に該当する写真が表示されます。

- [すべての画像とビデオ]をクリックすると、「Windows フォト ギャラリー」ソフトウェアに取り込まれているすべての写真が表示されます。
- 「タグ」「撮影日」「評価」をクリックして、条件による写真の検索を行うことができます。

DVDを見る

WinDVDでDVDを再生します。

!ご注意

本機でDVDを再生するときは、映像を扱う他のソフトウェアをすべて終了させてください。

ヒント

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブなどが必要となります。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[InterVideo WinDVD]－[InterVideo WinDVD for VAIO]をクリックする。

「WinDVD」ソフトウェアが起動します。

2 再生したいDVDをドライブに入れる。

3 再生する。

「WinDVD」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「WinDVD」のヘルプをご覧ください。

インスタントモード
（ディスクドライブ搭載モデル）

インスタントモードでできること

インスタントモードの起動は、本機の電源が切れている状態で行います。

ヒント
インスタントモードとは、Windowsを起動しなくても、DVDや音楽の視聴、写真の閲覧ができるモードのことです。

本機では、本体のAV操作ボタンやキーボードを使って、Windowsを起動しなくても、次のことができます。

DVDの再生

DVDを再生することができます。

CDの再生

音楽CDの再生をすることができます。

ミュージックの再生

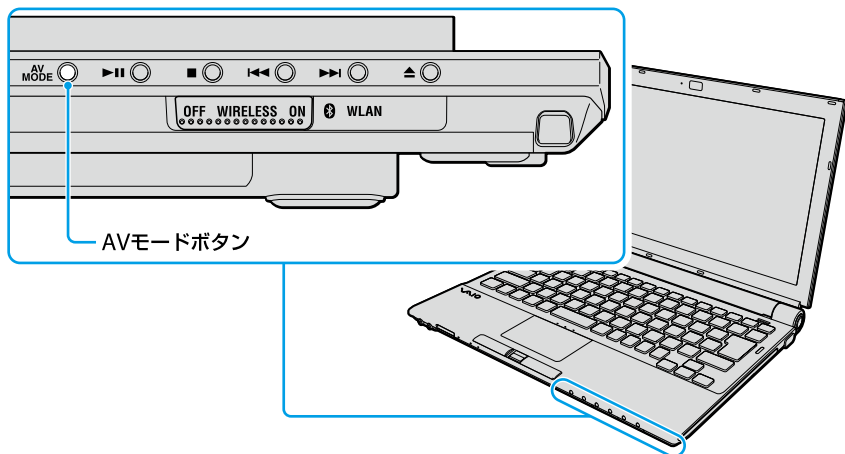
ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内の音楽ファイルを再生することができます。

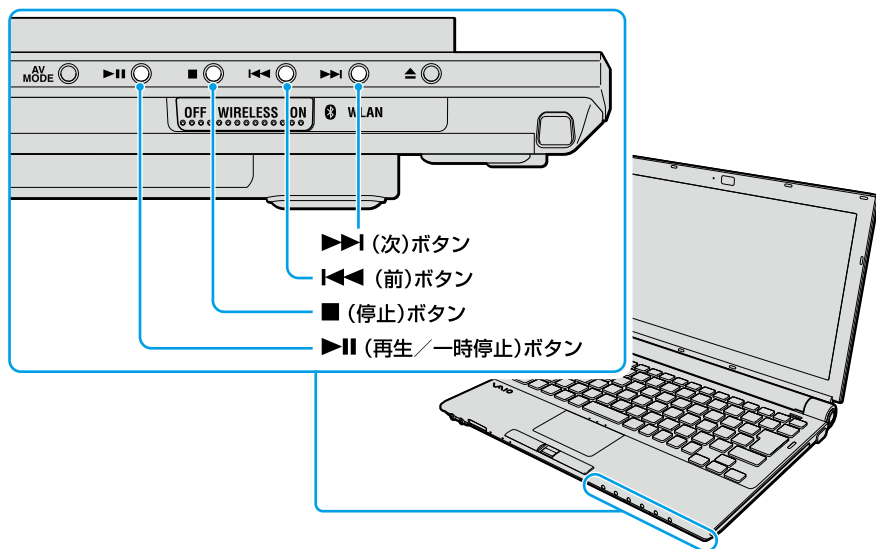
フォトの閲覧

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内に保存されている写真（フォト）を閲覧することができます。

インスタントモードの使いかた

AV操作ボタンやキーボードなどを使って、インスタントモードを操作します。

AVモードボタン

インスタントモードを起動し、メインメニューを表示します。
インスタントモード起動中に押すと、メインメニューに表示を切り替えます。

AV操作ボタン

- ▶II(再生／一時停止)ボタン
  CDやハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内の曲やDVDの映像を再生／一時停止します。
  または、写真のスライドショーを開始／一時停止します。
- ■(停止)ボタン
  CDやハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内の曲やDVDの映像を停止します。
  または、写真のスライドショーを停止してサムネイルを表示します。
- I◀◀(前)ボタン
  CDやハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内の音楽再生中に曲を戻し、DVDの映像再生中にチャプターを戻します。
  または、表示する写真を戻します。
  長押しすることで早戻しもできます。長押しし続けると再生(表示)速度が切り替わります。
- ▶▶I(次)ボタン
  CDやハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内の音楽再生中に曲を送り、DVDの映像再生中にチャプターを送ります。
  または、表示する写真を送ります。
  長押しすることで早送りもできます。長押しし続けると再生(表示)速度が切り替わります。

その他のボタン

- ⏏(イジェクト)ボタン
  ディスクを入れる／取り出す場合はこのボタンをお使いください。
  このボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、ドライブ側面のイジェクトボタンを押してください。
- ⏻(パワー)ボタン
  インスタントモードを終了します。

キーボード

- (アプリケーション)キー
  設定メニュー表示のオン／オフを切り替えます。
- F1キー
  操作ガイド表示のオン／オフを切り替えます。
- F2キー
  音声を入／切します。
- F3キー
  音量を下げます。
- F4キー
  音量を上げます。
- F5キー
  液晶ディスプレイを暗くします。
- F6キー
  液晶ディスプレイを明るくします。
- Enterキー
  選択されているメニューやフォルダを実行／決定します。
- 矢印キー
  メニューやフォルダを操作します。
- Backspaceキー
  ミュージックモード時やフォトモードでサムネイルを表示している場合に、上位フォルダに移動します。
- Fnキー +Pg Upキー／ Fnキー +Pg Dnキー
  ミュージックモード時やフォトモードでサムネイルを表示している場合に、ページを移動します。
- Escキー
  設定メニューを閉じます。

インスタントモード使用時のご注意

DVDの再生について

インスタントモードでは、市販のDVD、ビデオフォーマットのDVD、ビデオレコーディングフォーマットのDVD-RW/DVD-RAMの再生を行うことができます。
インスタントモードで対応していないDVDの再生は、Windowsを起動して、Windows Media Centerまたは「WinDVD」ソフトウェアで行ってください。
また、DTS形式の音声の再生はサポートしていません。

ミュージックの再生について

- インスタントモードでは、本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内にある以下のフォーマット（ファイル形式）の音楽ファイルを再生することができます。
  - MP3形式
    拡張子：*.mp3
    ビットレート：64 kbps ～ 320 kbps
    サンプリング周波数：44.1 kHz、48 kHz
  - WMA形式
    拡張子：*.wma
    ビットレート：48 kbps ～ 192 kbps
    サンプリング周波数：44.1 kHz、48 kHz
  - AAC形式
    拡張子：*.m4a
    ビットレート：64 kbps ～ 320 kbps
    サンプリング周波数：44.1 kHz、48 kHz
- インスタントモードに対応していない音楽ファイルは一覧に表示されません。

フォトの閲覧について

- インスタントモードでは、本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内にあるJPEG、GIF*、BMP、TIFF、PNG形式の画像を閲覧することができます。
  * アニメーションGIFは非対応
- テキストファイルやdocファイルなど非対応のデータは、サムネイル表示やスライドショーでは表示されません。

ミュージック、フォトで使用するファイルの保存先について

インスタントモードでは、一部アクセスできないフォルダが存在します。
インスタントモードで使用したい音楽ファイルや写真データは、
「C:¥ユーザー¥（public以外のフォルダ）」には保存しないでください。
インスタントモードの初回起動時は、以下のフォルダを参照します。

- ミュージック：　C:¥ユーザー¥public¥music¥sample
- フォト：　C:¥ユーザー¥public¥picture¥sample

ヒント
初回起動以降は、前回の起動時に最後に参照したフォルダにアクセスします。

画面が消えたときは

インスタントモードを起動中、しばらく何も操作が行われないと、液晶ディスプレイに何も表示されなくなります。
キーボードのいずれかのキーを押すと、元の画面に戻ります。

「VAIO モバイル TV」ソフトウェアとの制限事項について（ワンセグチューナー搭載モデル）

「VAIO モバイル TV」ソフトウェアで録画予約している場合は、予約録画開始の約6 分前に確認画面が表示されます。
予約録画を行う場合は、インスタントモードを終了して[すぐに再起動]を選択してください。自動的にWindowsを起動して、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアでの予約録画が開始されます。
また、[キャンセル]を選択した場合は、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアでの録画予約はキャンセルされます。

ヒント
確認画面で30 秒以上選択を行わなかった場合は、自動的にWindowsを起動して、「VAIO モバイル TV」ソフトウェアでの予約録画が開始されます。

CDを聞く

インスタントモードで音楽CDを再生します。

ヒント
キーボードのF1キーを押すと、操作ガイド表示のオン／オフを切り替えることができます。

1 AVモードボタンを押す。

インスタントモードが起動し、メインメニューが表示されます。

2 左右矢印キーで[CD・DVD]を選択し、Enterキーを押す。

3 再生したい音楽CDをドライブに入れる。

音楽CDが再生されます。

！ご注意
ディスクの種類によっては、自動的に再生が開始されない場合があります。
このような場合は、▶II（再生／一時停止）ボタンを押してください。

❑ CDを操作するには

AV操作ボタンで操作します。(78ページ)

❑ 音量を変更するには

F3キーやF4キーで音量を調節します。
F3キーを押すと小さくなり、F4キーを押すと大きくなります。
また、F2キーを押すと音を消すことができます。もう一度F2キーを押すと元の音量に戻ります。

❑ 設定を変更するには

(アプリケーション)キーを押して、表示された設定メニューから「リピート」や「シャッフル」などの設定を変更します。
設定メニューについては88ページをご覧ください。

❑ インスタントモードを終了するには

(パワー)ボタンを押すか、AVモードボタンを押して表示されたメインメニューで[電源オフ]を選択します。

❑ Windowsを起動するには

AVモードボタンを押して表示されたメインメニューで[Windows の起動]を選択します。

DVDを見る

インスタントモードでDVDを再生します。

ヒント
キーボードのF1キーを押すと、操作ガイド表示のオン/オフを切り替えることができます。

1 **AVモードボタンを押す。**

インスタントモードが起動し、メインメニューが表示されます。

2 **左右矢印キーで[CD・DVD]を選択し、Enterキーを押す。**

3 再生したいDVDディスクをドライブに入れる。

DVDディスクが再生されます。

!ご注意

ディスクの種類によっては、自動的に再生が開始されない場合があります。
このような場合は、▶II（再生／一時停止）ボタンを押してください。

ヒント

DVDをすでに途中まで再生している場合は、続きから再生されます。
最初から再生したい場合は、停止した状態で■（停止）ボタンを押してください。

❑ DVDを操作するには

AV操作ボタンで操作します。（78ページ）

❑ 音量を変更するには

F3キーやF4キーで音量を調節します。
F3キーを押すと小さくなり、F4キーを押すと大きくなります。
また、F2キーを押すと音を消すことができます。もう一度F2キーを押すと元の音量に戻ります。

❑ 設定を変更するには

（アプリケーション）キーを押して、表示された設定メニューから「画質調整」や「二重音声切り換え」などの設定を変更します。
設定メニューについては88ページをご覧ください。

❑ インスタントモードを終了するには

⏻（パワー）ボタンを押すか、AVモードボタンを押して表示されたメインメニューで[電源オフ]を選択します。

❑ Windowsを起動するには

AVモードボタンを押して表示されたメインメニューで[Windows の起動]を選択します。

音楽ファイルを再生する

本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内にある音楽ファイルを再生します。

ヒント
キーボードのF1キーを押すと、操作ガイド表示のオン/オフを切り替えることができます。

1 AVモードボタンを押す。

インスタントモードが起動し、メインメニューが表示されます。

2 左右矢印キーで[ミュージック]を選択し、Enterキーを押す。

3 矢印キーとEnterキーを押して、音楽ファイルがあるフォルダに移動する。

音楽ファイルが一覧表示されます。

!ご注意
インスタントモードで対応しているファイル形式のデータがフォルダ内に存在する場合にのみ、そのフォルダに移動することができます。

ヒント
Backspaceキーで上位フォルダへの移動、Fnキー+Pg Upキー/Fnキー+Pg Dnキーでページの移動ができます。

❑ 音楽ファイルを操作するには

AV操作ボタンで操作します。(78ページ)

❑ 音量を変更するには

F3キーやF4キーで音量を調節します。
F3キーを押すと小さくなり、F4キーを押すと大きくなります。
また、F2キーを押すと音を消すことができます。もう一度F2キーを押すと元の音量に戻ります。

❑ 設定を変更するには

(アプリケーション)キーを押して、表示された設定メニューから「リピート」や「シャッフル」などの設定を変更します。
設定メニューについては88ページをご覧ください。

❑ インスタントモードを終了するには

⏻(パワー)ボタンを押すか、AVモードボタンを押して表示されたメインメニューで[電源オフ]を選択します。

❑ Windowsを起動するには

AVモードボタンを押して表示されたメインメニューで[Windows の起動]を選択します。

写真を見る

本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内に保存されている写真(フォト)を閲覧します。

ヒント

キーボードのF1キーを押すと、操作ガイド表示のオン/オフを切り替えることができます。

1 AVモードボタンを押す。

インスタントモードが起動し、メインメニューが表示されます。

2 左右矢印キーで[フォト]を選択し、Enterキーを押す。

3 矢印キーとEnterキーを押して、写真データがあるフォルダに移動する。

写真データがサムネイル表示されます。

!ご注意

インスタントモードで対応しているファイル形式のデータがフォルダ内に存在する場合にのみ、そのフォルダに移動することができます。

ヒント

Backspaceキーで上位フォルダへの移動、Fnキー +Pg Upキー/ Fnキー +Pg Dnキーでページの移動ができます。

❑ スライドショーを操作するには

AV操作ボタンで操作します。（78ページ）

❑ 設定を変更するには

（アプリケーション）キーを押して、表示された設定メニューから「一般設定」などの設定を変更します。

設定メニューについては88ページをご覧ください。

❑ インスタントモードを終了するには

（パワー）ボタンを押すか、AVモードボタンを押して表示されたメインメニューで［電源オフ］を選択します。

❑ Windowsを起動するには

AVモードボタンを押して表示されたメインメニューで［Windows の起動］を選択します。

設定を変更する

インスタントモードに関する設定を行います。

設定の変更は、（アプリケーション）キーを押して表示される設定メニューより行います。

ヒント

設定メニューの表示中は、音量調整などの一部の操作を行うことはできません。設定メニューを非表示にしてから操作してください。

1 （アプリケーション）キーを押す。

設定メニューが表示されます。

2 矢印キーとEnterキーを押して、設定を変更する。

ヒント

設定を変更しても設定メニューが画面上に残ってしまう場合は、（アプリケーション）キーを押して、設定メニューを閉じてください。

設定メニューを操作するには

メニューにより操作が異なります。

❏ 基本操作(▶の付いていない項目)

クローズドキャプション ▶
情報表示On/Off
一般設定...

設定を変更したい項目を上下矢印キーで選択し、Enterキーを押します。

❏ 基本操作(▶の付いている項目)

メニューの言語	オフ
スリープタイマー ▶	30分後
バージョン情報 ▶	60分後
	90分後

設定を変更したい項目を上下矢印キーで選択し、右矢印キーを押して新たなメニューを表示します。
表示されたメニューから、上下矢印キーで項目を選択し、Enterキーを押します。
また、左矢印キーで設定メニューに戻ります。

❏ 「画質調整」の操作(DVDモード時)

[画質調整...]を上下矢印キーで選択し、右矢印キーを押して新たなメニューを表示します。

表示されたメニューから、設定したい項目を上下矢印キーで選択し、右矢印キーを押して調整画面を表示します。
左右矢印キーで設定を調整し、Enterキーを押します。

設定メニューを消すには

(アプリケーション)キーを押します。

設定メニューの項目について

各モードでの設定メニューは次のとおりです。

❑ DVDモード

メニュー名	選択項目	説明
DVDトップメニュー	―	DVDのトップメニューを表示します。
DVDメニュー	―	DVDのメニューを表示します。
画質調整...	―	別表(画質調整)を参照してください。
ワイド切り換え	オート* フル	画面サイズを切り替えます。
音声言語切り換え	再生可能な音声言語	再生するDVDに複数の音声言語が設定されている場合に、音声言語を切り替えます。
二重音声切り換え	主音声(L) 副音声(R) 主音声(L) / 副音声(R) *	音声を切り替えます。
字幕切り換え	表示可能な字幕表示	再生するDVDに複数の字幕表示が設定されている場合に、字幕を切り替えます。
アングル切り換え	再生可能なアングル	再生するDVDにアングルが設定されている場合に、アングルを切り替えます。
クローズドキャプション	オン オフ*	再生するDVDがクローズドキャプション表示に対応している場合に、クローズドキャプション表示のオン／オフを切り替えます。
情報表示On/Off	―	バッテリの状態表示(バッテリ使用時のみ)、タイトル、チャプター番号表示のオン／オフを切り替えます。
一般設定...	―	別表(一般設定)を参照してください。

* お買い上げ時の設定

❑ 画質調整

メニュー名	選択項目	説明
色合い	―	色合いを調整します。
コントラスト	―	コントラストを調整します。
輝度	―	輝度を調整します。
彩度	―	彩度を調整します。
初期値に戻す	―	初期値に戻します。
メニューに戻る	―	メニューに戻ります。

❑ CDモード／ミュージックモード

メニュー名	選択項目	説明
リピート	全曲リピート 1曲リピート オフ*	リピートの方法を切り替えます。
シャッフル	オン オフ*	シャッフルのオン／オフを切り替えます。
情報表示On/Off	―	バッテリの状態表示(バッテリ使用時のみ)のオン／オフを切り替えます。
一般設定...	―	別表(一般設定)を参照してください。

* お買い上げ時の設定

❏ フォトモード(サムネイル表示時)

メニュー名	選択項目	説明
情報表示On/Off	−	バッテリの状態表示(バッテリ使用時のみ)のオン/オフを切り替えます。
一般設定...	−	別表(一般設定)を参照してください。

❏ フォトモード(スライドショー表示時)

メニュー名	選択項目	説明
回転	↻ 90° ↺ 90°	現在表示している写真を90゜回転します。
スピード	遅い 標準* 速い	次の写真が表示されるまでの時間間隔を切り替えます。
すべてリピート	オン オフ*	スライドショーのリピートのオン/オフを切り替えます。
画質調整...	−	別表(画質調整)を参照してください。
情報表示On/Off	−	バッテリの状態表示(バッテリ使用時のみ)のオン/オフを切り替えます。
一般設定...	−	別表(一般設定)を参照してください。

＊　お買い上げ時の設定

❏ 一般設定

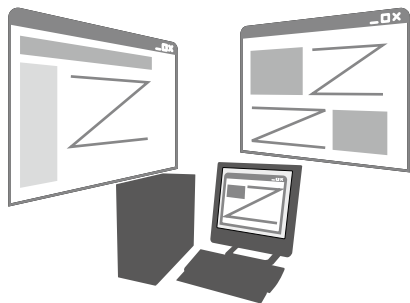
メニュー名	選択項目	説明
メニューの言語	英語 中国語−繁体字 中国語−簡体字 日本語 韓国語 フランス語 ドイツ語 イタリア語 スペイン語 ロシア語	表示言語を切り替えます。
スリープタイマー	オフ 30分後 60分後 90分後	自動的に電源を切るまでの時間を設定します。設定後は、電源を切るまでの残り時間を表示します。
バージョン情報	−	バージョンを表示します。
ガイド表示On/Off	−	操作ガイド表示のオン/オフを切り替えます。
メニューに戻る	−	メニューに戻ります。

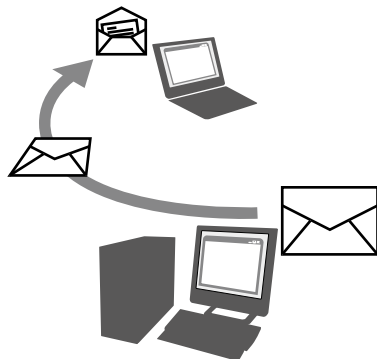
インターネットを始める

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながって構成されている地球規模のネットワークのことです。
インターネットを利用するには、インターネット接続サービスを提供する会社（プロバイダ、インターネットサービスプロバイダ（ISP）などと呼びます）と契約し、接続のための設定を行います。
この章では、インターネットを利用したことがない方や、プロバイダと契約していない方を対象に、インターネットの基本的な利用方法を解説します。

インターネットでできること

ホームページを見る

ホームページは、文章や画像、映像、音声などで構成された情報媒体です。ニュースや読み物を読んだり、天気予報やテレビ番組表のような情報を調べたり、買い物を楽しんだりすることができます。

電子メールをやりとりする

インターネットの利用者同士で手紙をやりとりすることができます。画面上で手軽に送ったり受けたりすることができます。
電子メールについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[インターネット]－[ホームページ／電子メール]－[電子メールをやりとりする]をクリックする。）

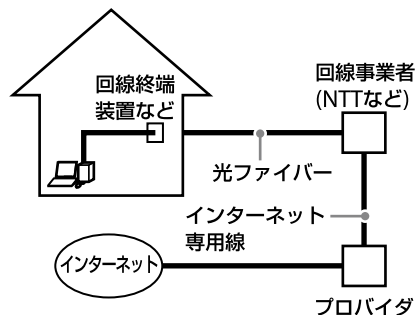
こんなこともできます

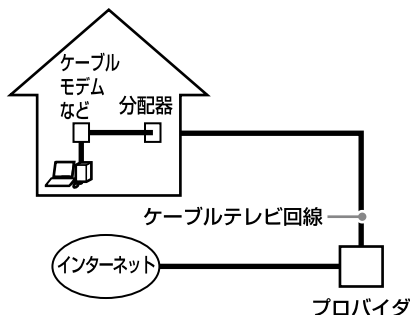
- 無料の電話サービス
  インスタントメッセンジャー（IM）というソフトウェアを利用すれば、利用者同士で無料の音声通話やビデオ通話、チャット（文字による会話）などを楽しむことができます。
- インターネットオークション
  不要になったものなどを個人間で売買することができます。
- 音楽や動画の視聴
  音楽や動画を購入してコンピュータ上で再生し、楽しむことができます。
- 銀行取引・株取引
  銀行や証券会社のホームページで取引することができます。
- ホームページの公開
  ほとんどのプロバイダでは、利用者がホームページを公開するためのサービスを提供しています。ホームページを作ってほかのインターネット利用者と知識を共有したり、自分が作ったものを公開して他の人に見てもらえるようにすることができます。

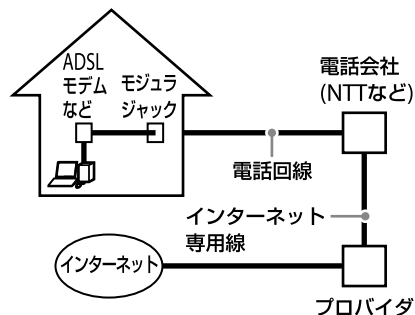
インターネット接続サービスの種類

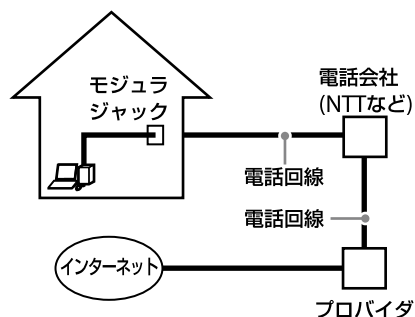
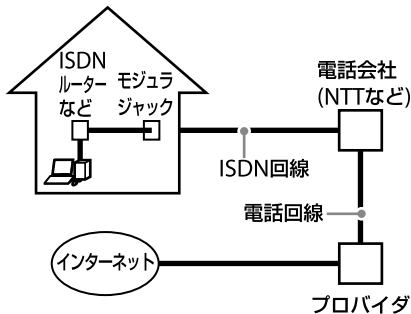
インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

❑ 光(FTTH)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

❑ CATVインターネット

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいは光(FTTH)と同程度で接続ができます。
すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

❑ ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
光(FTTH)ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

❑ その他の接続サービス

- 一般電話回線
  一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。モデム内蔵のコンピュータならほかに機器を必要としないので、手軽にインターネットを始められます。
  通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。

- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

❑ 各接続サービスの特徴

回線の種類	接続可能エリア	高速通信	常時接続
光(FTTH)	△	◎	◎
CATV インターネット	△	○/◎	◎
ADSL	○	○	◎
一般電話回線	◎	△	△
ISDN	○	△	△

◎：最適　○：適している
△：あまり適さない

プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討の上、ご自分に合ったプロバイダと契約してください。
プロバイダについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先]をクリックして表示される「ISPサインアップ」の項目をご覧ください。

!ご注意
- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

プロバイダのマニュアルに従って機器の接続や設定を行う

契約が完了すると、プロバイダからインターネットの接続に使用するマニュアルや資料、機器などが郵送されてきます。
接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。

インターネットのセキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行される（これを感染と呼びます。）と、以下のような被害にあってしまいます。

被害の例

- ファイルが勝手に消去されたり、内容が改変されたりする。
- ウイルスの作成者などに、コンピュータ上に保存された個人情報（電子メールのデータやアドレス帳のデータ、WordやExcelなどで作成したデータなど）がインターネットを通じて勝手に送信される。
- ウイルスの作成者などに、違法な広告メールの発信元として利用される。
- コンピュータ上に保存された電子メールアドレスあてに、勝手にウイルス付きの電子メールが送られる。

コンピュータウイルスに感染する経路

- **コンピュータウイルスに感染した文書（WordやExcelなど）を開く**
  WordやExcelでは、処理を自動化するためのマクロと呼ばれる機能があります。この機能を悪用して、コンピュータウイルスとして作られたものが添付されている可能性があります。このような文書を開くと、コンピュータ内の他の文書にもコンピュータウイルスを添付されてしまいます。
- **コンピュータウイルスが添付された電子メールの実行ファイルを開く**
  知っている人からの電子メールだと思って画像ファイルを開いたつもりが、実は画像ファイルに偽装したコンピュータウイルスだったということがあります。コンピュータウイルスに感染すると、勝手にコンピュータウイルス付きの電子メールを送るようになってしまう場合があるため、ファイルを開くときは細心の注意が必要です。
- **ホームページで入手した実行ファイルを開く**
  インターネットでは、無料のソフトウェアが公開されていることがあります。そのソフトウェアの作成者のコンピュータがコンピュータウイルスに感染していたなどの理由で、公開されているソフトウェアそのものがウイルスになってしまっている場合があります。
- **インターネットにつないでいると勝手に感染する**
  非常にまれですが、Windowsに大きな欠陥が発見されるとその欠陥を悪用したコンピュータウイルスが作成され、何もしていなくてもコンピュータがコンピュータウイルスに感染するという状況になる場合があります。しかし、後述するファイアウォール機能が動作していれば防ぐことが可能です。また、このような重大な欠陥はすぐに後述するWindows Updateで対策用のソフトウェアが配布されるため、きちんと対策しておけば問題ありません。

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

❑ コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「Norton Internet Security」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。
コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、過去に発見されたコンピュータウイルスの情報をウイルス定義ファイルという形で保持しており、この情報を元に、コンピュータにコンピュータウイルスが存在していないか、開こうとしているファイルは安全かどうかを検査しています。
コンピュータウイルスは毎日新しいものが発見されているため、ウイルス定義ファイルは定期的に更新する必要があります。本機に搭載されている「Norton Internet Security」ソフトウェアでは、90日間無料でウイルス定義ファイルを更新することができます。
「Norton Internet Security」ソフトウェアについて詳しくは、41ページをご覧ください。

！ご注意

- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- 本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行して、ウイルス定義ファイルを最新の状態にしてください。

❑ Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
「Windowsを準備する」（35ページ）の手順に従ってセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。
また、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックすると、Windows Updateのホームページが表示されます。こちらでプログラムの更新を確認することもできます。

！ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

！ご注意
ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

詐欺について

インターネット特有の詐欺には以下のようなものがあります。

- **架空請求詐欺**
  ホームページを開くと、突然「ご登録いただきましてありがとうございました」などと表示するとともに利用料を請求されることがあります。これは架空請求詐欺ですので、利用料を支払う必要はありません。
  画面上にはお使いのプロバイダ名などが表示され、一見すると個人情報が登録されてしまっているように見えますが、表示されている以上のことは相手にわかりません。
  不安な場合は、表示されているアドレスや連絡先をメモしたうえで、国民生活センターなどにお問い合わせください。
- **フィッシング詐欺**
  銀行などを装って電子メールを送りつけてきて、カード番号や接続ID、パスワードなどを偽のホームページで入力させる詐欺です。
  電子メール上のアドレスをクリックすると、本物と同じデザインのホームページが表示されますが、偽のホームページなのでカード番号などは一切入力しないでください。
  このような情報を入力するときは、電子メール上のアドレスをクリックしてホームページを開くのではなく、銀行など対象のホームページを自分で開き、そこで入力してください。

個人情報の管理について

インターネットを利用していると、ユーザー登録などを行うために名前や住所、あるいはクレジットカードの番号や銀行の口座番号などといった個人情報の入力を求められることがあります。このような情報を入力するときは、サービス提供者の個人情報管理方針や信用度などを確認してください。少しでも不審な点があれば入力をやめるなどの対応を取り、個人情報の公開には細心の注意を払ってください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報やよくある質問を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOカスタマーリンク ホームページ ウイルス・セキュリティ情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
VAIOカスタマーリンクモバイル（お知らせ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口
電話番号:（0466）30-3016
受付時間: 平日 10:00 ～ 21:00
土・日・祝日 10:00 ～ 17:00

パスワードを設定する

パワーオン・パスワードを設定する

BIOSの機能でパワーオン・パスワードを設定します。
本機を起動してVAIOのロゴマークが表示された後に、設定したパスワードを入力することにより、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使えるようにできます。
パワーオン・パスワードには、通常ユーザーが利用するユーザーパスワードと、BIOS設定の変更ができるマシンパスワードの2種類があります。

！ご注意

パスワードを忘れたり、パスワード入力に必要なキーボードが壊れたりすると、本機を起動することができなくなります。
パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
万一パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント

パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（指紋センサー搭載モデル）（110ページ）

パワーオン・パスワード（マシンパスワード）を登録するには

ヒント

パワーオン・パスワード（ユーザーパスワード）を設定するには、パワーオン・パスワード（マシンパスワード）の設定が必要です。

1 **本機の電源を入れる。**

2 **VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。**

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 **←または→キーで［Security］を選択し、表示された画面で［Set Machine Password］を選択してEnterキーを押す。**

パスワード入力画面が表示されます。

4 **パスワードを2度入力し、Enterキーを押す。**

ヒント

パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

5 「Security」項目の[Password when Power On]を選択する。

スペースキーを押して[Disabled]から[Enabled]に変更します。

6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パワーオン・パスワード(ユーザーパスワード)を登録するには

ヒント
パワーオン・パスワード(ユーザーパスワード)を設定するには、パワーオン・パスワード(マシンパスワード)の設定が必要です。

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのマシンパスワードを入力する。

4 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set User Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

5 パスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

ヒント
パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パワーオン・パスワード(マシンパスワード)を変更する/削除するには

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのマシンパスワードを入力する。

4 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set Machine Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

5 現在のパスワードを1度、新しいパスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

[Enter Current Password] に現在のパスワードを、[Enter New Password]と[Confirm New Password]に新しいパスワードを入力します。

ヒント
パスワードを削除するときは、[Enter New Password]と[Confirm New Password]には何も入力せずにEnterキーを押してください。

6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

パワーオン・パスワード(ユーザーパスワード)を変更する/削除するには

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力する。

4 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Set User Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード入力画面が表示されます。

5 現在のパスワードを1度、新しいパスワードを2度入力し、Enterキーを押す。

[Enter Current Password] に現在のパスワードを、[Enter New Password]と[Confirm New Password]に新しいパスワードを入力します。

ヒント
パスワードを削除するときは、[Enter New Password]と[Confirm New Password]には何も入力せずにEnterキーを押してください。

6 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを設定する

BIOSの機能でハードディスク・パスワードを設定します。
設定したパスワードを入力することにより、本機以外のパソコンでハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを不正使用することを防止できます。

!ご注意

パスワードを忘れたり、パスワード入力に必要なキーボードが壊れたりすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータが使用できなくなります。
パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
万一パスワードを忘れてしまったときは、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの交換修理(有償)が必要となり、その場合ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータはすべて失われます。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント

- お買い上げ時の状態では、ハードディスク・パスワードは設定されていません。
  「ハードディスク・パスワードについて」(54ページ)をお読みになり、不用意に設定することのないようにしてください。
  また、パスワードを無断で設定・変更・無効化されることのないよう、BIOSセットアップ画面を操作中は本機から離れないでください。
- ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。(指紋センサー搭載モデル)(110ページ)

ハードディスク・パスワードを登録するには

マスターパスワードとユーザーパスワードを同時に登録します。

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント

パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Hard Disk 0 Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

ヒント

内蔵フラッシュメモリー搭載モデルをお使いで、かつハードディスクドライブが搭載されている場合は、[Hard Disk 0 Password]で内蔵フラッシュメモリーのハードディスク・パスワードを設定します。
ハードディスクドライブのハードディスク・パスワードを設定する場合は、[Hard Disk 1 Password]を選択して、以降の操作を行ってください。

4 [Enter Master and User Passwords]を選択してEnterキーを押す。

警告画面が表示されるので、[Continue]を選択してEnterキーを押してください。

5 マスターパスワードを入力してEnterキーを押し、続けてユーザーパスワードを入力してEnterキーを押す。

!ご注意

マスターパスワードとユーザーパスワードはそれぞれ2度ずつ入力する必要があります。

「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

ヒント

パスワードは半角英数字とスペース32文字以内で入力します。
アルファベットの大文字と小文字は区別されるので、入力する際はご注意ください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを変更するには

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント

パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Hard Disk 0 Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

ヒント

内蔵フラッシュメモリー搭載モデルをお使いで、かつハードディスクドライブが搭載されている場合は、[Hard Disk 0 Password]で内蔵フラッシュメモリーのハードディスク・パスワードを設定します。ハードディスクドライブのハードディスク・パスワードを設定する場合は、[Hard Disk 1 Password]を選択して、以降の操作を行ってください。

4 [Change Master Password]または[Change User Password]を選択してEnterキーを押す。

5 現在のパスワードを入力してEnterキーを押し、新しいパスワードを入力してEnterキーを押す。

新しいパスワードは2度入力する必要があります。
[Enter Current Hard Disk Master Password]または[Enter Current Hard Disk User Password]に現在のパスワードを、[Enter New Hard Disk Master Password]または[Enter New Hard Disk User Password]と[Confirm New Hard Disk Master Password]または[Confirm New Hard Disk User Password]に新しいパスワードを入力します。
「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

ハードディスク・パスワードを削除するには

マスターパスワードとユーザーパスワードを同時に削除します。

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

ヒント
パワーオン・パスワードを設定している場合は、「Enter Password」または「Enter BIOS Password」に登録済みのパスワードを入力してください。

3 ←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で[Hard Disk 0 Password]を選択してEnterキーを押す。

パスワード設定画面が表示されます。

ヒント
内蔵フラッシュメモリー搭載モデルをお使いで、かつハードディスクドライブが搭載されている場合は、[Hard Disk 0 Password]で内蔵フラッシュメモリーのハードディスク・パスワードを設定します。ハードディスクドライブのハードディスク・パスワードを設定する場合は、[Hard Disk 1 Password]を選択して、以降の操作を行ってください。

4 [Enter Master and User Passwords]を選択してEnterキーを押す。

5 [Enter Current Hard Disk Master Password]に現在のマスターパスワードを入力し、他の項目は何も入力せずにEnterキーを押す。

「Changes have been saved」と表示されるので、Enterキーを押してください。

6 Escキーを押してから、←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、再度Enterキーを押します。

Windowsパスワードを設定する

Windowsログオン時のパスワードを設定します。
設定したパスワードは、ログオン画面でユーザー名を選択したあとに入力します。
Windowsパスワードは、本機を複数のユーザーで使用している場合に便利です。

!ご注意
Windowsパスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。

ヒント
- Windowsパスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。（指紋センサー搭載モデル）（110ページ）
- ドメインユーザーとしてパスワードを設定する場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

Windowsパスワードを登録するには

1 （スタート）ボタン－［コントロール パネル］をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 ［ユーザー アカウントと家族のための安全設定］または［ユーザー アカウント］をクリックする。

3 ［ユーザー アカウント］をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

4 ［アカウントのパスワードの作成］をクリックする。

5 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。
ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」に入力してください。

6 ［パスワードの作成］をクリックする。

ヒント
「ファイルやフォルダを個人用にしますか？」画面が表示された場合は、用途にあわせて［はい、個人用にします］または［いいえ］をクリックしてください。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードリセットディスクを作成することができます。
詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

パスワードで使用できる文字について

パスワードには、以下の文字を使うことができます。

❑ **文字（アルファベットの大文字）**

A, B, C, D, E ...

❑ **文字（アルファベットの小文字）**

a, b, c, d, e ...

❑ **数字**

0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9

❑ **記号（文字または数字として定義されないもの）**

` ~ ! @ # $ % ^ & * ( ) _ - + = { } [ ] ¥ |
: ; " ' < > , . ? /

Windowsパスワードを変更するには

1 (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

4 [パスワードの変更]をクリックする。

5 「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」に設定したいパスワードを入力する。

ヒント
パスワードを忘れてしまったときのために、パスワードを思い出すためのヒントを入力することができます。ヒントを入力する場合は、「パスワードのヒントとして使う単語や語句の入力」に入力してください。

7 [パスワードの変更]をクリックする。

Windowsパスワードを削除するには

1 (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]または[ユーザー アカウント]をクリックする。

3 [ユーザー アカウント]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

4 [パスワードの削除]をクリックする。

5 「現在のパスワード」に現在設定されているパスワードを入力する。

6 [パスワードの削除]をクリックする。

指紋認証を使う（指紋センサー搭載モデル）

指紋情報を登録することで、パスワードやアカウントなどの入力を指紋で代用することができます。
また、指紋認証によって、便利な機能を使用することもできます。「指紋認証でできること」をご覧ください。

ヒント
指紋の登録については「指紋を登録するには」（107ページ）をご覧ください。

！ご注意
- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。また、データやハードウェアの完全な保護を保証するものではありません。
  本機の指紋センサーを使用されたこと、または使用できなかったことによるいかなる障害・損害についても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 指紋の認証率は、使用状況などにより異なります。また個人差があります。
- 本機の修理などを行った場合、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを初期化して返却する場合があります。その場合は、登録済みのお客様の指紋情報などは復元することはできませんのであらかじめご了承ください。
- 指紋認証機能に関するデータの保守・運用は、お客様にて行っていただきますようお願いいたします。指紋認証機能に関するデータの保守・運用に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 次のような場合は、指紋センサーの故障および破損の原因となることがあります。
  - 指紋センサーの表面を硬いものや先のとがったものなどで傷つけた場合
  - 泥などの汚れがついた指でスキャンするなど、細かい異物などで表面を傷つけた場合
- 冬期など特に乾燥する時期は、金属に触れて体の静電気を逃がしてからスキャンしてください。静電気で指紋センサーが故障するおそれがあります。

指紋認証でできること

本機では、指紋認証を使用して便利な機能を使用することができます。

！ご注意
指紋認証を使用するには、あらかじめ指紋を登録しておく必要があります。（107ページ）

パスワードの解除

- **Windowsにログオンする**
  指紋が登録されているユーザーのアカウントに対して、Windowsログオン時のパスワード入力の代わりに指紋認証を使用して、Windowsにログオンすることができます。（110ページ）

！ご注意
指紋認証を使用してログオンする場合は、通常の操作でログオンしてください。（Ctrlキー＋Altキー+Deleteキーを押すことを促すメッセージを表示しないログオンを使用してください。）

ヒント
複数のユーザーで使用している場合でも、指紋が登録されているユーザーのアカウントに自動でログオンします。

- **パワーオンセキュリティを使ってシステムにログオンする**
  パワーオン・パスワード（96ページ）やハードディスク・パスワード（99ページ）を設定している場合は、システム起動時のパスワード入力の代わりに指紋認証を使用して、パスワードを解除することができます。（110ページ）

ヒント
これらのパスワード解除は、通常とおりにキーボードから入力することもできます。

パスワードバンク

Webページなどでのアカウントやパスワードなどの入力を、指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[セキュリティ]－[指紋認証のパスワードバンクを使う]をクリックする。）

ヒント

- パスワードバンクに登録した情報は、エクスポートやインポートすることもできます。
- アカウントやパスワードなどは、通常とおりにキーボードから入力することもできます。

！ご注意

- パスワードバンクを利用するには、あらかじめ設定しておく必要があります。
- Webページによっては、パスワードバンク機能が正しく動作しない場合があります。

File Safe

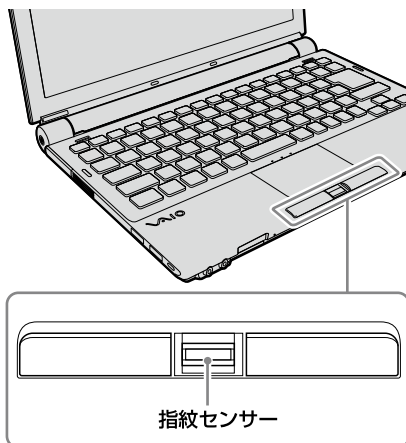
File Safe機能を用いて、ファイルやフォルダを暗号化して、暗号化アーカイブとして保存することができます。
指紋認証または暗号化した時に設定したパスワードを使用することで、暗号化したファイルやフォルダの暗号化を解除したり、暗号化したファイルやフォルダにアクセスできるようになります。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[セキュリティ]－[指紋認証のFile Safeを使う]をクリックする。）

アプリケーションランチャー

指紋センサーに指をスライドさせることで、関連付けられているアプリケーション（実行可能ファイル）を起動することができます。
詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[セキュリティ]－[指紋認証のアプリケーションランチャーを使う]をクリックする。）

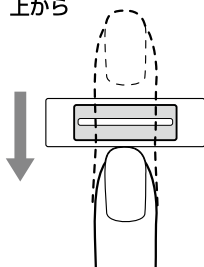
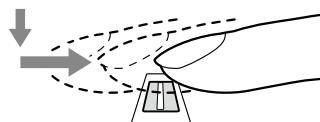
指紋をスキャンする

指紋の登録や認証時のスキャンは、以下の手順で行います。

1　指の第一関節付近を指紋センサーの上に置く。

ヒント

- 指は指紋センサーの上に平たく置いてください。
- 指は指紋センサーの中央に置いてください。

2 指を直線状に手前に向かってスライドする。

上から

横から

！ご注意

- スライドさせている間は、指を指紋センサーから離さないようにしてください。
- 指のスライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できない場合があります。
  1秒程度でスキャンするくらいの速さで指をスライドさせてください。

指紋認証時のご注意

指の状態について

指の状態が次のような場合は、指紋の認証が困難になる場合があります。
なお、他の指を使用したり、手を洗うなどして通常状態に戻してから指紋認証を行うことで改善される場合もあります。

- 乾燥している場合
- 汗や脂が多かったり、濡れている場合
- お風呂上りなどで指がふやけている場合
- 手が荒れていたり、指にけが（切り傷など）をしている場合
- 汚れている場合
- 指紋が薄かったり、しわが多い場合　など

スキャンについて

スキャンを行うときは、次の点にご注意ください。

- 指を指紋センサーの中央に平たく置いてください。
- 指の第一関節より上部をスキャンしてください。
- 指を指紋センサーに垂直な状態でスライドさせてください。
- スライドさせている間は、指を指紋センサーから離さないようにしてください。
- 1秒程度でスキャンするくらいの速さで指をスライドさせてください。

指紋センサーのお手入れ

指紋センサーの表面の指紋やほこりが原因で、指紋認証率が低下したりする場合があります。

- 普段のお手入れは、柔らかい布などで軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛で取ってください。

指紋を設定する

本機は指紋認証を行うことで、パスワードの入力を省略することができます。

!ご注意

- けがなどに備えて、複数の指を登録するようにしてください。
- 指紋の状態や使用状況などにより、指紋の登録ができない場合があります。
- 指紋はひとりに対して10個まで登録できます。ただし、パワーオンセキュリティを使ってシステムにログオンできる指紋は最大21個までとなります。また、パワーオンセキュリティで使用する指をあとから指定することもできます。
- 指紋を登録する前に、Windowsのパスワードを設定してください。(102ページ)

指紋を登録するには

次の手順で指紋の登録を行ってください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Protector Suite QL]－[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [指紋]をクリックする。

3 [初期化]をクリックする。

「指紋ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示されます。

4 「使用許諾契約書」の内容を確認して、[使用許諾契約書に同意します]のをクリックしてにし、[OK]をクリックする。

「ようこそ」画面が表示されます。

5 [次へ]をクリックする。

「終了」画面が表示されます。

6 「ハードディスクへの登録」が選択されていることを確認して[完了]をクリックする。

「ユーザー登録」画面が表示されます。

ヒント

本機では、[バイオメトリックスデバイスへの登録]は選択できません。

7 [次へ]をクリックする。

「パスワード」画面が表示されます。

ヒント

Windowsのパスワードを設定していない場合は、メッセージが表示されます。
パスワードを設定してください。

① 「今パスワードを登録しますか？」というメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。
② パスワードを2度入力し、[OK]をクリックする。

8 Windowsのパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

「登録のヒント」画面が表示されます。

9 [対話型チュートリアルを実行する]チェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

「指紋チュートリアル」画面が表示されます。

10 内容をよく確認し、[次へ]をクリックする。

ヒント

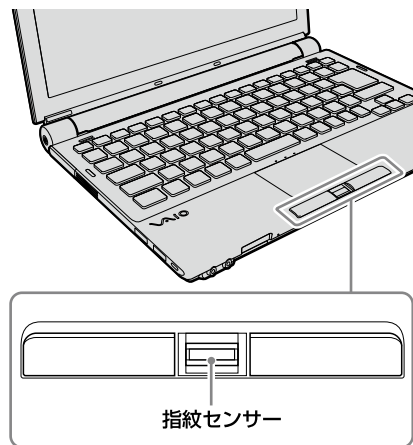
この画面には、指紋スキャン時のヒントを表示しています。表示された内容をよくご確認ください。また、[ビデオ再生]をクリックすると、動画で詳細を表示します。

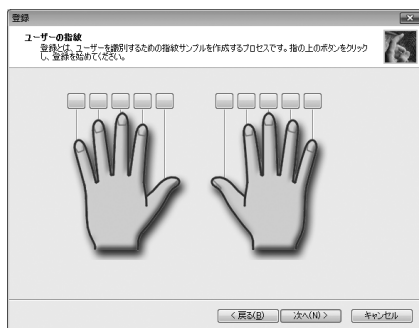
11 スキャンテストを行う。

スキャンテストは4回行います。
手順10で確認した方法で、指紋センサーに指をスライドさせてください。

スキャンテストを4回行ってもうまくいかなかった場合は、[やり直し]をクリックして再度スキャンを行ってください。

ヒント

- スキャンの方法は「指紋をスキャンする」(105ページ)でも紹介しています。
- テストは同じ指で行ってください。
- スキャンをやり直したい場合は、[やり直し]をクリックして再度スキャンを行ってください。

12 [次へ]をクリックする。

「登録」画面が表示されます。

13 登録する指を選択し、指紋を登録する。

① 登録したい指のボタンをクリックする。
② 登録する指の指紋を3回スキャンする。
スキャンを終了すると、「登録」画面に戻ります。
③ [次へ]をクリックする。

ヒント
複数の指を登録する場合は、この手順をくり返して行います。2本以上の指を登録することをおすすめします。

14 [完了]をクリックする。

15 [閉じる]をクリックする。

以上で指紋の登録は完了です。
本機の次回起動後や休止状態から復帰した場合は、パスワード入力の代わりに、登録した指を指紋センサーにスライドさせて認証を行うことができます。

指紋を追加登録する／編集するには

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[Protector Suite QL]ー[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [指紋]をクリックする。

3 [指紋の登録、または編集]をクリックする。

「ユーザー登録」画面が表示されます。

4 [次へ]をクリックする。

5 「Windowsパスワードを入力」欄にWindowsのパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

ヒント
「指の読み取り」を行う場合は、登録した指を指紋センサーにスライドさせてください。

6 「指紋を登録するには」の手順9以降の操作を行う。

ヒント
「指紋を登録するには」の手順12で、まだ登録していない指のボタンをクリックすると追加登録ができます。また、すでに指紋が登録してある指のボタンをクリックすると削除することができます。

指紋を削除するには

コンピュータを廃棄あるいは第三者に譲渡するときなどには、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータを消去した後、以下の手順に従って指紋センサー内の指紋データも同時に消去することを強くおすすめします。

1　本機の電源を入れる。

2　VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3　←または→キーで[Security]を選択し、表示された画面で↓キーを押して[Clear Fingerprint Data]を選択してEnterキーを押す。

本機が再起動して、指紋センサー内に保存されている指紋データが消去されます。

指紋認証でシステムにログオンする

Windowsにログオンするには

指紋が登録されているユーザーのアカウントにログオンする場合、Windowsログオン時のパスワード入力を指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。

1　Windowsのログオン画面が表示されたら、指紋センサーに登録している指をスライドさせる。(105ページ)

Windowsにログオンします。

ヒント
複数のユーザーで使用している場合でも、登録してある指をスライドするだけで、指紋が登録されているユーザーのアカウントに自動でログオンすることができます。

パワーオンセキュリティを使うための設定をするには

パワーオン・パスワードやハードディスク・パスワードの設定を行っている場合は、システム起動時のパスワード入力を、指紋センサーに指をスライドさせることで代用することができます。

ヒント
設定を行うには、あらかじめパワーオン・パスワード(96ページ)やハードディスク・パスワード(99ページ)を設定しておく必要があります。

1　(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Protector Suite QL]－[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [設定]をクリックする。

3 [パワーオンセキュリティ]をクリックする。

「パワーオンセキュリティ」画面が表示されます。

4 [指紋によるパワーオンセキュリティを有効にする]チェックボックスをクリックしてチェックし、[OK]をクリックする。

5 「指紋コントロールセンター」画面の[指紋]をクリックする。

6 [指紋の登録、または編集]をクリックする。

「ユーザー登録」画面が表示されます。

7 [次へ]をクリックする。

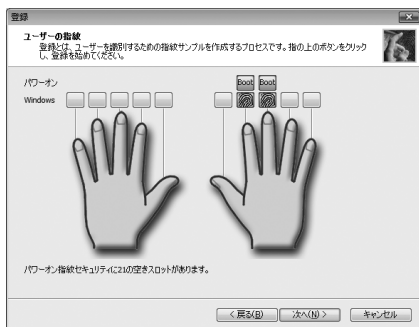
8 「Windowsパスワードを入力」欄にWindowsのパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

「登録のヒント」画面が表示されます。

ヒント
「指の読み取り」を行う場合は、登録した指を指紋センサーにスライドさせてください。

9 [対話型チュートリアルを実行する]チェックボックスをクリックしてチェックをはずし、[次へ]をクリックする。

ヒント
パワーオン指紋セキュリティメモリに空きがある場合、メッセージが表示されます。

10 パワーオンセキュリティで使用する指のボタンをクリックし、表示された確認画面で[はい]をクリックする。

ヒント
登録されている指がすでにパワーオン指紋セキュリティメモリにある場合、ボタンは表示されません。

11 [次へ]をクリックする。

12 [完了]をクリックする。

パワーオンセキュリティで使用しない指を指定するには

指紋によるパワーオンセキュリティを有効にしている状態（設定）から指を追加登録すると、追加登録した指はパワーオンセキュリティで使用する指として設定されます。登録されている指の中から、パワーオンセキュリティで使用したくない指がある場合は、削除することができます。以下の手順に従って削除してください。

ヒント
設定を行うには、あらかじめパワーオン・パスワード（96ページ）やハードディスク・パスワード（99ページ）の設定、パワーオンセキュリティを使うための設定をしておく必要があります。

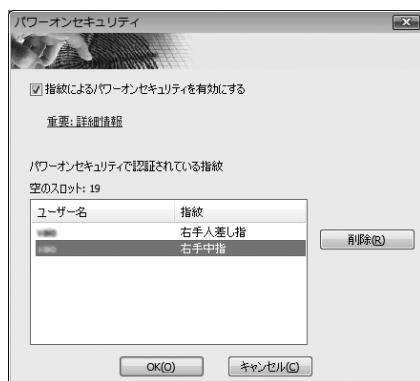
1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Protector Suite QL]－[コントロールセンター]をクリックする。

「指紋コントロールセンター」画面が表示されます。

2 [設定]をクリックする。

3 [パワーオンセキュリティ]をクリックする。

「パワーオンセキュリティ」画面が表示されます。

4 「パワーオンセキュリティで認証されている指紋」の中から、パワーオンセキュリティで使用したくない指を選択し、[削除]をクリックする。

パワーオンセキュリティを使ってシステムにログオンするには

1 本機の電源を入れる。

VAIOのロゴマークが表示されたあと、認証画面が表示されます。

2 指紋センサーに登録している指をスライドさせる。

パスワードを入力せずに、システムにログオンします。

ヒント

- Escキーを押すと、指紋認証画面がキャンセルされ、通常とおりにキーボードからパスワードを入力することもできます。
- パワーオンセキュリティを使ってシステムにログオンできる指紋は、最大で21個までとなります。

TPMを使う
（指紋センサー搭載モデル）

TPM（Trusted Platform Module）の機能を使うと、セキュリティの基本機能が提供され、データの暗号化や復元を行ってセキュリティを強化することができます。

* TPMは、TCG（Trusted Computing Group）により定義されています。

！ご注意

- 本機は、TPMに関して最新のセキュリティ機能を搭載していますが、データやハードウェアの完全な保護を保障するものではありません。
  TPMの使用によるいかなる障害・損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を修理などに出す場合、TPM内およびハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のデータなどは、お客様にてバックアップしてください。バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。
  修理により、万一データが消失した場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機の修理などを行った場合、TPMを交換して返却する場合があります。
- TPMに関するデータの保守・運用は、お客様にて行ってください。TPMに関するデータの保守・運用に関して、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Infineon TPM Professional PackageでTPMを設定する

Infineon TPM Professional Packageを使うと、TPM機能を使用したデータの暗号化や復号化ができます。

！ご注意

- TPMの初期化を行う場合、設定したパスワードはメモを取るなどして、忘れないようにしてください。メモしたパスワードを他人に知られないように管理してください。
  パスワードを忘れた場合、TPMで保護されたデータはいかなる手段を用いても復元することはできません。
- TPMの初期化を行う際に保存するシステムバックアップアーカイブ、緊急時復元用トークン、パスワードリセット用トークン、個人シークレットファイルなどは、必ずバックアップしてください。
  バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。
  これらのファイルを紛失した場合、TPM設定の復元やパスワードリセットなどの機能が使用できなくなる場合があります。
- ユーザーの初期化を行う場合、初期化ウィザード終了後に自動バックアップの設定を必ず行ってください。
  また、この設定終了時の画面で、「自動バックアップを今すぐ起動」をチェックし、バックアップファイルを更新してください。
  これらの作業を行わない場合、バックアップファイルを使ったTPMの復元処理が正しく行われない場合があります。

キーの暗号化に対するご注意

TPMソフトウェアがインストールされている環境で、プラットフォームの初期化が終わり、かつユーザーの初期化の際にEFS機能が選択されている状態で、下記フォルダ内に作成されているファイルをEFSで暗号化すると、TPMソフトウェアが正常に起動しなくなり、暗号化したデータを復号できなくなります。なお、初期状態においては、下記フォルダ内のファイルはシステム属性を持たせることにより暗号化されるのを防いでいます。
下記のフォルダやファイルの属性を変更しないでください。

- C:¥ユーザー ¥All Users¥Infineon¥TPM Software 2.0フォルダ内のBackupData、PlatformKeyData、RestoreData
- C:¥ユーザー ¥<account>¥AppData¥Roaming¥Infineon¥TPM Software 2.0¥UserKeyData

ヒント

- Windowsの初期設定の状態では、上記のフォルダは参照できません。
- C:¥ユーザー ¥All Users は、C:¥ProgramDataへのショートカットです。

バックアップファイルやその他ファイルの暗号化に対するご注意

アーカイブ、バックアップ、トークンファイルを暗号化すると、緊急時に復元ができなくなります。またパスワードリセットトークン、シークレットファイルを暗号化すると、パスワードのリセットができなくなります。
以下のファイルまたはフォルダを暗号化しないでください。

- **自動バックアップファイル**
  - デフォルトファイル名：SPSystemBackup.xml
- **自動バックアップデータ格納フォルダ**
  - フォルダ名（固定）：SPSystemBackup（SPSystemBackup.xmlファイルが作成されるフォルダのサブフォルダとして作成されます。）
- **復元用トークン**
  - デフォルトファイル名：SPEmRecToken.xml
  - デフォルトパス：リムーバブルメディア（フロッピーディスク、USBメモリ等）
- **パスワードリセットトークン**
  - デフォルトファイル名：SPPwdResetToken.xml
  - デフォルトパス：リムーバブルメディア（フロッピーディスク、USBメモリ等）
- **パスワードリセットシークレットファイル**
  - デフォルトファイル名：SPPwdResetSecret.xml
  - デフォルトパス：リムーバブルメディア（フロッピーディスク、USBメモリ等）
- **キーと証明書用バックアップ**
  - デフォルトファイル名：SpBackupArchive.xml
- **PSD バックアップ**
  - デフォルトファイル名：SpPSDBackup.fsb

ヒント

デフォルトパスが指定されていないファイルは、[参照]をクリックしたときに「ユーザーフォルダ」¥ドキュメント¥Security Platform が開きます。

！ご注意

誤って上記フォルダをEFS暗号化した場合やTPMソフトウェアのアーカイブ、バックアップ、トークンファイル、パスワードリセットトークン、シークレットファイルを暗号化した場合、当社でデータを復元することはできません。
また、この場合のいかなる障害・損害に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

Personal Secure Drive(PSD)に関するご注意

Personal Secure Drive(PSD)はシステムによってあらかじめ使用されている領域があるため、実際に使用できる容量は設定時の初期値より約10 MB以上少なくなります。(PSDのサイズが大きくなるとあらかじめ使用されている領域も増えます。)

基本ユーザーパスワードの有効期限に関するご注意

基本ユーザーパスワードの有効期限の初期値は、[無期限]になっています。

ステップ1：BIOS設定でTPMを有効にする

1 本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されなかった場合は、F2キーを数回押してください。

3 ←または→キーで[TPM State]を選択し、表示された画面で「Change TPM State」を[Enabled]にする。

4 ←または→キーで[Exit]を選択し、[Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

5 本機が再起動した後、「Physical Presence Operations」画面が表示されるので、[Execute]を選択する。

ヒント
BIOS設定内では、次の設定ができます。
- TPMを有効にする。
- TPMを無効にする。
- TPMの設定をクリアする。
  * 設定をクリアした場合、TPMで暗号化されているデータに再びアクセスすることはできません。TPMで暗号化されているデータが残っている場合は、必要に応じてデータのバックアップなどを行ってから、設定をクリアしてください。

!ご注意
TPMを有効にする場合は、設定を第三者に変更されることのないようパワーオン・パスワードを設定してください。(96ページ)

ステップ2：「Infineon TPM Professional Package」をインストールする

「C:¥Infineon¥Readme」のフォルダ内にあるReadme.txtファイルをよくお読みになった後、「C:¥Infineon¥setup.exe」にあるインストーラをダブルクリックしてインストールを行ってください。

!ご注意
この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

ステップ3：
TPMの初期化・設定を行う

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Infineon Security Platform ソリューション］－［入門ガイド］をクリックして表示されるヘルプをご覧いただき、お客様に必要な設定を行ってください。

!ご注意

- 初期化ウィザード終了後には、次の手順で必ず自動バックアップの設定をしてください。
  ① デスクトップ画面右下の通知領域にある（TPMアイコン）を右クリックして表示されるメニューから、Windowsのマークの付いた［Security Platform を管理する］を選択する。
  ② 表示された画面の［バックアップ］タブをクリックして、［設定］をクリックする。
  ③ 自動バックアップのスケジュールなどを設定する。
  設定終了時に［自動バックアップを今すぐ起動］チェックボックスが表示された場合はチェックをつけ、バックアップファイルを更新してください。
  これらの作業を行わない場合、バックアップファイルを使ったTPMの復元処理が正しく行われない場合があります。
- 設定したパスワードを忘れたり、バックアップファイルを紛失したりすると、TPMで保護されたデータを復元することができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  また、バックアップしたファイルを他人に知られないように管理してください。

メモリモジュールを交換する

メモリを増やすと、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。
メモリ容量やスロットの数、注意事項について詳しくは、別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

メモリモジュール交換時のご注意

- メモリモジュールの交換は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリモジュールの交換を行った場合には、内部コネクタの接続不備や破損、メモリの接続が不十分なことにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリモジュール交換の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリモジュール交換の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリモジュール交換の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリモジュール交換の際に水などの液体や異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてふたを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

ヒント
メモリモジュールの交換についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。

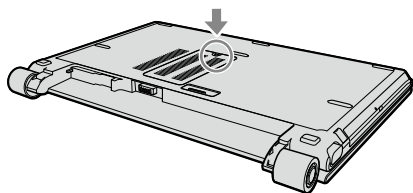
メモリモジュールを交換するには

!ご注意

- メモリモジュールを交換するときは、必ず本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずした状態で行ってください。電源コードやバッテリを取り付けた状態でメモリモジュールを交換すると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所(じゅうたんの上など)では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールには、向きがあります。メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ(溝の内側)部分の突起の位置を正しくあわせてください。無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

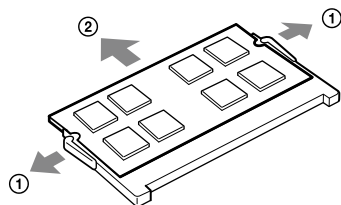
2 本機を裏返し、底面のふたを開ける。

キーボードの上にクリーニングクロスをしわにならないように敷いてから液晶ディスプレイを閉じ、その状態で本機を裏返してください。
底面のネジ(1か所)をプラスドライバーで取りはずし、浮き上がってきたネジを引っぱります。

!ご注意

- ドライバーはネジのサイズにあったもの(精密ドライバーなど)をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。

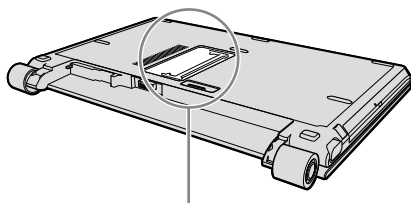
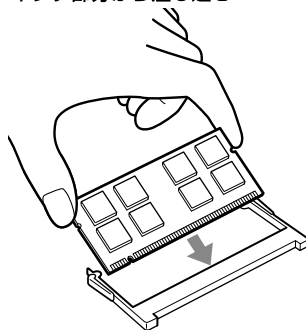
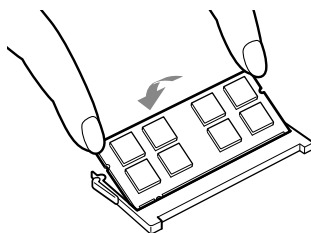
3 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを取りはずす。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。
② メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。

4 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出す。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

5 メモリモジュールを取り付ける。

① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、奥までしっかりと差し込む。
② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールをゆっくりと倒す。
倒れにくいときは、再度スロットに奥までしっかりと差し込んでから倒してください。
メモリモジュールの両端が固定されます。
このとき、メモリモジュールの黒いIC部分には触らないでください。

① メモリモジュールの両端を持って、コネクタ部分から差し込む

② メモリモジュールの両端を、両手を使って押し、「カチッ」と音がするまで倒す

!ご注意

- メモリモジュール以外の基板には触れないようご注意ください。
- メモリモジュールの切り欠き部分をよく確認し、差し込み向きを間違えないようご注意ください。
- 取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。

6 ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

7 手順1で取りはずした電源コードやバッテリなどを取り付けて、本機の電源を入れる。

メモリ容量を確認するには

メモリモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリ容量を確認してください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオの設定]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

2 [システム情報]－[システム情報]をダブルクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

3 「システムメモリ」の項目が交換後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリモジュールの交換は完了しました。
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう一度正しく交換の手順を繰り返してください。

ここを確認する。

バックアップについて

バックアップとは

バックアップの必要性

バックアップとは、コンピュータに保存されたデータをコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。
本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピュータウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。

バックアップの種類

データのバックアップは、「VAIO リカバリセンター」の「Windows バックアップと復元」で行います。（125ページ）
バックアップには用途に応じて以下の種類があります。

- **ファイルのバックアップ**
  本機に保存したメールや写真などファイルの種類ごとにデータをCDやDVD、外付けハードディスクなどにバックアップすることができます。
  ファイルのバックアップの操作方法について詳しくは、「ファイルをバックアップするには」（126ページ）をご覧ください。

- **Complete PC バックアップ（Windows Vista Business搭載モデル）**
  コンピュータ全体のバックアップをすることができます。Complete PC バックアップを使ってバックアップしておくとハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。
  Complete PC バックアップの操作方法について詳しくは、「Complete PC バックアップでバックアップするには」（127ページ）をご覧ください。

- **復元ポイント**
  新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる（反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる）場合があります。そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。復元ポイントについて詳しくは、「システムの復元ポイントを作成するには」（129ページ）をご覧ください。

ヒント

CD ／ DVDドライブが搭載されていない機種をお使いの場合、バックアップする際に外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブを用意するか、またはC:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成する必要があります。（144ページ）

!ご注意

- 本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償についてはいたしかねますのでご了承ください。
- お買い上げ後はすぐにリカバリディスクを作成してください。本機に不具合が生じ、Windows上の操作でデータをバックアップできない場合に、リカバリディスクにあるバックアップツールを使ってバックアップすることができます。
  リカバリディスクの作成方法については、「リカバリディスクを作成する」（122ページ）をご覧ください。

リカバリディスクを作成する

リカバリディスクについて

本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリには、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。
詳しくは、「リカバリする」(135ページ)をご覧ください。

!ご注意

下記のような操作を行った場合に、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域の情報を書き替えてしまい、リカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO リカバリセンター」を使用しないでハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをおすすめします。

リカバリディスクのご提供について(有償)

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html
*マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。(55ページ)

!ご注意

- 本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリディスクを使うと、暗号化していないハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のデータを自由に操作することができます。
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの暗号化機能を使うなどして保護してください。

リカバリディスク作成についてのご注意

- リカバリディスクの作成中は、ディスクドライブのイジェクトボタンを押さないでください。
  ディスクの作成に失敗することがあります。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上の空き容量が少ない場合は、リカバリディスクを作成できません。

リカバリディスクを作成するには

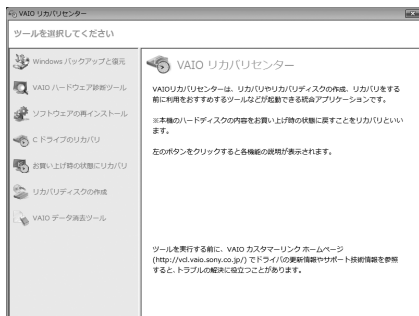
本機を使用する準備ができたら、はじめに以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

ヒント
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブなどが必要となります。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 画面左側の[リカバリディスクの作成]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3 内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

ディスクの種類選択の画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

!ご注意
- Blu-ray DiscまたはDVD-RAMはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
  使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」(229ページ)をご覧ください。
- お使いの機種によっては、CD-RまたはCD-RWでリカバリディスクを作成できない場合があります。その場合はDVDをお使いください。

5 [次へ]をクリックする。

ヒント
外付けドライブなど複数のディスクドライブが接続されている場合は、ドライブの選択画面が表示されます。使用するドライブを選択して[次へ]をクリックしてください。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6 選択した種類のディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

リカバリディスクの作成が始まり、現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

!ご注意
- リカバリディスクの作成状況が表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリディスクの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクがドライブから自動的に出てきます。

7 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリディスクの作成が完了すると、メッセージが表示されます。

8 [完了]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

「バックアップと復元センター」を使う

「バックアップと復元センター」について

「バックアップと復元センター」を使うと、データのバックアップやバックアップデータの復元、復元ポイントの設定をすることができます。

「バックアップと復元センター」は次の手順で起動します。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

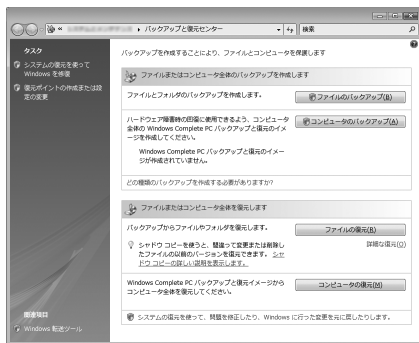
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[Windows バックアップと復元]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「バックアップと復元センター」画面が表示されます。

(Windows Vista Business搭載モデルをお使いの場合)

(Windows Vista Home Premium ／ Home Basic搭載モデルをお使いの場合)

ファイルをバックアップするには

初めてファイルをバックアップする場合は、下記の手順でバックアップデータの保存先や作成するファイルの種類、スケジュールの設定などを行います。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ファイルのバックアップ」画面が表示されます。

ヒント
「ファイルのバックアップ」画面が表示されない場合は、デスクトップ画面右下の通知領域に表示される[ファイル バックアップを実行中です]というメッセージをクリックしてください。

3 バックアップデータの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
バックアップデータの保存先は、以下の4種類から選択します。

- 外付けハードディスクドライブ(推奨)
- CDまたはDVD
- C:ドライブ以外のドライブ*
- ネットワーク上

* お買い上げ時の設定が、1つのパーティション(C:ドライブ)のみの場合は、C:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。(144ページ)
ただし、万一ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーが故障した場合はデータが失われるので注意してください。

4 バックアップしたいファイルの種類にチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

5 [設定を保存しバックアップを開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

ヒント
スケジュールを設定すると設定した日時で自動的にファイルをバックアップすることができます。必要に応じてスケジュールを設定してください。

スケジュールを設定しない場合は、表示された状態のまま[設定を保存しバックアップを開始]をクリックし、次の手順に進んでください。

6 「バックアップと復元センター」画面で「ファイルのバックアップ」の下にある[設定の変更]をクリックする。

7 「自動バックアップは現在有効になっています。」の右側にある[無効にする]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

これで自動バックアップの機能が無効になります。バックアップの保存先と作成するファイルの種類の設定はそのまま保持されています。
以降、「バックアップと復元センター」画面で[ファイルのバックアップ]をクリックするだけでバックアップすることができます。

!ご注意

- 本機に搭載されている一部のソフトウェアで管理している曲や画像・情報などのデータは、「バックアップと復元センター」ではバックアップできない場合があります。ソフトウェアに専用のバックアップツールが用意されている場合は、ヘルプを参照してご使用ください。
- 「Windows Media Center」ソフトウェアで録画したアナログ放送の番組は、「バックアップと復元センター」ではバックアップできません。手動でバックアップしてください。(アナログテレビチューナー搭載モデル)
- データを暗号化している場合は、解除してからバックアップしてください。

バックアップからデータを復元するには

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルの復元]をクリックする。

「ファイルの復元」画面が表示されます。

3 [最新バックアップにあるファイル]または[古いバックアップにあるファイル]を選択し、[次へ]をクリックする。

[古いバックアップにあるファイル]を選択した場合は、表示された画面の「日付と時刻」欄から復元したいバックアップファイルの日付を選択して、[次へ]をクリックしてください。

4 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

一覧にデータが表示されていない場合は、[ファイルの追加]や[フォルダの追加]をクリックして表示された画面からバックアップデータを選択し、[追加]をクリックしてください。

5 復元するバックアップデータの保存先を選択し、[復元の開始]をクリックする。

6 「ファイルは正常に復元されました。」と表示されたら、[完了]をクリックする。

Complete PC バックアップでバックアップするには

Complete PC バックアップはWindows Vista Business搭載モデルのみお使いになれます。
Complete PC バックアップを使うと、コンピュータ全体のバックアップをすることができます。
ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [コンピュータのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「Windows Complete PC バックアップ」画面が表示されます。

3 バックアップの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

確認画面が表示されます。

4 内容をよく確認してから、[バックアップの開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

5 「バックアップは正常に完了しました。」と表示されたら[閉じる]をクリックする。

!ご注意

Complete PC バックアップはコンピュータ上のすべてのデータをバックアップするため、復元する際にファイルを選択することはできません。
また、Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更したファイルは復元されません。

Complete PC バックアップからデータを復元するには

Complete PC バックアップはWindows Vista Business搭載モデルのみお使いになれます。

!ご注意

- バックアップデータを外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブに保存した場合は、復元する前に再度外付けドライブを接続してください。
- データを復元する前に、ファイルのバックアップを使って必要なファイルをバックアップしてください。
  システムの復元を行うと、システムファイルの変更が行われるため、ソフトウェアが正常に起動しないなど不具合が生じる可能性があります。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。
③「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [Windows Complete PC 復元]をクリックする。

「Windows Complete PC 復元」画面が表示されます。
バックアップデータをCDやDVDに保存している場合は、ディスクをドライブに挿入してください。

5 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

6 表示された内容をよく読んでから、[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、復元を実行する場合はチェックボックスにチェックを付け、[OK]をクリックする。

復元が完了すると自動的に再起動し、「システム回復オプション」のキーボード レイアウトの選択画面に戻ります。

システムの復元ポイントを作成するには

システムの復元とは

新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる(反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる)場合があります。
そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。

ヒント
復元ポイントは自動的に作成されますが、手動で作成することもできます。
ソフトウェアやドライバをインストールするときは、念のためインストールする前に手動で復元ポイントを作成することをおすすめします。

システムの復元ポイントを手動で作成する

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 画面左側の「タスク」から[復元ポイントの作成または設定の変更]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 [システムの保護]タブをクリックする。

4 「自動復元ポイント」で復元ポイントを作成したいドライブのチェックボックスにチェックを付け、[作成]をクリックする。

復元ポイントの作成画面が表示されます。

5 復元ポイントを識別するための説明を入力し、[作成]をクリックする。

6 「復元ポイントは正常に作成されました。」と表示されたら、[OK]をクリックする。

「自動復元ポイント」の「最新の復元ポイント」の日時が更新されます。

システムの復元ポイントから復元するには

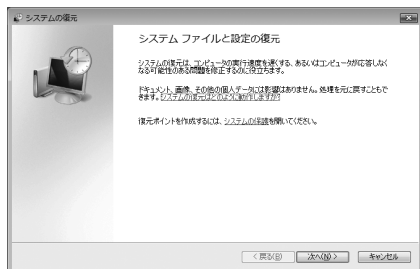
！ご注意

「SonicStage」ソフトウェアを使用している場合、大切な曲データの消失を防ぐために、システムの復元をする前にあらかじめ「SonicStage バックアップツール」を使って曲データをバックアップしてください。
システムの復元をすると、曲のデータベースの管理情報に不整合が生じ、それまでに録音あるいは取り込んだ曲データのすべてが再生できなくなる場合があります。
システムの復元をしたあとに「SonicStage バックアップツール」で曲データを復元することで、保存した曲データが再生できるようになります。
「SonicStage バックアップツール」の使いかたについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

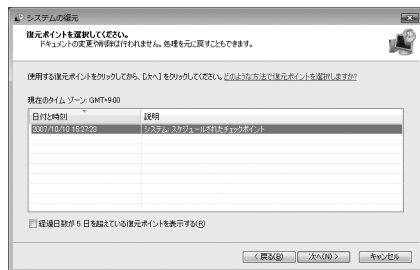
❑ Windowsが起動する場合は

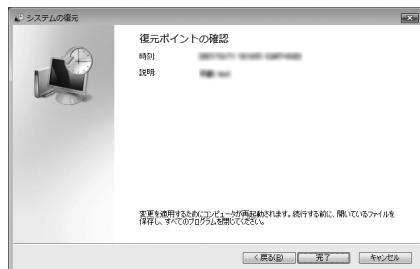
1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 画面左側の「タスク」から[システムの復元を使ってWindowsを修復]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムの復元」画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックする。

4 復元させたい日時の復元ポイントを選択して、[次へ]をクリックする。

復元するディスクの確認画面が表示されます。

5 内容をよく確認して[次へ]をクリックする。

復元ポイントの確認画面が表示されます。

6 内容をよく確認して[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

システムの復元が行われ、本機が再起動します。

8 完了画面が表示されるので、[閉じる]をクリックする。

❏ Windowsが起動しない場合は

1　本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。

② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。

③「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

2　キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

3　オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

ヒント

ファイルのバックアップを使ってバックアップをした後に変更されたファイルについては、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしてください。（140ページ）

4　[システムの復元]をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。
以降、「Windowsが起動する場合は」の手順3 ～ 8に従って操作してください。

ソフトウェアやドライバを復元するには

本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に動かなくなった場合に、正常な状態に戻すことができます。

！ご注意

- ソフトウェアやドライバによっては、復元できないものもあります。
- お使いの環境によっては「ソフトウェアの再インストール」を行っても、正常に動作しない場合があります。また、再インストールする前に作成したデータが削除されてしまう可能性があります。
- 復元する前にプログラムの削除を行ってください。正常に復元できない場合があります。

1　（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2　画面左側の[ソフトウェアの再インストール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」をすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

5 復元したいソフトウェアまたはドライバのチェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

リカバリ(再セットアップ)

本機の動作が不安定になったり、反応が遅くなったりした場合は、以下のような原因が考えられます。

- コンピュータウイルスに感染した
- Windowsの設定を変更した
- 本機で動作の保証がされていないソフトウェアやドライバをインストールした

このような場合には、次の流れに従って本機の復旧を試みてください。

本機の調子が悪くなったときは

Windowsが起動する場合

Windowsが起動しない場合は「Windowsが起動しない場合」をご覧ください。(134ページ)

手順1
リカバリディスクを作成していない場合は、作成する。(122ページ)

手順2
必要なファイルのバックアップをとる。(126ページ)

手順3
以下のいずれかを実行してみる。

- システムの復元をする。(130ページ)
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使って、システムの復元をしてください。
- ソフトウェアやドライバをインストール後に本機の調子が悪くなった場合は、インストールしたソフトウェアやドライバをアンインストールする。
- 本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に働かなくなった場合は、それらを再インストールする。(131ページ)
- 以前にCompletePC バックアップを使ってバックアップをしていた場合は、バックアップデータを復元する。(Windows Vista Business搭載モデル)(128ページ)
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。

手順4
それでも本機の調子が悪い場合は、リカバリする。（137ページ）

！ご注意
リカバリすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

Windowsが起動しない場合

Windowsが起動しないときは、次の流れに従って操作します。

手順1
以下のどちらかを実行してみる。

- システムの復元をする。（130ページ）
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使ってシステムの復元をしてください。
- 以前にCompletePC バックアップを使ってバックアップしていた場合は、バックアップデータを復元する。（Windows Vista Business搭載モデル）（128ページ）
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。
  最後にComplete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更または作成されたファイルについては、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。（140ページ）

それでもWindowsが起動しない場合は、さらに次の流れに従ってリカバリする必要があります。

手順2
データをバックアップしていなかった場合は、VAIO データレスキューツールで必要なファイルをバックアップする。（140ページ）
本機の調子が悪くなる前にファイルのバックアップを使ってバックアップをしていて、その後に変更または作成されたファイルで必要なファイルがある場合は、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。

手順3
「VAIO ハードウェア診断ツール」でハードウェアを検査する。
「VAIO ハードウェア診断ツール」は、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー)の検査を行い、交換が必要かどうかを確認するソフトウェアです。
詳しくは「VAIO ハードウェア診断ツール」をご覧ください。

手順4
リカバリする。(139ページ)

リカバリする

リカバリとは

本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった*

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域からリカバリすることができます。

* C:ドライブを初期化してしまった場合は、リカバリディスクを使用してリカバリしてください。

リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うために必要なデータがおさめられているハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。
本機は、リカバリディスクを使用してリカバリ領域を削除することができます。(146ページ)

！ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。（122ページ）
- 内蔵フラッシュメモリー搭載モデルをお使いで、かつハードディスクドライブが搭載されている場合、Windowsは内蔵フラッシュメモリーにインストールされます。リカバリ時にハードディスクドライブにWindowsをインストールすることはできません。

リカバリ前に確認してください

- 本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
- 電源以外のすべての周辺機器をはずしてから、作業を行ってください。リカバリに外付けドライブが必要な場合は、ドライブを接続してください。
  周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう一度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず最後までリカバリを行ってください。リカバリが完了していない状態で本機を使用した場合、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  万一パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
- ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合で、Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合やリカバリディスクからリカバリするには、別売りの外付けドライブなどが必要となります。

Windowsからリカバリするには

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。
Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」（139ページ）をご覧ください。

ヒント
指紋センサー搭載モデルをお使いの場合で、パワーオンセキュリティを有効にしている場合は、無効にしてからリカバリを行ってください。（110ページ）
リカバリが完了後、再度パワーオンセキュリティを設定してください。

！ご注意
「外部機器・メディア使用設定ユーティリティ」を使って、「i.LINK/メモリースティック/SDメモリーカード」を[有効（外部機器・メディアを使用できません）]に設定している場合は、設定を[無効（外部機器・メディアを使用できます）]に変更してから、以下の手順を行ってください。

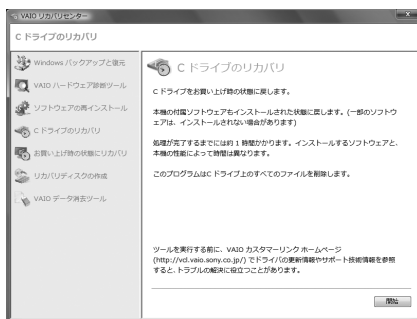
1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

（実際の画面とは異なる場合があります。）

2 画面左側の[C ドライブのリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

ヒント
- C:ドライブ以外にご自分で新しくドライブを作成している場合など、C:ドライブ以外に保存されているデータは残ります。（144ページ）
- [お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択すると、Windowsがインストールされているハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータをすべて消去し、本機のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーをお買い上げ時の状態に戻します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成を元に戻したい場合に選択してください。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」などをすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

警告画面が表示されます。

ヒント
[お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択した場合は、事前にリカバリディスクを作成しておく必要があります。リカバリディスクを作成していない場合は、画面の指示に従って作成してください。
すでに作成済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックしてください。

4 内容をよく読んでから、[同意します]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[開始]をクリックする。

確認画面が表示されます。

5 [はい]をクリックする。

「Windowsのリカバリ中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

ヒント

- リカバリ作業には、お使いの機種によっては数時間かかることがあります。
- Windowsが起動しない状態でリカバリしている場合は、しばらくするとディスクがドライブから自動的に出てきます。
  画面の指示に従って、ディスクの取り出しや入れ替えを行ってください。

6 「完了をクリックしてプログラムを終了してください」と表示されたら[完了]をクリックする。

本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

!ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

7 「本機をセットアップする」内「Windowsを準備する」(35ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでリカバリが完了しました。

Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の手順を行ってください。

!ご注意

Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。

② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXE の実行]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。

④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピュータからすべて実行]をクリックする。

⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
インストールが開始されます。

⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。

ヒント

Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の[OK]をクリックしてください。
引き続き、Office PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順② ~ ⑥と同じ手順でインストールしてください。

⑦ (スタート)ボタン－[コンピュータ]をクリックして表示された画面で、[ローカル ディスク(C:)]－[Program Files]－[Office12]－[Hotfix]をダブルクリックする。

⑧ [office-kb938574-fullfile-x86-ja-jp(.exe)]をダブルクリックする。
アップデートが開始されます。

⑨ アップデートが完了したら、[はい]をクリックし、本機を再起動する。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
バックアップデータの復元方法について詳しくは、「バックアップからデータを復元するには」(127ページ)をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリするには

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブを本機に接続してから以下の手順を行ってください。

1 ⏻(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。

BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

3 ←または→キーで[Exit]を選択し、表示された画面で[Get Default Values]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、[Yes]が選択されている状態で再度Enterキーを押します。

4 ドライブにリカバリディスクを入れる。

5 [Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

確認画面が表示されるので、[Yes]が選択されている状態で再度Enterキーを押します。

6 外付けドライブをお使いの場合は、F11キーを数回繰り返し押す。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

リカバリディスクを作成していない場合は、以下の手順で行ってください。

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合で、Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、以下の手順を行う前にあらかじめ別売りの外付けドライブを接続しておいてください。

① ⏻(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。

② VAIOのロゴマークが表示されたらF2キーを押す。
BIOSセットアップ画面が表示されます。
BIOSセットアップ画面が表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

③ ←または→キーで[Exit]を選択し、表示された画面で[Get Default Values]を選択してEnterキーを押す。
確認画面が表示されるので、[Yes]が選択されている状態で再度Enterキーを押します。

④ [Exit Setup]を選択してEnterキーを押す。

⑤ VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。

⑥ 手順10に進む。

7 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

8 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

9 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

10 画面左側の[C ドライブのリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ヒント

- バックアップしたいデータがある場合は、[VAIO データレスキューツール]をクリックし、バックアップしてください。
- [VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー)の検査を行うことができます。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([ソフトウェアの使いかた]-[ソフト紹介/問い合わせ先]-[付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先]-[VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックする。)

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。
(142ページ)

VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする

VAIO データレスキューツールとは

VAIO データレスキューツールは、Windowsが起動しなくなった場合にも、データのバックアップができるツールです。
データのレスキュー方法には以下の2種類があります。

- かんたんデータレスキュー
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のレスキュー可能なデータをすべてレスキューし、外付けハードディスクに保存します。
- カスタムデータレスキュー
  指定したファイルのみをレスキューし、ハードディスクやリムーバルメディア、CD / DVDなどのディスクに保存します。

VAIO データレスキューツール使用時のご注意

- レスキューデータの保管・管理には十分注意してください。
- VAIO データレスキューツールは、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のすべてのデータのバックアップを保障するものではありません。データの損失について弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの暗号化機能を使用している場合は、暗号化機能を解除して使用してください。
- VAIO データレスキューツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

レスキュー(バックアップ)するには

!ご注意

- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブでデータをレスキューする場合は、VAIO データレスキューツールを起動する前にドライブを接続してください。
- レスキューデータをCDやDVDに保存する場合は、あらかじめフォーマットされているディスクを使用してください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。

② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。

③ 手順5に進む。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[VAIO データレスキューツール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示される画面の指示に従って操作してください。

ヒント

レスキュー方法で、[カスタムデータレスキュー]を選択した場合、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

!ご注意

- VAIO データレスキューツールを使用中に64時間が経過すると、自動的に書き込みが中断され、本機が再起動します。
中断された作業を再開するには、再起動後再び上記の手順2から5の操作を行い、「中断した作業を再開する」チェックボックスにチェックを付けて、[次へ]をクリックしてください。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブは、データのレスキューが完了するまで取りはずさないでください。
- “メモリースティック”やSDメモリーカード、フラッシュメモリなどのメディアにデータを保存する場合、ドライバの読み込みが必要になります。ドライバはリカバリディスクの「VAIO」フォルダに保存されています。データの保存先の選択画面で[ドライバのインストール]をクリックし、ドライバの読み込みを行ってください。
- データをレスキューした場合、選択されたデータの保存先によって、ファイルが分割されたりリネームされている場合があるので、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしたデータは、VAIO データリストアツールを使って復元してください。
- VAIO データレスキューツールでは、データの保存先としてDVD-R DLはお使いになれません。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブはUSBまたはi.LINK接続のものをお使いください。

復元するには

レスキューデータを復元するにはVAIO データリストアツールを使います。
VAIO データリストアツールとレスキューデータの復元方法について詳しくは、VAIO データリストアツールのヘルプをご覧ください。

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO データリストアツール]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

2 内容を確認したら、[次へ]をクリックする。

レスキューデータの検索画面が表示されます。

3 レスキューデータの検索先を選択し、[次へ]をクリックする。

レスキューデータが検索されます。

4 表示された一覧から復元するデータを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
[内容の確認]をクリックすると、選択しているデータに含まれるフォルダやファイルの一覧を確認することができます。

5 復元先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックする。

「復元方法の選択」画面が表示されます。

6 復元方法を選択して[次へ]をクリックする。

復元方法には以下の2種類があります。

- おまかせリストア
  メールデータや文書データなど、データの種類を選択して、まとめて復元します。
- ファイルを指定してリストア
  ファイルを個別に指定して復元します。

7 手順に従って進み、[開始]をクリックする。

復元作業が開始されます。
作業が完了すると、完了画面が表示されます。

8 続けて別のレスキューデータの復元をするには[最初の画面に戻る]を、復元を終了するには[終了]をクリックする。

！ご注意
「SonicStage」ソフトウェアで取り込んだ音楽ファイルや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど、著作権保護されているデータを復元するには、そのデータを取り込んだときに使用したソフトウェアの専用バックアップツールをお使いください。専用バックアップツールをお使いにならない場合は、著作権保護されているデータの動作保障はいたしません。

ヒント
復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダから移動してお使いください。

Windows メールをバックアップする／復元するには

ここではVAIO データレスキューツールの使用例として、Windows メールのメールデータのバックアップと復元方法を紹介します。

Windows メールのメールデータをバックアップする

1 VAIO データレスキューツールを起動させる。（141ページ）

2 画面の指示に従って、「レスキューデータの選択」画面まで進む。

ヒント
データレスキュー方法は、「カスタムデータレスキュー」を選んでください。

3 [Users]－[VAIO（ユーザー名）]－[AppData]－[Local]－[Microsoft]－[Windows Mail]をクリックし、[Local Folders]チェックボックスをクリックしてチェックする。

4 [次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従ってバックアップしてください。

Windows メールのバックアップを復元する

1 （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows メール]をクリックする。

Windows メールが起動します。
メールアカウントの設定をしていない場合は、設定してください。

2 [ファイル]－[インポート]－[メッセージ]をクリックする。

「プログラムの選択」画面が表示されます。

3 「インポート元の電子メールの形式を選択してください」から、[Microsoft Windows メール 7]を選択し、[次へ]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

4 [参照]をクリックして表示された画面で、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[フォルダの選択]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

ヒント
VAIO データレスキューツールでメールデータをバックアップしていた場合は、[参照]をクリックして[Local Folders]を選択してください。

5 [すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

6 [完了]をクリックする。

「Windows メール」画面の左側に「インポートされたフォルダ」が作成されるので、フォルダ内のメールを元の状態に振り分けてください。

パーティションサイズの変更

パーティションサイズの変更について

パーティションとはハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーが複数台のハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。*
別のパーティション(D:ドライブなど)にデータを保存したい場合は、パーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。
本機はリカバリを行わずに、Windows上からの操作で新しくパーティションを作成することができます。
パーティションの作成方法について詳しくは、次の「パーティションを作成する」の項目をご覧ください。

* 機種によっては、お買い上げ時にD:ドライブが設定されている場合があります。

ヒント

リカバリディスクから「VAIO リカバリセンター」を起動して、C:ドライブのパーティションサイズを変更することもできます。(145ページ)

パーティションを作成する

パーティションの作成方法には、以下の2種類があります。

- Windows上の操作で作成する
- リカバリディスクを使って作成する

!ご注意

- リカバリディスクを使ってパーティションの作成を行うには、本機をリカバリする必要があります。リカバリすると、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。
- ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合で、リカバリディスクを使ってパーティションの作成を行うには、別売りの外付けドライブなどが必要となります。
- インスタントモード搭載モデルをお使いの場合は、リカバリディスクを使ってパーティションを作成することをおすすめします。
Windows上の操作で作成すると、C:ドライブが圧縮され、インスタントモードが正常に動作しない場合があります。
- C:ドライブのパーティションサイズを変更して小さくすると、ドライブの空き容量が足りず、リカバリディスクの作成やリカバリなどの操作が正常に行われない場合があります。

❑ Windows上の操作で作成する

1 (スタート)ボタン−[コントロール パネル]−[システムとメンテナンス]−「管理ツール」の[ハード ディスク パーティションの作成とフォーマット]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

「ディスクの管理」画面が表示されます。

2　C:ドライブを右クリックして、[ボリュームの圧縮]をクリックする。

「C: の圧縮:」画面が表示されます。

3　圧縮する領域のサイズを設定して、[圧縮]をクリックする。

「ディスクの管理」画面で、「ディスク」に「未割り当て」が追加されます。

ヒント

本機をある程度の期間ご使用の場合は、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のデータが分散しているため「未割り当て」の空き領域が小さくなります。その際は、デフラグすることをおすすめします。((スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[アクセサリ]ー[システム ツール]ー[ディスク デフラグ ツール]をクリックする。)

4　「未割り当て」を右クリックし、[新しいシンプル ボリューム]をクリックする。

「新しいシンプル ボリューム ウィザード」画面が表示されます。

5　画面に従ってサイズやドライブ名の設定を行い、ウィザードを完了させる。

ウィザードを完了させるとフォーマットが始まり、新しくパーティションが作成されます。

❑ リカバリディスクを使って作成する

ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブを本機に接続してから以下の手順を行ってください。

1　本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「システム回復オプション」画面が表示されます。

2　キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3　オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[お買い上げ時の状態にリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

6 [スキップ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

表示された画面の指示に従い、パーティションの分割設定画面が表示されるまで進んでください。

ヒント

「お買い上げ時のパーティション設定にしますか?」と聞かれた場合は、[パーティション設定を変更]を選んでください。

7 ドロップダウンリストから、[数値入力(C ドライブとD ドライブに分割する)]を選択する。

8 C:ドライブのサイズを設定して、[次へ]を選択する。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

リカバリ領域を削除する

本機では、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの一部をリカバリ領域として使用していますが、リカバリ領域を削除して、使用できるハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの容量を増やすことができます。リカバリ領域を削除するには、リカバリディスクを作成しておく必要があります。(122ページ)

!ご注意

リカバリ領域を削除した後は必ずリカバリが実行されるため、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの内容はお買い上げ時の状態に戻ります。リカバリ領域を削除すると、それ以降に本機のリカバリを行う際には必ずリカバリディスクが必要となります。

DVDスーパーマルチドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブを本機に接続してから以下の手順を行ってください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「システムの回復オプション」画面が表示されます。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[お買い上げ時の状態にリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

6 [スキップ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

リカバリ領域上の「VAIO リカバリデータ」を残すかどうかの選択画面が表示されます。

7 [削除します]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ハードディスクのデータを完全に消去する

本機ではVAIO データ消去ツールを使ってハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータを完全に消去することができます。
ディスクドライブ非搭載モデルをお使いの場合は、別売りの外付けドライブを本機に接続してから以下の手順を行ってください。

！ご注意

- VAIO データ消去ツールはハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のすべてのデータを消去します。本機を廃棄あるいは第三者に譲渡する場合のみお使いください。
- VAIO データ消去ツールを使うには、リカバリディスクの作成が必要です。
  リカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。（122ページ）
- VAIO データ消去ツールを使用中に71時間が経過すると自動的にコンピュータが再起動します。データの消去中に71時間が経過した場合は、自動的に作業が中断され本機が再起動します。本機が再起動したあとに、再びツールを起動すれば中断されたところから作業が再開できます。
- VAIO データ消去ツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

1 必要なファイルをバックアップする。

ヒント

- Windowsが起動する場合は、ファイルのバックアップを使ってバックアップしてください。（125ページ）
- Windowsが起動しない場合は、リカバリディスクからVAIO データレスキューツールを起動してバックアップを行い（140ページ）、バックアップ完了後に[終了]をクリックして本機が再起動したら、手順3へ進んでください。

2 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

外付けドライブを使用する場合は、再び電源を入れたあと、F11キーを数回繰り返し押してください。
「システム回復オプション」画面が表示されます。

3 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

4 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

5 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

6 画面左側の[VAIO データ消去ツール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

VAIO データ消去ツールの説明画面が表示されます。

7 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

8 制限事項や準備の説明内容をよく読んだら、[次へ]をクリックする。

9 内蔵ハードディスク一覧からデータ消去するハードディスクにチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

10 データの消去方式を選択し、[次へ]をクリックする。

11 データ消去するハードディスクを確認し[はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

12 再度、[はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[消去開始]をクリックする。

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータの消去が開始されます。

13 消去終了の確認画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

本機の電源が切れます。

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次のいずれかの方法で解決方法をご確認ください。また、メッセージなどが表示されている場合は、お問い合わせ時のために、書き留めておいてください。

1 取扱説明書（本書）で調べる

「よくあるトラブルと解決方法」をご覧ください。（152ページ）

パソコンが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
パソコンが動作するときは、「バイオ電子マニュアル」からも調べられます。

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェアを簡単にチェックするためのソフトウェアとして、ハードウェア診断ツールがインストールされています。起動するには、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO リカバリセンター］－［VAIO リカバリセンター］－［VAIO ハードウェア診断ツール］をクリックしてください。

2 電子マニュアルを調べる

「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（176ページ）

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリックしてください。

「Windowsのヘルプとサポート」をご覧ください。（178ページ）

各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。（178ページ）

3 サポートホームページで調べる

「サポートホームページで調べる」をご覧ください。（179ページ）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報を調べられます。

4 電話で問い合わせる

1 ～ 3の方法でも問題が解決しない場合は、電話でお問い合わせください。（185ページ）

バイオの使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク

(0120) 60-3399(フリーダイヤル)

携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）30-3000（通話料お客様負担）

受付時間 平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
（365日年中無休）

年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。
ご登録していいただくと、「VAIOコールバック予約サービス」（187ページ）が24時間ご利用いただけます。
詳しくは、「電話で問い合わせる」（185ページ）をご覧ください。

ソフトウェアに関するお問い合わせ

本機に付属のソフトウェアの場合、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（199ページ）をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先に問い合わせてください。
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

よくあるトラブルと解決方法

Q&A一覧

この説明書に掲載されているQ&Aは以下になります。

❑ 電源／起動（155ページ）

- 電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯しないとき）
- 電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない。（バッテリランプがすばやく点滅している）
- 電源を入れると、⏻（パワー）ランプ（グリーン）は点灯するが、画面に何も表示されない。
- 電源が切れない。
- 電源が勝手に切れた。
- 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。
- 電源を入れるとWindowsが起動せず、黒い画面が表示される。
- バッテリランプの表示について知りたい。

❑ パスワード（160ページ）

- Windowsパスワードを変更したい。
- パワーオン・パスワードを忘れてしまった。
- ハードディスク・パスワードを忘れてしまった。
- Windows Vistaのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。

❑ 画面／ディスプレイ（161ページ）

- 画面に何も表示されない。
- 画面の色がきれいに表示されない。
- 画面が固まって動かない。
- 画面が暗い。
- 画像が乱れる。
- 画面に輝点・滅点（黒点）がある。

❑ 文字入力／キーボード（164ページ）

- 文字の入力方法がわからない。
- キーボードを押したとおりに文字が入力できない。
- キーボードの設定を英語配列用に変更したい。

❑ タッチパッド（166ページ）

- タッチパッドが使えない。
- タッチパッドを無効にしたい。
- タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。
- タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう。

- Webブラウザなどを使用中に、タッチパッドをなぞっただけで、別のページに移動してしまう。
- ポインタが動かない。
- 画面上のすべてのものが動かない。

❑ ハードディスク／内蔵フラッシュメモリー（168ページ）

- 誤ってハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを初期化してしまった。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの空き容量を知りたい。
- ハードディスクから異音がする。（ハードディスクドライブ搭載モデル）
- リカバリ領域の容量を知りたい。

❑ CD ／ DVDディスク（169ページ）

- CD ／ DVDの読み込み・再生ができない、ドライブが認識しない。

❑ インターネット（170ページ）

- インターネットに接続できない。
- ワイヤレスLANが使えない。

❑ FeliCa（170ページ）

- FeliCa機能が使えない。

❑ 内蔵カメラ（MOTION EYE）（171ページ）

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用中にスリープモードまたは休止状態に移行すると、本機の動作が不安定になる。

❑ インスタントモード（ディスクドライブ搭載モデル）（172ページ）

- インスタントモードが起動しない。
- CD ／ DVDの再生ができない、または再生時に画像や音がとぎれる。
- ミュージックモードで一覧表示しているときにフォルダに移動できない。
- ミュージックモードでEnterキーを押しても、音楽データを選択／再生できない。
- フォトモードでサムネイル表示しているときにフォルダに移動できない。
- 音楽データや写真データが一覧に表示されない。
- ミュージックモード／フォトモードでアクセスできないフォルダがある。
- インスタントモード起動中、画面に何も表示されない。

❑ エラーメッセージ（174ページ）

- BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.
- Input Onetime Password
- Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.
- No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.
- Operating System not found
- Press <F1> to resume, <F2> to Setup
- System Disabled
- このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。
- Windowsの終了時などに「ccApp.exeが応答しません」というメッセージが表示される。

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「バイオ電子マニュアル」もあわせてご覧ください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」画面が表示されます。

2 [Q&A集]をクリックする。

表示されたメニューから見たい項目をクリックして、
各項目の情報をご覧ください。

電源／起動

Q 電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯しないとき）

次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A バッテリが正しく装着されているか確認してください。（27ページ）

A 本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。（31ページ）
ウォールマウントプラグアダプタをご使用の場合は、ウォールマウントプラグアダプタとACアダプタ、ウォールマウントプラグアダプタとコンセントがそれぞれしっかり差し込まれているか確認してください。（ウォールマウントプラグアダプタ付属モデル）

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。
ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない。（▭がすばやく点滅している）

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。
いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（27ページ）

A 上記の操作を行っても電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。
バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れると、⏻(パワー)ランプ(グリーン)は点灯するが、画面に何も表示されない。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。次のいずれかの手順を行ってください。
Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[キーボード/タッチパッド]－[Windowsキー/ Fnキーを使う]をクリックする。)

A メモリモジュールの交換が正しく行われていない場合は、起動できないことがあります。
サポート対象外のメモリモジュールを取り付けた場合や取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。メモリモジュールの取り付け直しを行ってください。
ソニー製の対応メモリモジュール以外のメモリモジュールをお使いになる場合は、販売店またはメモリモジュール製造メーカーにお問い合わせください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所(80 %以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。

- ソフトウェア画面上の[×](閉じるボタン)をクリックする。
- Altキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。
  データが未保存の場合は、「保存しますか?」というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックしてデータを保存してください。
  「Windows のシャットダウン」画面が表示されるまでAltキーを押しながらF4キーを押し、画面上のリストから[シャットダウン]をクリックしてください。

ヒント
- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows Vistaは、周辺機器を使用している場合やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

A USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

1. Enterキーを押す。
   確認のためしばらくお待ちください。
2. それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
   確認のためしばらくお待ちください。

「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。
ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。
また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の ⏻ ボタンをクリックする。
- 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにする。
- ACアダプタとバッテリをはずす。

Q 電源が勝手に切れた。

A バッテリで本機を使用中にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。
ACアダプタで使用するか、バッテリを充電してください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[バッテリの充電／表示の見かた]をクリックする。）

Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。
本機の電源が切れたあと、いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（27ページ）

A 上記の操作を行っても同様のメッセージが表示される場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。
本機の電源が切れたあと、バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

A 「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System not found」と表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してから、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して表示された画面で本機を再起動してください。
再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください。（144ページ）

A パワーオン・パスワードまたはハードディスク・パスワードを3回間違えて入力すると、「Input Onetime Password」または「System Disabled」と表示されWindowsが起動しません。
本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにして、⏻(パワー)ランプが消灯するか確認してください。
その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。
パスワードを入力する際は、(Num Lock)ランプや(Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

A 「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示される場合、内蔵バックアップバッテリが消耗しています。
ACアダプタをつなぎ、本機を充電しながら、次の手順で操作してください。

① 電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。
画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。
② 日時を確認する。
「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認してください。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。
1) 「System Date」の項目に月/日/年(西暦)を入力する。
例:2008年1月31日と設定するには、1+Enterキー+31+Enterキー+2008+Enterキーの順で入力します。
2) ↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。
例:午後2時35分00秒と設定するには、14+Enterキー+35+Enterキー+00+Enterキーの順で入力します。
③ Escキーを押す。
④ ↓キーで[Get Default Values]を選択し、Enterキーを押す。
⑤ 「Load default configuration now?」と表示されるので、[Yes]を選択して、Enterキーを押す。
⑥ [Exit Setup]が選ばれていることを確認して、Enterキーを押す。
⑦ 確認画面が表示されるので、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源を入れるとWindowsが起動せず、黒い画面が表示される。

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、次回電源を入れた際に「Windows エラー回復処理」画面が表示されます。
その場合は、「Windowsを通常起動する」が選択された状態でEnterキーを押してWindowsを起動させてください。

Q バッテリランプの表示について知りたい。

A バッテリの動作状態により、バッテリランプの表示が異なります。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]-[電源の管理/起動]-[バッテリの充電/表示の見かた]をクリックする。)

パスワード

Q Windowsパスワードを変更したい。

A Windowsパスワードは「コントロール パネル」から変更することができます。詳しくは、「Windowsパスワードを設定する」(102ページ)をご覧ください。

Q パワーオン・パスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント
パワーオン・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。(指紋センサー搭載モデル)(110ページ)

Q ハードディスク・パスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動やハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータ使用ができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
  ユーザーパスワードを再設定しない限り、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータを使用できなくなり、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータをリカバリすることもできません。
  また、本機を起動することもできなくなり、CD ／ DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
- マスターパスワードの場合
  パスワード設定を解除することができなくなります。
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの交換修理(有償)が必要となり、その場合ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のデータはすべて失われます。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント
ハードディスク・パスワードは、指紋認証を使用して解除することができます。(指紋センサー搭載モデル)(110ページ)

Q Windows Vistaのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー（Administratorsに属するユーザー）が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない。

A 本機の電源が入っているか確認してください。

A ディスプレイの電源が切れている場合があります。
タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。次のいずれかの手順を行ってください。
Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[キーボード／タッチパッド]－[Windowsキー／ Fnキーを使う]をクリックする。）

A 本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スリープモード）。
キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタンを一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリでご使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ボタンを一瞬押してください。
ご使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定することもできます。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[電源オプションを変更する]をクリックする。）

Q 画面の色がきれいに表示されない。

A 画面の色数の設定が「最高(32ビット)」になっているか確認してください。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[画面／ディスプレイ]－[画面の解像度／色数を変更する]をクリックする。)

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。
(スタート)ボタン－ ボタン－[シャットダウン]をクリックして電源を切り、本機の⏻(パワー)ボタンを押して起動し直してください。

A 画像を扱うソフトウェアによっては、画面の色合いの設定を勝手に変更してしまうものがあります。
「静止画色補正」を無効にするか、ソフトウェアの画面設定の項目を無効にしてください。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[画面／ディスプレイ]－[画面の色補正を設定する]をクリックする。)

Q 画面が固まって動かない。

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、[タスク マネージャの起動]をクリックする。
「Windows タスク マネージャ」画面が表示されます。
「Windows タスク マネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻(パワー)ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると⏻(パワー)ランプが消灯します。⏻(パワー)ランプ(グリーン)が点灯した場合は、いったん手を離し、再び⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

!ご注意
上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面が暗い。

A Fnキーを押しながらF5キーやF6キーを長押しすると、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] – [キーボード／タッチパッド] – [Windowsキー／ Fnキーを使う]をクリックする。）

Q 画像が乱れる。

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、本機から離してください。

Q 画面に輝点・滅点（黒点）がある。

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります（液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です）。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

文字入力／キーボード

Q 文字の入力方法がわからない。

A 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［できるWindows for VAIO］をクリックして表示される内容から、「文字を入力しよう」の各項目をご覧ください。）

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

A 入力モードを確認してください。
日本語入力モードと英字入力モードがあります。
言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

A 🄰(Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。
🄰(Caps Lock)ランプが点灯していると、Shiftキーを押さなくても大文字が入力されます。
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。
（218ページ）

A 🄱(Num Lock)ランプが点灯していないか確認してください。
U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。
点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。
（218ページ）

Q キーボードの設定を英語配列用に変更したい。

A 次の手順でドライバの設定を変更してください。
なお、この操作は「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてから行ってください。

！ご注意

- 起動中の他のソフトウェアを終了させてください。
- ソフトウェアによって使用方法などが変わる場合があります。
  これについてはサポートできない場合があります。
- ここに記載する手順は他国語対応のOSやソフトウェアを使用できるようにするものではありません。
- MS-IME 使用上の主なご注意点
  - IMEの起動・終了操作は[Alt]＋[`]となります。
  - ローマ字入力／かな入力の切替えを[Alt]＋[ひらがな]ではできません。ツールバーから設定してください。
  - 無変換キーがありませんので、かな、英数の各トグル変換はできません。
  - 変換キーがありませんので、日本語入力時の変換はスペースキーをご使用ください。

① （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
② [ハードウェアとサウンド]－[デバイス マネージャ]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「デバイス マネージャ」画面が表示されます。
③ [キーボード]をダブルクリックする。
④ [101/102 英語キーボードまたはMicrosoft Natural PS/2 キーボード]あるいは[日本語 PS/2 キーボード（106/109 キー）]を右クリックして、[削除]を選択する。
⑤ 「デバイスのアンインストールの確認」画面が表示されるので、[OK]をクリックする。
⑥ 「システム設定の変更」画面が表示されるので、[はい]をクリックする。
コンピュータが再起動します。
⑦ 再起動後、再起動を促すメッセージが表示された場合は、[今すぐ再起動する]をクリックする。
コンピュータが再起動します。再起動後は、キーボード配列が英語キーボードとなります。

タッチパッド

Q　タッチパッドが使えない。

A　タッチパッドが無効になっています。
タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。
設定を変更してもタッチパッドが有効にならないときは、本機を再起動してください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[キーボード／タッチパッド]－[タッチパッドの設定をする]をクリックする。）

Q　タッチパッドを無効にしたい。

A　タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを無効にしてください。
それでもタッチパッドが無効にならないときは、本機を再起動してください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[キーボード／タッチパッド]－[タッチパッドの設定をする]をクリックする。）

Q　タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。

A　タッチパッドの設定を変更し、タッピング機能を無効にしてください。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[キーボード／タッチパッド]－[タッチパッドの設定をする]をクリックする。）

Q　タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう。

A　スマートアクションの機能を無効にしてください。
次の手順で操作してください。

① （スタート）ボタン－[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。
② 「ハードウェアとサウンド」の[マウス]をクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
③ [機能]タブをクリックする。
④ 「左コーナーの設定」を「なし」にする。
⑤ [OK]をクリックする。

Q Webブラウザなどを使用中に、タッチパッドをなぞっただけで、別のページに移動してしまう。

A Webアシストの機能を無効にしてください。

次の手順で操作してください。

① (スタート)ボタンー[コントロール パネル]をクリックする。
「コントロール パネル」画面が表示されます。

② 「ハードウェアとサウンド」の[マウス]をクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。

③ [機能]タブをクリックする。

④ [Webアシスト機能を使用する]のチェックをはずす。

⑤ [OK]をクリックする。
設定が有効になります。

Q ポインタが動かない。

A 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインタが動きにくくなる場合があります。

しばらく待ってから、もう1度ポインタを動かしてください。

それでもポインタが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切ってください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の ボタンをクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の ⏻ (パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

Q 画面上のすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動してください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の ボタンー[再起動]をクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の ⏻ (パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

ハードディスク／内蔵フラッシュメモリー

Q 誤ってハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを初期化してしまった。

A ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーにあったファイルは、復元できません。
ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります。（135ページ）

Q ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの空き容量を知りたい。

A （スタート）ボタン－［コンピュータ］をクリックしてください。
「コンピュータ」画面が表示され、空き容量が確認できます。

Q ハードディスクから異音がする。（ハードディスクドライブ搭載モデル）

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。
これは正常な処理であり、故障ではありません。
ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。
ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［システムツール］－［ディスクデフラグ］をクリックする。
「ディスクデフラグツール」画面が表示されます。

② ［今すぐ最適化］をクリックする。
最適化（デフラグ）が開始されます。

ディスククリーンアップについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
（［Q&A集］－［パソコン本体］－［バイオ本体］－［ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの空き容量が少なくなった。］をクリックする。）

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。
これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

Q リカバリ領域の容量を知りたい。

A 次の手順で確認してください。

① (スタート)ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして[管理]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「コンピュータの管理」画面が表示されます。

② 画面左側の「記憶域」の[ディスクの管理]をクリックする。
「ディスク 0」に、リカバリ領域とC:ドライブの容量が表示されます。

ヒント

1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは1 GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。

CD ／ DVDディスク

Q CD ／ DVDの読み込み・再生ができない、ドライブが認識しない。

A 本機で使用できるディスクかどうか確認してください。(229ページ)

A ディスクの入れかたが正しいか確認してください。

- ディスクに汚れや傷がないか確認してください。
- ディスクの裏表を逆にセットしていないか、またはレーベル面が見える向きでドライブにセットしたか確認してください。
- ディスクがきちんとドライブに装着されているか確認してください。
- スピンドル(軸) にディスクをはめ込むタイプのドライブでは、スピンドルにしっかりはめ込まれているか確認してください。

本機のドライブへのディスクの入れかたについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[CD ／ DVD]－[ディスクを入れる／取り出す]をクリックする。)

!ご注意

本機での動作を保証しているのは、以下のドライブとなります。

- 本機をお買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのバイオ専用ドライブ

インターネット

Q インターネットに接続できない。

A プロバイダとの契約を確認してください。

インターネット接続するには、プロバイダと契約する必要があります。（92ページ）

A 機器の接続や設定を確認してください。

契約したプロバイダにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。

本機とLANケーブルやテレホンコードの接続について詳しくは、「インターネット接続用機器につなぐ」（29ページ）をご覧ください。

A 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[Q&A集]－[インターネット]で[インターネット接続]または[ホームページ／電子メール]をクリックする。）

Q ワイヤレスLANが使えない。

A 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[Q&A集]－[パソコン本体]－[LAN ／ワイヤレスLAN]をクリックする。）

FeliCa

Q FeliCa機能が使えない。

A 通知領域のアイコンが（オン）になっているか確認してください。

（オン）になっていない場合は、（オフ）を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オン]を選択ください。

または、（オフ）をクリックしてもオンにすることができます。

A FeliCaカードの位置を確認してください。

本機の（FeliCaプラットフォームマーク）にあわせて置いてください。

A FeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）などに不具合がある可能性があります。
「FeliCaポート自己診断」ツールを使用して不具合があるかどうか確認します。

① 通知領域にある （オン）を右クリックして表示されたメニューの［ポーリングの状態］から［オフ］を選択する。

② （スタート）ボタンー［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［FeliCaポート自己診断］をクリックする。

③ 画面に表示された内容を確認し、［次へ］をクリックする。

診断が開始され、結果が表示されます。
FeliCaポートに不具合があった場合は、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。
また、お手持ちのFeliCaカードに不具合があった場合は、FeliCaカード発行者にお問い合わせください。

内蔵カメラ（MOTION EYE）

Q 内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用中にスリープモードまたは休止状態に移行すると、本機の動作が不安定になる。

A 内蔵カメラ（MOTION EYE）または外付けUSBカメラの使用中には、スリープモードまたは休止状態に移行させないでください。

A 自動的にスリープモードまたは休止状態に移行してしまう場合は、電源プランの設定を変更してください。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［電源の管理／起動］－［電源オプションを変更する］をクリックする。）

インスタントモード(ディスクドライブ搭載モデル)

Q インスタントモードが起動しない。

A 電源オフ以外からはインスタントモードを起動することはできません。
休止状態またはスリープモードにしているときにAVモードボタンを押すと、VAIO ランチャーが起動します。
本機の電源を切ってから、インスタントモードを起動してください。

A インスタントモードに必要なファイルが圧縮されている場合、インスタントモードは起動しません。
インスタントモードに必要なファイルは、C:ドライブの「InstantON」フォルダに隠し属性でインストールされています。
次の手順で圧縮解除をすることで、インスタントモードを起動することができます。

① (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
② 「名前」のテキストボックスに「C:¥InstantON」と入力して、[OK]をクリックする。
③ 画面左下の[フォルダ]をクリックする。
フォルダの一覧が表示されます。
④ フォルダの一覧に表示された「InstantON」フォルダを右クリックし、[プロパティ]をクリックする。
「InstantONのプロパティ」画面が表示されます。
⑤ 「全般」タブの[詳細設定]をクリックする。
⑥ 「圧縮属性または暗号化属性」の[内容を圧縮してディスク領域を節約する]のチェックをはずし、[OK]をクリックする。

ヒント
[内容を圧縮してディスク領域を節約する]にチェックされていない場合は、次の操作を行ってから手順7に進んでください。
1) [内容を圧縮してディスク領域を節約する]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[OK]をクリックする。
2) 「InstantONのプロパティ」画面で、[適用]をクリックする。
「属性変更の確認」画面が表示されます。
3) [このフォルダのみに変更を適用する]を選択し、[OK]をクリックする。
4) もう一度、「全般」タブの[詳細設定]をクリックする。
5) 「圧縮属性または暗号化属性」の[内容を圧縮してディスク領域を節約する]のチェックをはずし、[OK]をクリックする。

⑦ 「InstantONのプロパティ」画面で、[OK]をクリックする。
「属性変更の確認」画面が表示されます。
⑧ [OK]をクリックする。

Q CD ／ DVDの再生ができない、または再生時に画像や音がとぎれる。

A ディスクが正しくトレイに置かれているか確認してください。

A DVDディスクの地域番号を確認してください。
本機では、地域番号として「2」または「ALL」が記されていないDVDは再生できません。
詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] －[CD ／ DVD] －[DVDの地域番号と書き換えについて]をクリックする。）

A インスタントモードでは、市販のDVD、ビデオフォーマットのDVD、ビデオレコーディングフォーマットのDVD-RW/DVD-RAM以外の再生には対応していません。
インスタントモードで対応していないDVDの再生は、Windowsを起動して、Windows Media Centerまたは「WinDVD」ソフトウェアで行ってください。
また、DTS形式の音声の再生はサポートしていません。

A 再生面に汚れや傷がある場合は、正しく再生できないことがあります。
ディスクの再生面を柔らかい布できれいに拭き、汚れをとってください。汚れを拭きとるときは、柔らかい布を使用してください。（227ページ）

A 結露（221ページ）が生じている可能性があります。
1時間くらい待って電源を入れ直してから、もう1度再生してください。

Q ミュージックモードで一覧表示しているときにフォルダに移動できない。

A インスタントモードで対応しているファイル形式のデータがフォルダ内に存在しない場合は、そのフォルダに移動することはできません。

Q ミュージックモードでEnterキーを押しても、音楽データを選択／再生できない。

A 音楽再生中は、Enterキーで音楽データを選択／再生することはできません。
音楽再生中は、I◀◀（前）ボタンや▶▶I（次）ボタンをご使用ください。
または、再生をいったん停止してからEnterキーを押して音楽データを選択／再生してください。

Q フォトモードでサムネイル表示しているときにフォルダに移動できない。

A インスタントモードで対応しているファイル形式のデータがフォルダ内に存在しない場合は、そのフォルダに移動することはできません。

Q 音楽データや写真データが一覧に表示されない。

A インスタントモードではC：ドライブに保存されているデータのみを一覧に表示します。
インスタントモードで使用するデータはC：ドライブに保存してください。

Q ミュージックモード／フォトモードでアクセスできないフォルダがある。

A インスタントモードでは、「C:¥ユーザー」フォルダの下階層では、「public」フォルダ以外にはアクセスできません。
インスタントモードで使用したい音楽ファイルや写真データは、「C:¥ユーザー¥public」フォルダに保存し、「C:¥ユーザー¥(public以外のフォルダ)」には保存しないでください。

Q インスタントモード起動中、画面に何も表示されない。

A インスタントモード起動中、しばらく何も操作が行われないと、液晶ディスプレイに何も表示されなくなります。
元の画面に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押してください。

エラーメッセージ

表示されたメッセージの回避方法をご案内します。

Q BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.

A 「電源／起動」(158ページ)をご覧ください。

Q Input Onetime Password

A 「電源／起動」(159ページ)をご覧ください。

Q Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.

A 「電源／起動」(158ページ)をご覧ください。

Q No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.

A 「電源／起動」(158ページ)をご覧ください。

Q Operating System not found

A 「電源／起動」(158ページ)をご覧ください。

Q Press <F1> to resume, <F2> to Setup

A 「電源／起動」(159ページ)をご覧ください。

Q System Disabled

A 「電源／起動」(159ページ)をご覧ください。

Q このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。

A 「電源／起動」(158ページ)をご覧ください。

Q Windowsの終了時などに「ccApp.exeが応答しません」というメッセージが表示される。

A メッセージが表示されても、本機のご使用に関して問題はありません。
Windowsを終了するときや本機を再起動するときに、「ccApp.exe が応答しません」というメッセージが表示されても、本機の動作には影響はありません。
詳しくは「Norton Internet Security」ソフトウェアの製造元であるシマンテック社で情報が公開されています。

バイオ内の情報を調べる

「バイオ電子マニュアル」で検索する

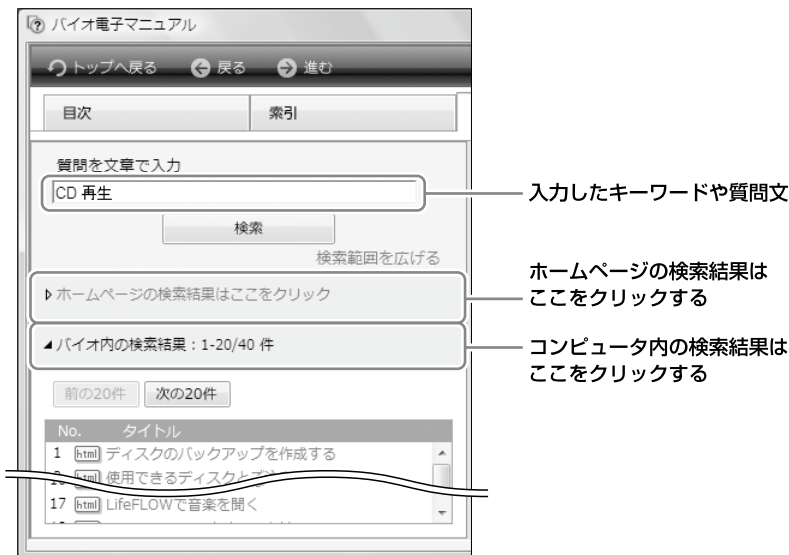
「バイオ電子マニュアル」を起動して、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。
検索機能を使うと、「バイオ電子マニュアル」の情報だけでなく、付属ソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネット接続時はサポートホームページからも情報を検索できます。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 トップページまたは「キーワード検索」ページの検索窓に、調べたい内容をキーワード(単語)や質問文で入力し、[検索]をクリックする。

画面左側に検索結果が質問の内容に近い(類似度が高い)ものから順に表示されます。

「バイオ電子マニュアル」内の情報を検索する場合は、質問文を入力するとより適切な検索結果が表示されます。
また、入力欄に複数のキーワード(単語)をスペースを区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。

[次の20件]をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
[前の20件]をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

バイオ電子マニュアルやヘルプのトピックは、画面右側に表示されます。
サポートホームページの内容は別画面で表示されます。

Windows ヘルプとサポートを見る

(スタート)ボタン－[ヘルプとサポート]をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と、各種サポートツールを実行できます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先]の表にあるソフトウェア名をクリックして表示される画面には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント
ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

サポートホームページで調べる

VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

本機をインターネットに接続してご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページでは、バイオに関するトラブル解決方法や活用方法、バイオを安心してご使用いただくための最新情報などをご提供しています。定期的にご覧ください。

！ご注意
本マニュアルの「サービス・サポート」の内容は、2007年10月現在のものです。内容は随時更新されます。

各項目について、詳しくは180ページ～ 184ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Internet Explorer］をクリックして「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを起動し、（お気に入り）から［VAIOサポートページ］－［1 サポート（サービス・トラブル解決・使い方情報）］をクリックして表示します。

＜調べる・トラブル解決＞

バイオに関する疑問やトラブルを解決したい方はこちらをご利用ください。

製品別サポート情報、Q&A検索、バイオにつながる製品の接続情報、付属ソフトウェアのお問い合わせ先、OS（Windows）に関する情報など、お困りの問題を解決するさまざまな情報を提供しています。

❑ 製品別サポート情報（お客様のバイオの専用サポートページ）

バイオの製品ごとに専用ページを用意しています。
お客様のバイオに関する「お知らせ」「Q&A検索」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」など最新サポート情報を確認できます。

❑ Q&A検索

バイオに関するトラブル解決方法や操作・設定方法など、知りたい情報を以下の3つの方法で検索できます。

- よくある質問から探す
  カテゴリ別に分類されています。
- 症状やエラーメッセージから探す
  例）音が出ない、電源が切れない（症状）
  例）「変換に失敗しました」（エラーメッセージ）
- キーワードや文章を入力して検索する。

＜学ぶ・楽しむ・使いかた＞

バイオをより活用したり楽しみたい、使い方を知りたいという方はこちらをご利用ください。

バイオならではの活用方法や知っておきたいお役立ち情報など、バイオをさらに快適に楽しむための情報を提供しています。

❑ VAIOをもっと楽しもう！

テレビ、映像、写真、音楽など、ソニー製ソフトウェアを使ったバイオの楽しみかたを紹介しています。

❑ ソフトウェア活用ヒント集

知っておくと便利な活用方法を紹介しています。
例）CD-R活用ヒント集、DVD活用ヒント集、バックアップ講座、筆ぐるめ使い方講座、Word/Excel活用ヒント集、AdobePremiere活用ヒント集

＜修理／その他サービス＞

❑ 修理関連のご案内

故障かな？と思ったときの確認方法や修理依頼の手順、概算修理料金、修理進捗情報の確認など、修理関連の情報を提供しています。

❑ 各種有料サービスのご案内

バイオの設置・設定サービスや延長保証など、各種有料サービスをご案内しています。
有料サービスの内容について詳しくは、「各種有料サービスのご案内」（196ページ）をご覧ください。

＜お問い合わせ＞

お電話やメールでのお問い合わせ方法、付属ソフトウェアのお問い合わせ先などをご紹介しています。
「VAIOコールバック予約サービス」（187ページ）や「VAIOリモートサービス」（187ページ）もこちらからご利用いただけます。

＜おすすめサポート情報＞

❑ 初心者コーナー

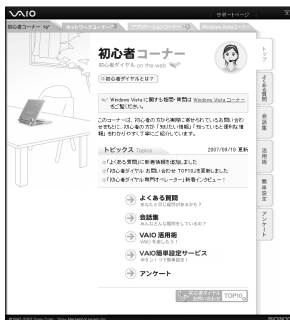
初心者の方から実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者の方が知りたい情報をイラストなどを交えて分かりやすい言葉でご紹介しています。

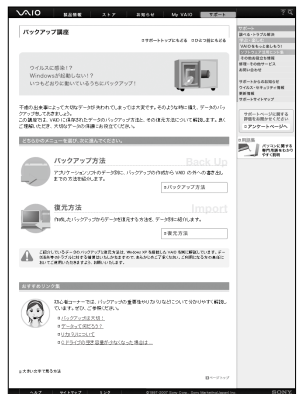
❑ Windows Vistaコーナー

Windows Vistaの基本操作や設定方法、便利な活用方法などをQ&Aや活用集、動画などで分かりやすくご紹介しています。

❑ バックアップ講座

VAIOに保存されたデータのバックアップ方法と、その復元方法について解説しています。大切なデータの保護にお役立てください。

初心者コーナー

Windows Vistaコーナー

バックアップ講座

VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話用VAIOサポートサイト）

携帯電話向けのVAIOサポートサイトで最新のサポート情報を提供しています。特にウイルス情報などを調べたいときや、バイオの修理状況を確認したいときなどに便利です。

！ご注意

- 修理状況の確認は、VAIOカスタマーリンクへ直接修理を依頼された場合にのみご利用いただけます。
- 対応端末は、i-mode、EZweb、Yahoo!ケータイです。

❑ メニュー

- お知らせ
  - 重要なお知らせ
  - What's New!
  - ウイルス・ワーム情報
  - マイクロソフト・セキュリティ情報
- Q&A
  - 新着Q&A
  - よくある質問
  - 初心者コーナー
  - Q&A・用語集検索
- サポート系コンテンツ
  - VAIOの修理について
  - 修理お預かり情報（修理状況、見積情報、出荷情報）
  - VAIO Hot Streetモバイル
- お楽しみコンテンツ
  - お楽しみリンク集

❑ アクセス方法

- URLからアクセス
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
- QRコードからアクセス

（バーコード（QRコード）読み取り対応機種のみ）

VAIO Hot Street（VAIOユーザの情報交換サイト）

VAIO Hot Streetは、バイオをお持ちのお客様同士で、よりバイオを活用するための情報を交換できるサイトです。
皆に教えてあげたい情報を投稿したり、わからないことを質問したり、質問に回答したりすることができます。
見たい投稿を閲覧するだけのご利用も可能です。

！ご注意

- 閲覧以外のご利用には、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
- 投稿内容に関して、ソニーは一切保証いたしません。

電話で問い合わせる

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410（通話料お客様負担）
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）

受付時間：月曜～金曜日　10時 ～ 18時
（祝日、年末年始を除く）

！ご注意
バイオの使い方のお問い合わせや修理の受付については、「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問を電話で承っております。

お問い合わせの前にご確認ください

❑ お試しください

「バイオ電子マニュアル」やVAIOカスタマーリンクホームページで、バイオの操作やトラブルの解決方法をご確認ください。
詳しくは、「バイオ内の情報を調べる」（176ページ）、「サポートホームページで調べる」（179ページ）をご覧ください。

❑ 付属ソフトウェアのお問い合わせについて

付属のソフトウェアに関するお問い合わせは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（199ページ）をご覧ください。
それ以外のソフトウェアについては、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

❑ 発信者番号通知について

発信者番号通知にて、カスタマー登録の際に登録した電話番号でお電話していただくと、よりスムーズに担当者につながります。

❑ 以下の内容をご用意ください（② ～ ④は該当する場合のみ）

① 本機の型名（保証書または「各部の説明」のIDラベルに記載されています。）
② 本機に接続している周辺機器名（メーカー名と型名）
③ エラーメッセージが表示された場合は、表示されたエラーメッセージ
④ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン

❑ お問い合わせやご意見、個人情報の取扱いについて

お問い合わせ内容や商品に関するご意見は、商品開発およびサービス・サポート向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問などに適切に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。

お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク
電話番号：（0120）60-3399（フリーダイヤル）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は、（0466）30-3000（通話料お客様負担）

受付時間 平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
（365日年中無休）
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。
ご登録していただくと、「VAIOコールバック予約サービス」（187ページ）が24時間ご利用いただけます。

!ご注意

- 電話番号や営業時間は変更になる場合があります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点などについては、お答えいたしかねる場合があります。

ヒント

音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。

お問い合わせの際にご利用ください

- VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況
- VAIOコールバック予約サービス
- VAIOリモートサービス

各項目の詳しくは、以降をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/konzatu.html

電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。

❑ アクセス方法（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「技術的なお問い合わせ」をクリック → 「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」をクリック

VAIOコールバック予約サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html

ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただくと、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンク(コールセンター)からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

予約受付:VAIOカスタマーリンクホームページからいつでもご予約可能

回答時間:365日24時間

❑ アクセス方法(詳しい内容やサービスのご利用はこちらから)

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「VAIOコールバック予約サービス」をクリック

!ご注意

- 本サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
- 本サービスは、バイオ本体やバイオ関連製品の使いかたに関するお問い合わせにご利用いただけます。

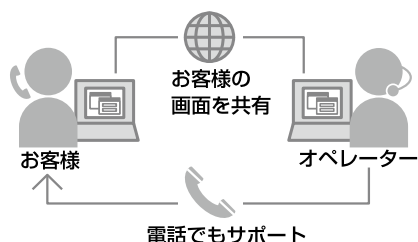
ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」(179ページ)をご覧ください。

VAIOリモートサービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容を確認したり、使いかたなどをご案内するサービスです。

難しいパソコン用語は不要なので、「電話の説明だけではわかりにくい」「自分の状況をうまく説明できない」という方は、ぜひお試しください。

!ご注意

- 本サービスは、事前に「VAIOコールバック予約サービス」からのお申し込みが必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合があります。

❑ アクセス方法(詳しい内容やサービスのご利用はこちらから)

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「VAIOリモートサービス」をクリック

ヒント

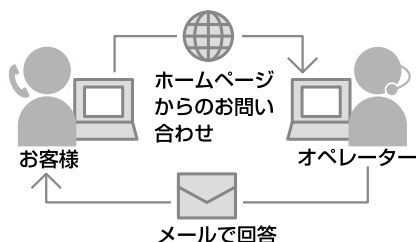
VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」(179ページ)をご覧ください。

メールで問い合わせる／FAXで取り寄せる

メールで問い合わせる（テクニカルWEBサポート）

（http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/techweb.html）

「テクニカルWEBサポート」は、バイオに関する使いかたなどの技術的な質問をホームページ内の質問フォームから入力すると、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです。

ヒント
本サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。

❑ アクセス方法（詳しい内容やサービスのご利用はこちらから）

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「お問い合わせ」をクリック → 「メールで相談する」をクリック

ヒント
VAIOカスタマーリンクホームページのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」（179ページ）をご覧ください。

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な[VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。
なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

FAX情報サービス
FAX番号：(0466)30-3040

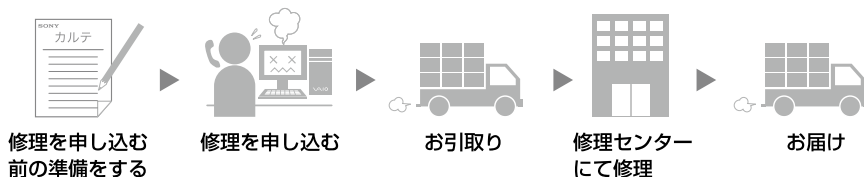
！ご注意
一部の機種では提供されません。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

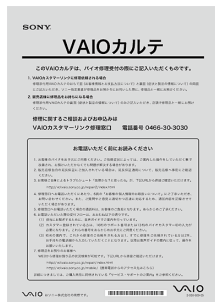
修理を依頼される前に、「バイオ電子マニュアル」や「VAIOカスタマーリンクホームページ」などで、お使いのバイオの症状に合うものがないかご確認ください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作で直ることがあります。
詳しくは、「バイオ内の情報を調べる」（176ページ）、「サポートホームページで調べる」（179ページ）をご覧ください。

ヒント
VAIOカスタマーリンクホームページの「故障かな？と思ったら」（http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/mistake.html）でも故障と間違いやすい症状や解決方法などについてご案内しています。修理を依頼する前にご確認ください。

修理の流れ

修理を申し込む前の準備

❑ 保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください

保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。「VAIOカルテ」を紛失された場合は、VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/precall.html）またはFAX情報サービス（188ページ）より入手できます。

筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

ヒント

弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証に加入されている場合は、そちらの保証内容も確認されることをおすすめします。

❑ ご注意ください

- 修理時の代替機は用意しておりません。
- 保証期間中でも有料になる場合があります。詳しくは保証書の「無料修理規定」をご覧ください。
- ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になります。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは「VAIOカルテ」をご覧ください。
- 修理のために交換した故障部品はお客様への返却をしておりませんので、あらかじめご了承ください。
- お買い求めいただいたバイオの保証規定は日本国内のみ有効です。
  海外修理サービスとして「VAIO Overseas Service」をご用意しています。詳しくは、「各種有料サービスのご案内」（196ページ）をご覧ください。

ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページで修理規約についてご説明しています。ご確認ください。

❑ データのバックアップをおとりください

修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりください。

弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

データのバックアップをとる方法は、「バックアップについて」（121ページ）をご覧ください。

！ご注意

OSが起動しないなど、バックアップができない場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

❑ 概算修理料金について

ホームページで、製品別に主な症状と故障箇所別の概算修理料金を確認できます。修理に出される前などにお役立てください。

VAIOカスタマーリンクホームページ「概算修理料金」

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/repstd/

❑ その他

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合があります。ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。

修理を申し込む

① 修理窓口に電話をかける

「VAIOカスタマーリンク修理窓口」

電話番号：（0120）60-5599（フリーダイヤル）

※ 携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからのご利用は（0466）30-3030（通話料お客様負担）

受付時間： 平日：9時～ 20時

土曜、日曜、祝日：9時～ 17時

（365日年中無休）

※ 年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

！ご注意

電話番号や営業時間は変更になる場合があります。

ヒント

- 音声ガイドの案内に従い、お問い合わせ内容に応じた番号をお選びください。担当オペレーターが対応します。
- 通常、平日は17時まで、土曜、日曜、祝日は15時までにお電話いただければ、翌日お引取りいたします。（一部機種・地域を除く。2007年10月現在）

② 修理の受付

故障症状を確認し、修理が必要な場合、修理品のお引取り手配をいたします。

- オペレーターがお伝えする修理受付番号をお手持ちのVAIOカルテにご記入ください。
- 修理品のお引取り時間を翌日以降で以下の4つの時間帯よりお選びください。

  ① 9時～ 12時／ ② 12時～ 15時／ ③ 15時～ 18時／ ④ 18時～ 20時（④は平日のみ）

！ご注意

- 上記は2007年10月現在で選択可能な時間帯です。
- 一部機種、一部地域では、ご利用できない時間帯があります。
- ご希望の日時、引取り場所などを調整させていただく場合があります。

お引取り

① お引取りまでの準備

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ
- 保証書（保証期間中のみご用意ください。）
- 必要な付属品類

② お引取り

ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へ引き取りに伺います。

ヒント

- 修理品のお引取り、梱包材の用意や梱包作業は、ソニー指定の配送業者が無料で行います。
- 修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。
- VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様には、ホームページおよび携帯電話向けサポートサイトで修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。
  詳細については「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」（193ページ）をご覧ください。

お届け／お支払い（有料の場合のみ）

① お届け

修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けします。

！ご注意

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行ってください。

② お支払い（有料のみ）

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望された方は、お届けした際に配送業者に修理費用をお支払いください。

「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について

ホームページおよび携帯電話向けサポートサイトでは、VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼されたお客様に、修理状況や修理見積もりなどをご案内しています。

！ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。

VAIOカスタマーリンクホームページで確認する

修理の進み具合に応じて、「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をVAIOカスタマーリンクホームページ「修理／お預かり品状況確認」でご案内しています。

❑ アクセス方法

VAIOカスタマーリンクホームページにアクセス → 「修理・その他サービス」をクリック → 「修理進捗状況と修理品到着後の確認」をクリック → 「修理／お預かり状況の確認」をクリック

ヒント

VAIOカスタマーリンクホームページへのアクセス方法について詳しくは、「VAIOカスタマーリンクホームページ」（179ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話向けサポートサイト）で確認する

修理品の進捗状況（7段階）および修理完了予定日のご案内、修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付、お客様への問い合わせ連絡、見積時／修理完了時のご案内を携帯メールにお知らせするサービスなどをVAIOカスタマーリンクモバイル「修理お預かり情報」でご提供しています。

！ご注意

見積案内メール、修理完了案内メールを受信するには、事前にモバイルサイトでの携帯メールアドレスのご登録が必要です。

❑ アクセス方法

① VAIOカスタマーリンク モバイルにアクセスする。
アクセス方法は、「VAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話用VAIOサポートサイト）」（183ページ）をご覧ください。

② 「サポート系コンテンツ」から「修理お預かり情報」を選択。

③ 「ログイン」を選択し、修理受付番号と電話番号を入力。

ヒント

ログインでは、修理受付の際にお伝えした修理受付番号（10桁）と、お伺いした「ご連絡先電話番号」を入力します。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」(189ページ)をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

バイオオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、マイブックマークやカレンダー＆メモなど、毎日便利にご利用いただける機能が満載です。ぜひご活用ください。
また、ログインボタンからMy Sony IDを使ってログインすると、お客様の登録製品情報やソニーポイント残高などが表示されます。

（2007年10月現在）

❑ My VAIO Pass

VAIOカスタマー登録（55ページ）をしていただいたお客様に無料で提供するサービスです。
お得な優待メニューなどの情報提供や、対象サービスご利用によるソニーポイントのプレゼント（5 ～ 10%）など、さまざまな特典を受けることができます。

❑ My VAIO Passプレミアム（有償）

My VAIO Passよりもさらにソニーポイントのプレゼントがアップするなど、よりお得な優待メニューをご用意しています。

* 「ソニーポイント」とは、ソニーグループの商品・サービスの購入や利用に使える共通のポイントシステムです。

各種有料サービスのご案内

お客様のスキルや目的、状況に合わせた各種有料サービスメニューが用意されています。
各種サービスはバイオオーナー向けサイトMy VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）からご覧ください（一部サービスを除く）。

！ご注意

2007年10月現在の情報になります。

❑ VAIO延長保証サービス

http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

ベーシック

1年間のメーカー保証を3年間に延長します。

ワイド

ベーシックに加え、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や火災・水災等の事故についてもご購入から3年間無料修理します。

！ご注意

- ご購入にはカスタマー登録が必要です。
- ソニースタイルでご購入いただいたバイオは既に保証に加入済みのため、サービス対象外です。

❑ VAIO Overseas Service（海外修理サービス）

http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料でお客様のノートブック型バイオの現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

！ご注意

- 一部の機種はサービス対象外です。ご了承ください。
- ご購入にはカスタマー登録が必要です。

❑ VAIO設置設定サービス

http://www.vaio.sony.co.jp/Setting/

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。
各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。

デジホームサポートデスク
電話番号　：（0570）073-111（一般及び携帯電話）
電話番号　：（03）5789-3474（PHS・IP電話）
受付時間　10：00 ～ 18：00

❑ VAIOインターネットセキュリティ

http://www.vaio.sony.co.jp/Vis/

「Norton Internet Security online」

ウイルス対策だけではなく、ブロードバンド環境に不可欠なファイアウォール機能やプライバシー制御、迷惑メール防止などの機能を兼ね備えた総合セキュリティ対策ソフトウェアです。

「Norton AntiVirus online」

インターネットや電子メールから不正進入してくるウイルスやワームを自動的にチェックし駆除するウイルス対策ソフトウェアです。

❑ VAIOメール

http://www.vaio.sony.co.jp/Mail/

バイオをお持ちの方に「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスを提供します。
プロバイダを変更しても、同じメールアドレスを使えます。Webメールやデータ保管などの機能も使用できます。

❑ VAIOソフトウェアセレクション

http://www.vaio.sony.co.jp/Soft/

VAIOカスタマー登録をしていただいたお客様へのソフトウェアのダウンロード販売サイトです。
バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろえています。

❑ セミナー・個人レッスン

http://www.vaio.sony.co.jp/Lesson/

セミナー

バイオの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。

個人レッスン

バイオの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExcelなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。

お申し込み、講座内容や料金等詳細については、ホームページをご覧ください。

❑ 部品の販売について

http://www.vaio.sony.co.jp/Parts/

バイオをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。

購入可能な部品例

キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。

ご注文方法

- ソニーサービスステーション(SS)でのご注文(SS窓口で受け取りの場合お支払いは部品代のみ。)
- ホームページより部品をご注文(対象機種のみ)
  (部品代＋送料・代引き手数料1,155円(税込))

!ご注意

ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。

❑ VAIOカスタマイズサービス

http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/
バイオ本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスです。
1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。
メモリやハードディスクのアップグレード、キーボードの交換などのメニューをご用意しています。（対象機種のみ）

❑ アップデートCD-ROM 送付サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/
ネットワーク経由でのアップデートが困難なお客様に、お使いの機種に応じたアップデートCD-ROMを有料で送付するサービスです。

❑ 訪問修理サービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/onsite/
お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。（対象は一部機種を除いたデスクトップ型バイオのみ）
ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行ないます。
技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前にホームページをご確認ください。

❑ VAIOクリニック（点検サービス）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/clinic/
ソニー品質基準に基づいた各種点検に加え、普段手入れのできない内部のお掃除やキーボード交換など、お客さまのVAIOを専門のスタッフが1台1台丁寧にクリニックします。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で「バイオ電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

ヒント
本機に付属のソフトウェアは、選択したモデルにより異なります。
付属のソフトウェアを確認するには、付属の「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧になるか、または（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］をクリックして表示されたメニューをご確認ください。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］の順にクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 「バイオ電子マニュアル」の［ソフトウェアの使いかた］－［ソフト紹介／問い合わせ先］－［付属ソフトウェアのご紹介と問い合わせ先］をクリックし、表示されたソフトウェア名をクリックする。

！ご注意
- Windows Vistaは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

OS

❑ Windows Vista(R) Business

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Vista(R) Home Premium

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Vista(R) Home Basic

VAIOカスタマーリンク

AVエンターテインメント

❑ Windows(R) Media Center

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Media(R) Player

VAIOカスタマーリンク

❑ WinDVD for VAIO

VAIOカスタマーリンク

テレビ

❑ VAIO モバイル TV

VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集

❑ VAIO Movie Story

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Content Exporter

VAIOカスタマーリンク

❑ Image Converter 3

VAIOカスタマーリンク

DVD作成

❑ Click to Disc

VAIOカスタマーリンク

❑ Click to Disc Editor

VAIOカスタマーリンク

❑ Roxio Easy Media Creator

ロキシオ・サポートセンター
電話番号：(03) 5441-7460
受付時間：10時～12時、13時～17時
（土曜、日曜、祝日、年末年始等を除く）
電子メール：下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。
ホームページ：
http://www.roxio.jp/support/

音楽

❑ SonicStage CP

VAIOカスタマーリンク

❑ SonicStage Mastering Studio

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO MusicBox

VAIOカスタマーリンク

静止画・写真

❑ Windows(R) フォトギャラリー

VAIOカスタマーリンク

❑ Picasa(TM)

ホームページ：
http://picasa.google.com/support/

❑ Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R)

アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：（0570）023623（ナビダイヤル）
または（03）5304-2400
アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ：
1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。
操作方法やその他に関するお問い合わせ：
有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
（無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。）
※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。
サポート対象製品はホームページをご確認ください。
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
（年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く）
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

ホームネットワーク

❑ VAIO Media

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Media Integrated Server

VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

❑ ArcSoft Magic-i Visual Effects

アークソフト　カスタマーサポートセンター
電話番号：（0570）060655（ナビダイヤル）
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 18時
（年末年始、祝日除く）
電子メール：support@arcsoft.jp
ホームページ：http://www.arcsoft.jp

❑ VAIO カメラキャプチャーユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

❑ Skype

http://www.skype.com/intl/ja/

❑ VAIO Topic Visualizer

VAIOカスタマーリンク

インターネット・メール

❑ Windows(R) メール

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows(R) Internet Explorer

VAIOカスタマーリンク

❑ Google ツールバー

Google Inc.
ホームページ：
http://www.google.com/support/toolbar/?hl=ja

セキュリティー

❑ Norton Internet Security(TM)

ソニーユーザ様向けサービスページです。
Norton Internet Securityに関するお問い合わせはこちらから！
http://www.symss.jp/jpo-sony-reg/

❑ Spy Sweeper

電話番号：（0570）055250
受付時間：
月曜〜金曜：10時〜 12時、13時〜 19時
（土曜、日曜、祝日、年末年始休業
（12/29 〜翌1/3）、
夏期休業3日を除く）
電子メール：JPcustomer@webroot.com
ホームページ：http://www.webroot.co.jp/

❑ マカフィー・サイトアドバイザ プラス 30日期間限定版

マカフィー株式会社
電話番号：
マカフィー・テクニカルサポートセンター
（サイトアドバイザプラスに関する技術的な問い合わせ）
（0570）060-033（ナビダイヤル）
（03）5428-2279（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
（サイトアドバイザプラスに関するユーザ登録や登録情報変更などの製品以外に関するお問い合わせ）
（0570）030-088（ナビダイヤル）
（03）5428-1792（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）
マカフィー・インフォメーションセンター
（サイトアドバイザプラスでのサイト評価に関する問い合わせ）
（0570）010-220（ナビダイヤル）
（03）5428-1899（ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用）
受付時間：
マカフィー・テクニカルサポートセンター
9時〜 21時（年中無休）
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
月曜〜金曜：9時〜 17時
（年末年始、祝日を除く）
マカフィー・インフォメーションセンター
月曜〜金曜： 9時〜 17時
（年末年始、祝日を除く）
電子メール：
以下のWebフォームをご利用ください。
マカフィー・テクニカルサポートセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform_redirect.asp
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_redirect.asp
マカフィー・インフォメーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/info_redirect.asp
ホームページ：
サイトアドバイザプラスのFAQ
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/SA/
マカフィー・テクニカルサポートセンターではチャットによるサポートもご提供しています。
チャット：
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp

ISPサインアップ

❑ So-net（ソネット）サービス紹介

ソネットエンタテインメント株式会社
So-netインフォメーションデスク
電話番号：
（一般固定電話から）（0570）00-1414
（携帯PHS・IP電話から） 札幌（011）711-3765
（携帯PHS・IP電話から） 仙台（022）256-2221
（携帯PHS・IP電話から） 東京（03）3513-6200
（携帯PHS・IP電話から） 名古屋（052）819-1300
（携帯PHS・IP電話から） 大阪（06）6577-4000
（携帯PHS・IP電話から） 広島（082）286-1286
（携帯PHS・IP電話から） 福岡（092）624-3910
※お客さまのご要望に正確かつ迅速に対応するため、通話内容を録音させていただいております。対応終了後、消去いたします。
ファックス番号：（03）5228-1586
受付時間：9時～ 21時（年中無休）
電子メール：info@so-net.ne.jp
ホームページ：
http://www.so-net.ne.jp/support/

❑ BIGLOBE（ビッグローブ）で光ブロードバンド

BIGLOBEカスタマーサポート
インフォメーションデスク
電話番号：（0120）86-0962（通話料無料）
（03）3947-0962（携帯電話、PHS、CATV電話の場合）
受付時間：9時～ 21時（365日受付）
ホームページ：
https://my.sso.biglobe.ne.jp/support/

❑ ホットスポット

ホットスポットインフォメーションデスク
電話番号：（0120）815244
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時
（年末年始、祝日を除く）
電子メール：hotspot@ntt.com
ホームページ：http://www.hotspot.ne.jp/

ワープロ・表計算

❑ Microsoft(R)（マイクロソフト） Office（オフィス） Personal（パーソナル） 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

!ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Professional 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜〜金曜：9時30分〜 12時、13時〜 19時、土曜：10時〜 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜〜金曜：9時30分〜 12時、13時〜 19時、土曜、日曜：10時〜 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional 2007プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
Office Personal 2007は4インシデント（4件のご質問）、Office PowerPoint 2007は2インシデント（2件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜〜金曜：9時30分〜 12時、13時〜 19時、土曜：10時〜 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜〜金曜：9時30分〜 12時、13時〜 19時、土曜、日曜：10時〜 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007およびOffice PowerPoint 2007関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

実用ツール

❑ Adobe(R) Acrobat(R) Standard

アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：(0570) 023623(ナビダイヤル)
または(03) 5304-2400
アドビ製品使用中のトラブル・製品の不具合に関するお問い合わせ：
1インシデントに限り、無償にてご提供いたします。
操作方法やその他に関するお問い合わせ：
有償テクニカルサポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
(無償電話サポートのサポート範囲に該当するかどうかご不明な場合は、テクニカルサポートへお問い合わせください。)
※ 新しいバージョンリリースなどに伴いサポートを終了することがあります。
サポート対象製品はホームページをご確認ください。
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html
受付時間：
月曜～金曜：9時30分～ 17時30分
(年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く)
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

❑ ATOK for Windows

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：(03) 5412-3980 ／大阪：(06) 6886-7160
受付時間：平日：10時～ 19時、
土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)
ホームページ：
http://support.justsystem.co.jp/

❑ 名刺読取革命Lite

パナソニック　ソリューションテクノロジー ソフトサポートセンター
電話番号：(0570) 00-8700
受付時間：
月曜～金曜：9時～ 12時、13時～ 17時
(土曜、日曜、祝日、パナソニック ソリューションテクノロジー ソフトサポートセンター休日を除く)
ファックス番号：(0570) 00-8799
電子メール：ps-support@masol.mei.co.jp
ホームページ：
http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/cardocr_l/index.html

❑ 乗換案内

乗換案内ユーザーサポート
電話番号：(03) 5369-4055
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 12時、13時～ 17時
(年末年始、祝日を除く)
ファックス番号：(03) 5369-4064
電子メール：norikae@jorudan.co.jp
ホームページ：
http://norikae.jorudan.co.jp/

❑ プロアトラスSV3 for VAIO

株式会社アルプス社　カスタマーサポート
電話番号：(052) 789-1510
受付時間：10時～ 12時、13時～ 17時
(土曜、日曜、祝日、休業日を除く)
ファックス番号：
(052) 789-1570(24時間受付)
電子メール(質問フォーム)：
https://secure.proatlas.net/cgi-bin/support/contact.cgi
ホームページ：
http://www.alpsmap.co.jp/support/index.html

❑ Adobe(R)(アドビ) Reader(R)(リーダー)

Adobe Reader(無償配布ソフトウェア)に関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/

❑ ebi.BookReader(イービーアイ ブックリーダ)

株式会社イーブック イニシアティブ ジャパン
電子メール：support@ebookjapan.co.jp
ホームページ：
http://www.ebookjapan.jp/shop/support/index.asp

FeliCa(フェリカ)

❑ かざそうFeliCa(フェリカ)

VAIOカスタマーリンク

❑ Edy(エディ) Viewer(ビューワー)

Edy救急ダイヤル
電話番号：(0570) 081-999(ナビダイヤル)
(03) 6420-5699
受付時間：平日：9時30分～ 19時
土曜、日曜、祝日：10時～ 18時
(1/1 ～ 1/3と毎年2月第1日曜日を除く)
ホームページ：http://www.edy.jp/

❑ SFCard(エスエフカード) Viewer(ビューア) 2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：(03) 5412-3980 ／大阪：(06) 6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、
土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[JSユーザー登録・確認(プリインストール・バンドル用)]で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：
http://support.justsystem.co.jp/

❑ スクリーンセーバーロック2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：(03) 5412-3980 ／大阪：(06) 6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、
土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

！ご注意

お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[JSユーザー登録・確認(プリインストール・バンドル用)]で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：
http://support.justsystem.co.jp/

❑ かんたん登録 2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：(03) 5412-3980 ／大阪：(06) 6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、
土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[JSユーザー登録・確認(プリインストール・バンドル用)]で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：
http://support.justsystem.co.jp/

❑ かざしてログオン

VAIOカスタマーリンク

❑ かざポン for VAIO

VAIOカスタマーリンク

❑ パーソナルシェルター

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：(03) 5412-3980 ／大阪：(06) 6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、
土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[JSユーザー登録・確認(プリインストール・バンドル用)]で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：
http://support.justsystem.co.jp/

❑ NFRMPCViewer

NFRM公式Webサイト
http://sony.nfrm.jp/

❑ FeliCaブラウザエクステンション

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：(03) 5412-3980 ／大阪：(06) 6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、
土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
(株式会社ジャストシステム特別休業日を除く)

!ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[JSユーザー登録・確認(プリインストール・バンドル用)]で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：
http://support.justsystem.co.jp/

設定・ユーティリティ

❑ バイオの設定

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO ランチャー

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Smart Network

VAIOカスタマーリンク

❑ FOMAバイトカウンタ

DoCoMo　インフォメーションセンター
電話番号 ：
ドコモの携帯電話、PHSからの場合：
(局番なし) 151(無料)
一般電話などからの場合：
(0120) 800-000(無料)
(携帯電話、PHSからもご利用になれます。)
受付時間：9時～ 20時
ホームページ：http://www.nttdocomo.co.jp/

❑ ドコモ定額データプラン接続ソフト

DoCoMo　インフォメーションセンター
電話番号 ：
ドコモの携帯電話、PHSからの場合：
（局番なし）151（無料）
一般電話などからの場合：（0120）800-000
（無料）
（携帯電話、PHSからもご利用になれます。）
受付時間：9時～ 20時
ホームページ：http://www.nttdocomo.co.jp/

❑ 「ホットスポット」自動ログインツール

ホットスポットインフォメーションデスク
電話番号：（0120）815244
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時
（年末年始、祝日を除く）
電子メール：hotspot@ntt.com
ホームページ：http://www.hotspot.ne.jp/

サポート・ヘルプ

❑ VAIOナビ

VAIOカスタマーリンク

❑ バイオ電子マニュアル

VAIOカスタマーリンク

❑ できるWindows Vista for VAIO

インプレスカスタマーセンター
電話番号：（03）5213-9295

❑ VAIO ハードウェア診断ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Update

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO リカバリセンター

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データリストアツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データレスキューツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データ消去ツール

VAIOカスタマーリンク

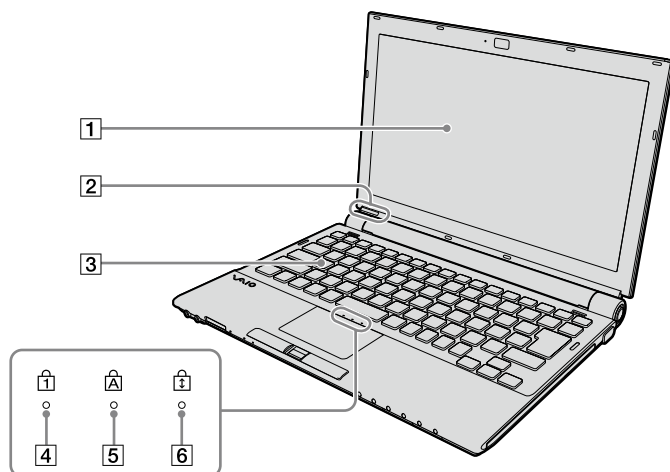
❑ VAIO ハードディスク プロテクション

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO オンラインカスタマー登録

ソニーマーケティング株式会社
カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時
（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

各部の説明

本体正面

1 **液晶ディスプレイ**

2 **IDラベル**

型名が記載されています。

3 **キーボード（164、218ページ）**

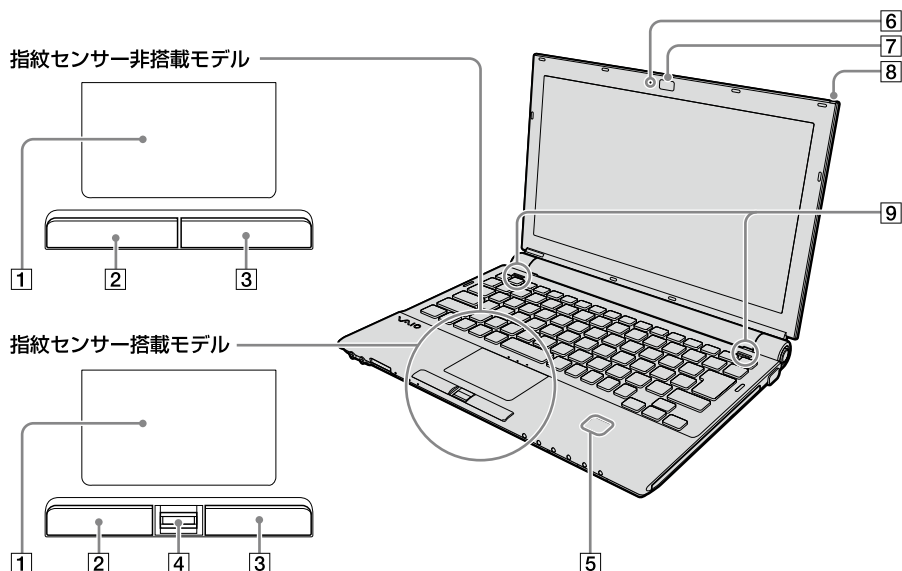
4 **(Num Lock)ランプ（218ページ）**

Num Lkキーを有効にすると点灯します。

5 **(Caps Lock)ランプ（218ページ）**

Caps Lockキーを有効にすると点灯します。

6 **(Scroll Lock)ランプ（218ページ）**

Scr Lkキーを有効にすると点灯します。

1 **タッチパッド(166ページ)**

マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。

2 **左ボタン**

マウスの左ボタンに相当します。

3 **右ボタン**

マウスの右ボタンに相当します。

4 **指紋センサー(104ページ)**

(指紋センサー搭載モデルのみ)

指紋情報を登録することで、パスワードやアカウントなどの入力を指紋で代用することができます。

5 **FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)(170ページ)**

FeliCa対応のカードなどを読み取ります。

6 **内蔵カメラ(MOTION EYE)ランプ**

内蔵カメラ(MOTION EYE)起動中に点灯します。

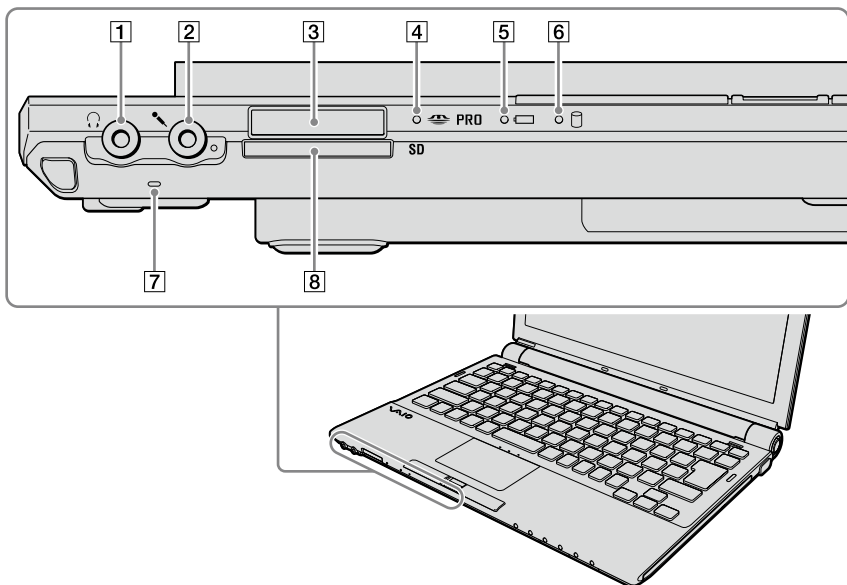
7 **内蔵カメラ(MOTION EYE)(171、225ページ)**

「Skype」などのソフトウェアを使って、テレビ電話などをすることができます。

8 **アンテナ(49ページ)**

(ワンセグチューナー搭載モデルのみ)

「VAIO モバイル TV」ソフトウェアを使って携帯端末向け地上デジタル放送であるワンセグを視聴・録画・再生することができます。

9 **内蔵ステレオスピーカー**

1 (ヘッドホン)コネクタ

スピーカーやヘッドホンをつなぎます。

2 (マイク)コネクタ

マイクをつなぎます。(ステレオ対応)

ヘッドホンコネクタと区別がしやすいように、マイクコネクタの右側に突起がついています。

マイクをお使いになるときは、誤ってヘッドホンコネクタに接続しないようにご注意ください。

3 メモリースティックスロット

"メモリースティック"を挿入します。

"メモリースティック デュオ"もそのままお使いになれます。

4 メモリーカードアクセスランプ

"メモリースティック"やSDメモリーカードにアクセスしているときに点灯します。

5 (バッテリ)ランプ

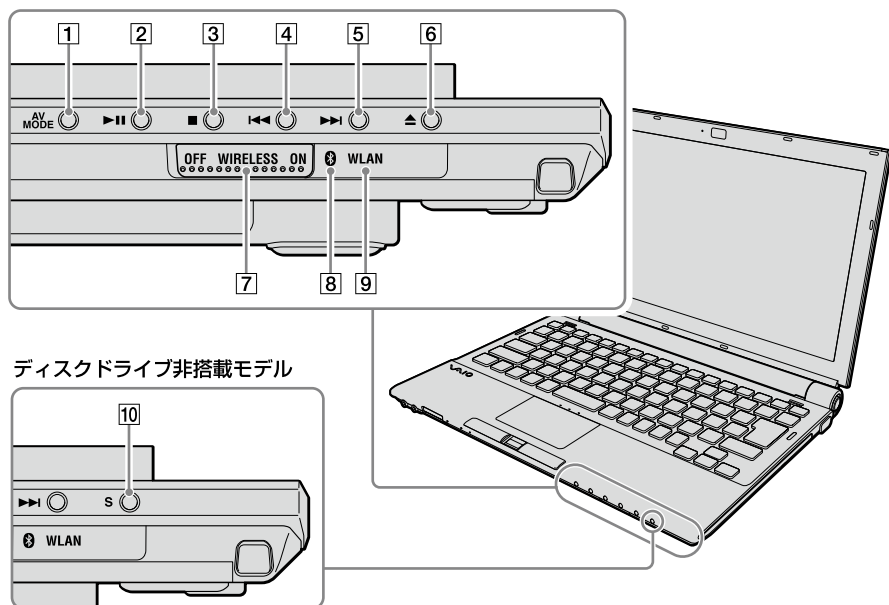
バッテリの動作状態をお知らせします。

6 (ハードディスク)アクセスランプ

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーにアクセスしているときに点灯します。

7 内蔵マイク

8 SD(SDメモリーカード)スロット

SDメモリーカードを挿入します。

次の1～6は、インスタントモード時にも使用することができます。（ディスクドライブ搭載モデル）
また、ボタンを押したときの動作はソフトウェアにより異なります。

1 **AVモードボタン**

VAIO ランチャーを起動します。
長押しして「VAIO ランチャーの設定」画面を表示し、VAIO ランチャーに表示するソフトウェアについて設定することもできます。

2 **▶II（再生／一時停止）ボタン**

Windows Media PlayerなどでCDなどの音楽／ DVDなどの映像の再生／一時停止をします。

3 **■（停止）ボタン**

Windows Media PlayerなどでCDなどの音楽／ DVDなどの映像の再生を停止します。

4 **I◀◀（前）ボタン**

Windows Media PlayerなどでDVDなどの映像再生中にチャプターや映像を戻し、CDなどの音楽再生中に曲を戻します。
また、長押ししている間、前のチャプターや曲に戻します。

5 **▶▶I（次）ボタン**

Windows Media PlayerなどでDVDなどの映像再生中にチャプターや映像を進め、CDなどの音楽再生中に曲を進めます。
また、長押ししている間、次のチャプターや曲に進みます。

6 ⏏(イジェクト)ボタン

(ディスクドライブ搭載モデルのみ)

本機を起動し、Windowsにログオンした後、またはインスタントモード起動後に使えます。
通常、ディスクを入れる/取り出す場合はこのボタンをお使いください。

ヒント

このボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、ドライブ側面のイジェクトボタンを押してください。(214ページ)

7 ワイヤレススイッチ

ワイヤレスLANやBluetooth機能をオン/オフします。

8 (Bluetooth)ランプ

Bluetooth機能が使える状態のときに点灯します。

9 WLAN(ワイヤレスLAN)ランプ

ワイヤレスLANが使える状態のときに点灯します。

10 Sボタン

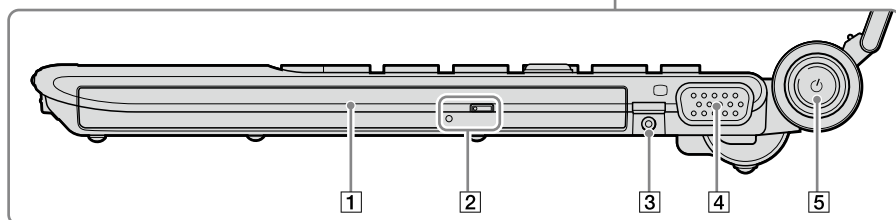
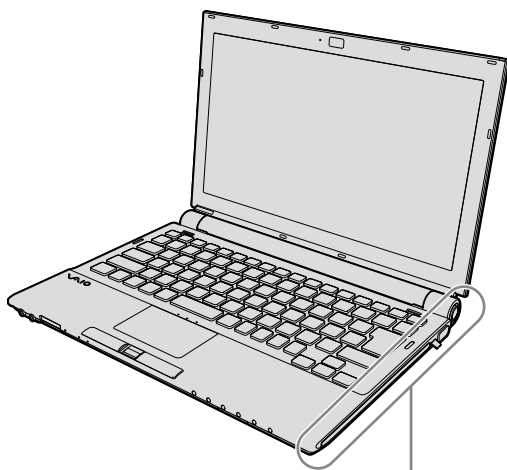
(ディスクドライブ非搭載モデルのみ)

スピーカーやヘッドホンなどの音声を入/切します。(お買い上げ時の設定)
このボタンに割り当てられている機能を変更することもできます。

ランプの明るさについて

本機は消費電力を抑えるために、バッテリ使用時はACアダプタをつないでいるときに比べて、ランプの明るさを暗くしています。

本体右側面

ディスクドライブ搭載モデル

1 **DVDスーパーマルチドライブ**

DVDスーパーマルチドライブは、ドライブと略すことがあります。

2 **ドライブ アクセスランプ/マニュアルイジェクト穴/ドライブ イジェクトボタン**

ドライブイジェクトボタンは、Windowsやインスタントモードが起動していない場合にお使いください。

インスタントモードについて詳しくは、「インスタントモード」(76ページ)をご覧ください。

!ご注意

これらの位置は、実際と異なる場合があります。

3 **(アンテナ)コネクタ**

(ワンセグチューナー搭載モデルのみ)

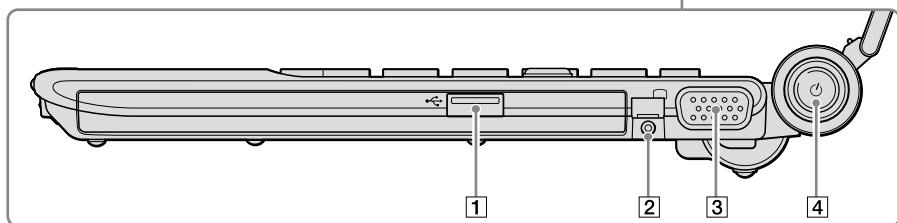
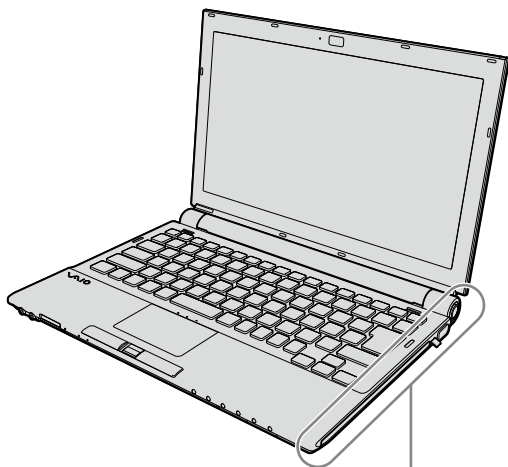
アンテナを接続し、本機でワンセグを楽しむことができます。

4 **(モニタ)コネクタ**

外部ディスプレイやプロジェクタをつなぎます。

5 **(パワー)ボタン / (パワー)ランプ(32ページ)**

電源が入ると点灯(グリーン)します。スリープモード時には点滅(オレンジ)します。

ディスクドライブ非搭載モデル

1 (USB)コネクタ

USB規格に対応した機器をつなぎます。

2 (アンテナ)コネクタ

(ワンセグチューナー搭載モデルのみ)

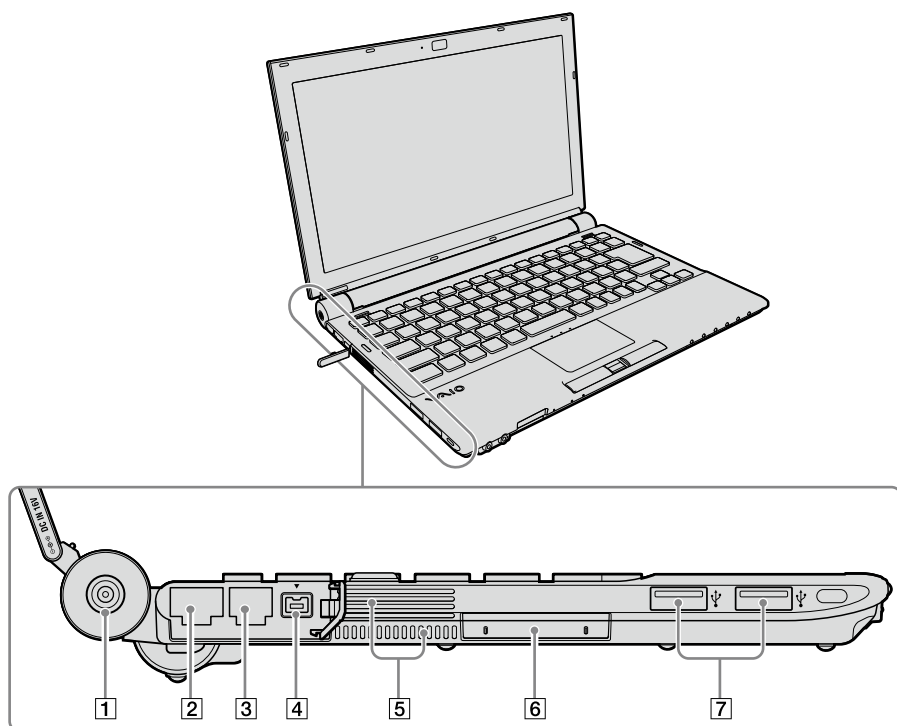
アンテナを接続し、本機でワンセグを楽しむことができます。

3 (モニタ)コネクタ

外部ディスプレイやプロジェクタをつなぎます。

4 (パワー)ボタン ／ (パワー)ランプ(32ページ)

電源が入ると点灯(グリーン)します。スリープモード時には点滅(オレンジ)します。

本体左側面

1 DC IN 16Vコネクタ

ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。(31ページ)

2 (モジュラジャック)

電話回線をつなぎます。(29ページ)

3 LANコネクタ

LANケーブルなどをつなぎます。

LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。(29ページ)

4 S400(i.LINK)コネクタ

i.LINK端子の付いた他の機器とデータをやりとりできます。

5 排気口

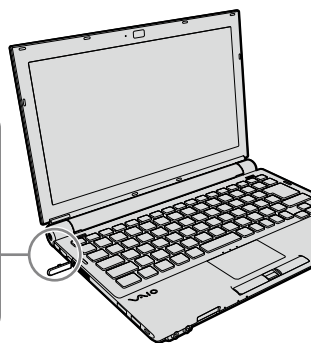
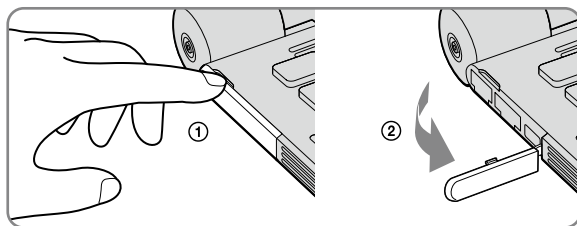
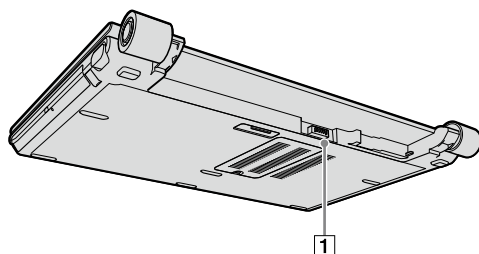
6 ExpressCard(エクスプレスカード)スロット (223ページ)

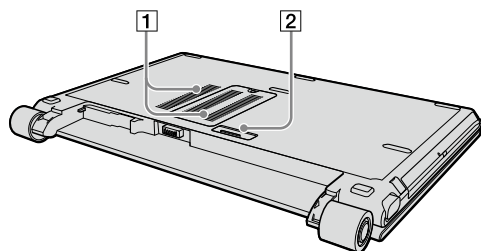
本機は34 mmサイズのExpressCard モジュールに対応しています。

7 (USB)コネクタ

USB規格に対応した機器をつなぎます。

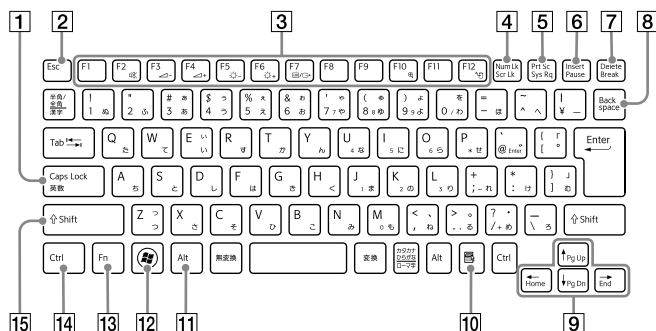
コネクタカバーを開けるには

2 ～ 4のコネクタには、コネクタカバーを開けてから接続します。
カバー上面に指をかけて矢印の方向に開きます。

本体後面

1 バッテリコネクタ

本体底面

1 吸気口

2 ドッキングステーションコネクタ

キーボードの各部名称

各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

1 **Caps Lock(キャプスロック)キー**

Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押し、キーボード手前にある🔒(Caps Lock)ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。

2 **Esc(エスケープ)キー**

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

3 **ファンクションキー**

使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

4 **Num Lk(ナムロック)キー/ Scr Lk(スクロールロック)キー**

■Num Lkキーとして使用する

テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、キーボード手前にある(Num Lock)ランプが点灯します。もう一度Num Lkキーを押すと、消灯します。

■Scr Lkキーとして使用する

使用するソフトウェアによって働きが異なります。

Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと、キーボード手前にある(Scroll Lock)ランプが点灯します。もう一度Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと消灯します。

5 **Prt Sc(プリントスクリーン)キー**

デスクトップ画面全体を画像として本機に取り込みます。

6 **Insert(インサート)キー**

文字を挿入するか、上書きするかを切り替えます。

7 **Delete(デリート)キー**

カーソルの右側の文字を消します。

8 **Backspace(バックスペース)キー**

カーソルの左側の文字を消します。

9 **矢印キー**

カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。

10 **アプリケーションキー**

タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

11 **Alt(オルト)キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

12 **Windows(ウィンドウズ)キー**

Windowsのスタートメニューが表示されます。

13 **Fn(エフエヌ)キー**

キーボード上で青色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

14 **Ctrl(コントロール)キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

15 **Shift(シフト)キー**

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。
「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- キーボードの上に物を置いたり落としたりしないでください。また、キートップを故意にはずさないでください。キーボードの故障の原因となります。
- 本機は精密機器であるため、ほこりの多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。

有寿命部品について

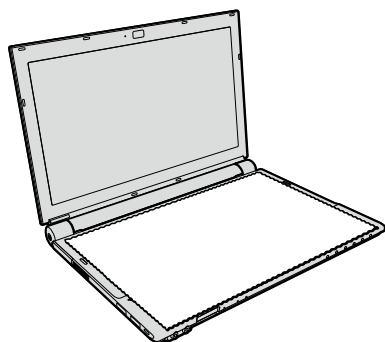
本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品を指します。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、予めご了承下さい。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です)。また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。

- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。
- 液晶ディスプレイを閉じた状態でディスプレイパネル部分に力を加えないでください。液晶ディスプレイに汚れや傷が付くことがあります。

クリーニングクロスの取り扱いについて

- ディスプレイやキーボードを軽い衝撃などから保護するため、持ち運びの際などは、キーボードの上にクリーニングクロスをしわにならないように敷いてから、ディスプレイパネルを閉じてください。

- クリーニングクロスは、洗濯すると色落ちすることがあります。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。
本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。
そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。
全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーの取り扱いについて

本機には、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。
何らかの原因でハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

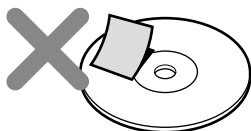
- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10 ℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを取りはずさないでください。

ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのバックアップについて

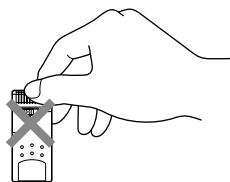
ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに保存している文書などのデータは定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。
データの損失については、一切責任を負いかねます。

ディスクの取り扱いについて

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面(再生面)に触れないようにしてください。

- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

“メモリースティック”の取り扱いについて

- 小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- 次の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  - メモリーカードアクセスランプが点灯中に“メモリースティック”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部には手や金属で触れないでください。

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”を付属の収納ケースに入れてください。

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力をかけないようご注意ください。
- “メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。

“メモリースティック マイクロ”使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をメモリースティック マイクロ アダプターに入れてから本機に挿入してください。
  メモリースティック マイクロ アダプターに装着されていない状態で挿入すると、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターに“メモリースティック マイクロ”を入れ、さらにそれをメモリースティック デュオ アダプターに入れて使用すると動作しない場合があります。
  メモリースティック マイクロ スタンダードサイズアダプターをお使いください。
- “メモリースティック マイクロ”、メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

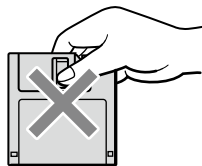
メモリカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

“メモリースティック”以外のメモリカードをコンピュータ以外の機器（デジタルスチルカメラやオーディオ機器など）で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめメモリカードをフォーマット（初期化）してからご使用ください。

お使いの機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でメモリカードをフォーマットしてからご使用ください。フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。

詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

フロッピーディスクの取り扱いについて

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。
  フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると、本体内部にラベルが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

ExpressCard モジュールの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でExpressCard モジュールの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- ExpressCard モジュール内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

- ExpressCard モジュールを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所
- スロットの中に異物を入れないでください。
- スロットからはみ出すExpressCard モジュールを挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。
  - ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
    移動時にExpressCard モジュールに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
  - ExpressCard モジュール部分を持って本機を持ち上げるなど、ExpressCard モジュールに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。
  - ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。
    ExpressCard モジュールに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 5 GHzワイヤレスLAN機器の屋外での使用は、法令により禁止されています。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- 2.4 GHz帯のワイヤレスLAN機能と5 GHz帯のワイヤレスLAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11gは、IEEE 802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE 802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。
  そのためBluetooth対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- Bluetooth規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- Bluetooth一般の特性として、複数のBluetooth機器を接続した場合は、帯域の問題により、Bluetooth機器の性能が落ちる場合があります。
- Bluetooth Audio機器と接続して動画を再生すると、Bluetooth機能の性質上、音声が映像とずれて再生される場合があります。

内蔵カメラ(MOTION EYE)についてのご注意

- カメラのレンズ前面のプレートに触らないでください。
- プレートが汚れている場合は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。汚れたままだと、取り込む画像が劣化します。
- 電源の入/切にかかわらず、カメラを太陽に向けないでください。カメラの故障の原因となります。
- i. S400(i.LINK)コネクタにi.LINK対応機器をつなぎ、動画や静止画を撮影するときは、内蔵カメラ(MOTION EYE)から撮影することはできません。

ACアダプタについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ウォールマウントプラグアダプタは、ACアダプタとコンセントにしっかり差し込んでください。(ウォールマウントプラグアダプタ付属モデル)
- 本機に付属のウォールマウントプラグアダプタは本機専用です。本機以外では使用しないでください。(ウォールマウントプラグアダプタ付属モデル)
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。
- 別売りのドッキングステーションをご使用になるときは、必ずドッキングステーションに付属のACアダプタVGP-AC16V13をお使いください。
  本体に付属のACアダプタVGP-AC16V11をご使用になると、作業中の状態や保存されていないデータが失われることがあります。

バッテリについてのご注意

バッテリについて

- 付属のバッテリは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリをご使用ください。
- AC電源につないでいるときは、バッテリを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

はじめてバッテリをお使いになるときは

付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリが消耗している状態になっていることがあります。

バッテリの充電について

バッテリは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、使用可能時間が短くなる場合があります。

使用前には、再度、充電することをおすすめします。

また、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が劣化していきます。

このため、充分に充電を行っても使用可能時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。

この場合には、新しいバッテリをお買い求めください。

バッテリの交換について

バッテリは消耗品です。バッテリ駆動時間が短くなってきた場合には、弊社指定の新しいバッテリと交換をしてください。バッテリの交換に関しご不明な点などがございましたら、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

省電力動作モードでお使いのときは

スリープモード時にバッテリが消耗すると、スリープモードに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スリープモードに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。

なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

バッテリの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

長時間席をはずすときなどにバッテリが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。

バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

ドライブの地域番号書き換えについて（ディスクドライブ搭載モデル）

お買い上げ時、本機のドライブの地域番号は「2」（日本）に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

CD再生／録音についてのご注意

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。

ただし、音楽専用の面は、コンパクトディスク（CD）の規格には準拠していないため、本機での再生は保証できません。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組、または「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は録画できません。また、表示もできない場合があります。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows Vista用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

お手入れ

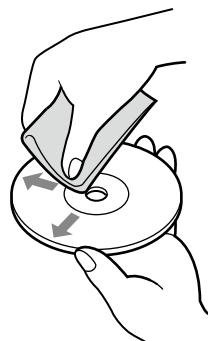
本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、ACアダプタとバッテリを取りはずしてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。
- 刷毛のようなものや硬い布をお使いになると、キーとキーの間の光沢のある部分が傷つく恐れがあります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、無理な力を加えず、必ず付属のクリーニングクロスで軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら付属のクリーニングクロスで拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに付属のクリーニングクロスで水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- クリーニングクロスは、きれいな状態でご使用ください。汚れた状態や水に濡れた状態では使用しないでください。

ディスクのお手入れについて

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

レンズ前面のプレートのお手入れ

内蔵カメラ(MOTION EYE)のレンズ前面のプレートのほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。
汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。傷がつきやすいので、強くこすらないでください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。
データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化(フォーマット)する
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のリカバリ機能や自作のリカバリ
  ディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。
従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
廃棄時などにハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**
データを消去するためには、以下の方法があります。

- 本機に搭載されているVAIO データ消去ツールを使って、ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーのデータを完全に消去する(147ページ)
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIOカスタマーリンク ホームページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーを破壊する
  ハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリー上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

使用できるディスクとご注意（ディスクドライブ搭載モデル）

使用できるディスク

◎：再生、記録可能

○：再生のみ可能、記録不可

×：再生、記録不可

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *1
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *2
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *3 *4
DVD-RAM	◎ *5 *6
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎
Video CD	○

*1　DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。

*2　DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。

*3　DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0 ／ 2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*4　DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1 ／ 1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。

*5　DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。

*6　DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6 Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8 cmディスクの書き込みには対応していません。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状のディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW ／ DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ CD-R ／ CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。

- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- CPRMに対応したDVD-RW ／ DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R ／ CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL ／ DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R DL ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。

書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピュータのCPUやハードディスクまたは内蔵フラッシュメモリーなどに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやタッチパッドを操作すると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入／切しないでください。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入／切しないでください。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしないでください。

索引

* 別紙「主な仕様と付属ソフトウェア」をご覧ください。

【ア行】

【カ行】

【サ行】

【タ行】

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、“Memory Stick”、“メモリースティック”、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック デュオ”、“MagicGate”、“マジックゲート”、“マジックゲート メモリースティック”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG”、“メモリースティック マイクロ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。
  i.LINKとi.LINKロゴ“ ”はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy（エディ）」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、JR東日本の登録商標です。
- ICOCAは、JR西日本の登録商標です。
- 「PiTaPa」は株式会社スルッとKANSAI の登録商標です。
- TOICAは、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークスの商標です。
- Bluetoothワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、Pentium、Celeron、Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Windows Media、Officeロゴ、PowerPoint、Outlook、Excel、InfoPath、WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号DDはドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- MultiMediaCard（TM）はMultiMediaCard Associationの商標です。
- ExpressCard（TM）ワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association（PCMCIA）の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Multichannel Inflator for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) 2003-2005 Sony Business Europe.

- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager, Renaissance Bass, S360 Surround Imager plug-ins by Waves Audio Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc.

  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

バイオのサポート情報が満載

VAIOカスタマーリンク

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

バイオをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。
（詳しくは179ページをご覧ください。）

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とバイオの各種サービスをご覧いただけます。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ

http://www.vaio.sony.co.jp/

バイオのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク
（0120）60-3399
（フリーダイヤル）

※携帯電話、PHS、一部のIP電話
海外などからのご利用は、
（0466）30-3000（通話料お客様負担）

受付時間
平日：9時～ 18時
土曜、日曜、祝日：9時～ 17時
（365日年中無休）
年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

フリーダイヤルのご利用には、VAIOカスタマー登録が必要となります。
ご登録していただくと、「VAIOコールバック予約サービス」（187ページ）が24時間ご利用いただけます。

お電話の前に本機の型名をご確認ください。
（保証書または各部の説明のIDラベルに記載されています。）
お電話でのお問い合わせについて詳しくは、「電話で問い合わせる」（185ページ）をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
ゼロヨンロクロク サンハチ イチヨンイチゼロ
（0466）38-1410

受付時間
平日：10時～ 18時
（年末年始は除く）

有料サービス

My VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ **VAIO延長保証サービス**
1年間のメーカー保証を3年間に延長する「ベーシック」。さらに「ワイド」なら、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

■ **VAIO設置設定サービス**
スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート（初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など）を行うサービスです。

■ **VAIO Overseas Service（海外修理サポートサービス）**
海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料で現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

※このほかにも有料メニューをご用意しています。
詳しくはMy VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク

使いかたのお問い合わせ　電話番号（0120）60-3399

※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

3-398-536-**01** (1)